

**弘前市**  
**介護予防・日常生活圏域**  
**ニーズ調査結果報告書**

令和2（2020）年3月

青森県 弘前市



# 目 次

<b>第1章 調査の実施概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
(1) 介護予防・日常生活支援調査.....	3
3 電算処理および報告書の記載方法.....	4
(1) 電算処理.....	4
(2) 報告書の記載方法.....	4
4 調査票の配布と回答状況.....	4
(1) 有効回答者数と回答率.....	4
(2) 有効回答者の属性.....	5
5 地域課題のまとめ.....	8
(1) 「第一圏域」の課題.....	9
(2) 「第二圏域」の課題.....	10
(3) 「第三圏域」の課題.....	11
(4) 「東部圏域」の課題.....	12
(5) 「西部圏域」の課題.....	13
(6) 「南部圏域」の課題.....	14
(7) 「北部圏域」の課題.....	15
<b>第2章 一般高齢者調査結果</b> .....	<b>19</b>
1 あなたのご家族や生活状況について.....	19
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況.....	19
(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無.....	20
(3) 現在の経済状況.....	21
(4) 現在の住居環境.....	22
2 からだを動かすことについて.....	23
(1) 運動機能の状況.....	23
(2) 外出の状況.....	26
3 食べることについて.....	31
(1) 現在の体重（BMI）状況.....	31
(2) 歯・口腔の状況.....	32
(3) 食事の状況.....	35
4 毎日の生活について.....	36
(1) IADL（手段的自立度）の状況.....	36

(2) 社会参加（知的能動性）の状況 .....	39
(3) 社会参加（社会的役割）の状況 .....	41
(4) こころの健康状態 .....	42
(5) 物忘れの状況 .....	44
5 地域での活動について .....	47
(1) グループ活動等の状況 .....	47
(2) 地域づくりに対する参加意向 .....	50
(3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援 .....	52
6 たすけあいについて .....	54
(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手 .....	54
(2) 友人・知人との交流状況 .....	57
7 健康について .....	59
(1) 健康状態 .....	59
(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係 .....	59
(3) 通院の状況 .....	62
8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について .....	63

### **第3章 要支援者調査結果 .....**

1 あなたのご家族や生活状況について .....	67
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況 .....	67
(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無 .....	68
(3) 現在の経済状況 .....	69
(4) 現在の居住環境 .....	70
2 からだを動かすことについて .....	71
(1) 運動機能の状況 .....	71
(2) 外出の状況 .....	74
3 食べることについて .....	79
(1) 現在の体重（BMI）状況 .....	79
(2) 歯・口腔の状況 .....	80
(3) 食事の状況 .....	82
4 毎日の生活について .....	83
(1) IADL（手段的自立度）の状況 .....	83
(2) 社会参加（知的能動性）の状況 .....	86
(3) 社会参加（社会的役割）の状況 .....	88
(4) こころの健康状態 .....	89
(5) 物忘れの状況 .....	91
5 地域での活動について .....	93

(1) グループ活動等の状況.....	93
(2) 地域づくりに対する参加意向.....	95
(3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援.....	97
6 たすけあいについて.....	99
(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手.....	99
(2) 友人・知人との交流状況.....	102
7 健康について.....	103
(1) 健康状態.....	103
(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係.....	103
(3) 通院の状況.....	105
8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について.....	105
<b>第4章 日常生活圏域別地域分析.....</b>	<b>109</b>
1 “5つの高齢者像” からみた地域分析.....	110
2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差.....	112
(1) 介護予防事業対象者の状況.....	112
(2) リスクに該当する高齢者の状況.....	113
(3) 生活支援事業対象者の状況.....	117
(4) 生活支援を担う元気高齢者の状況.....	118
3 認知症高齢者に関する出現率と地域差.....	119
(1) 認知機能低下者の状況.....	119
4 地域資源等の把握.....	120
(1) 地域活動への参加状況.....	120
(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	124
(3) 社会参加と生きがい.....	128
(4) 高齢者の公共交通機関の利用状況.....	132
5 健康について.....	134
(1) 高齢者の健康感や幸福感.....	134
(2) 誰かとともに食事をする頻度.....	136
<b>資料編.....</b>	<b>141</b>
1 電算処理の判定条件等.....	141
2 アンケート調査票.....	146
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	146



# 第1章

## 調査の実施概要





## 第1章 調査の実施概要

### 1 調査の目的

「弘前市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたって、高齢者の生活実態について、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を把握することが必要です。

高齢者の実態を把握することでサービス提供体制を検討し、また、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用するなど、地域共生社会に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとともに、その基礎資料を得ることを目的としています。

### 2 調査の内容

#### (1) 介護予防・日常生活支援調査

要介護認定を受けていない高齢者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定に資することなどを目的としています。

からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査します。

調査対象者	令和元年11月19日現在、弘前市に居住する65歳以上の一般高齢者及び要支援1・2認定者（要介護1～5認定者を除く）5,500人を無作為抽出	5,500人
調査方法	令和元年12月12日～令和元年12月27日 対象者へ郵送にて調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	9設問
	2 からだを動かすことについて	14設問
	3 食べることについて	11設問
	4 毎日の生活について	24設問
	5 地域での活動について	5設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	9設問
	8 その他	1設問
	設問数合計	81設問

※調査票は資料編に掲載しています。

### 3 電算処理および報告書の記載方法

#### (1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、一般高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能低下者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

#### (2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、各種テーマごとに関連する設問を集約し、分析を行っているために調査票の設問番号順の記載になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳ずつの年齢階級で記載していない場合や、年齢と関係なく病気や障害等の要因で悪化していることが多い要支援認定者は記載していない場合があります。

報告書に記載している用語について、「一般高齢者」は要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」、要介護認定者は「要介護者」として略称を用いています。

### 4 調査票の配布と回答状況

#### (1) 有効回答者数と回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

圏域名	調査対象者数（人）	調査票の配布数（人）	有効回答数（人）	有効回答率（%）
市全域	46,466	5,210	3,509	67.4
第一圏域	6,907	810	546	67.4
第二圏域	5,641	660	427	64.7
第三圏域	8,867	700	688	98.3
東部圏域	6,027	530	440	83.0
西部圏域	3,582	660	271	41.1
南部圏域	11,246	1,320	878	66.5
北部圏域	4,196	530	259	48.9

(2) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

図 1.1 調査回答者別区分

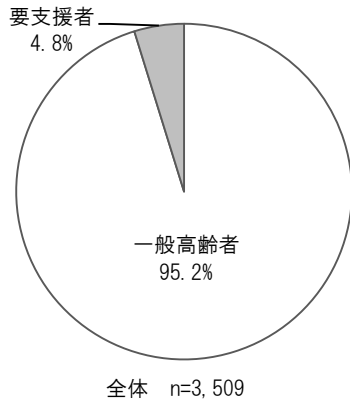


図 1.2 日常生活圏域別調査回答者

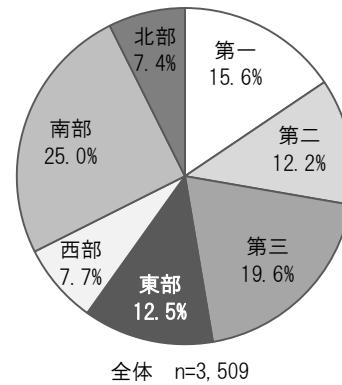


図 1.3 日常生活圏域別調査回答者（回答者区分別）

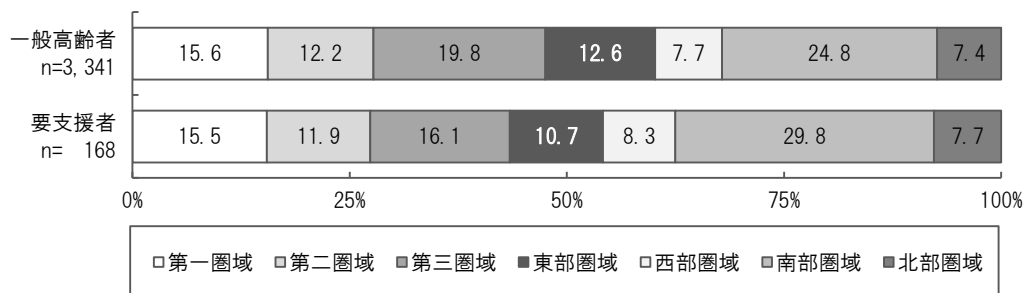


表 1.2 市全域の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	3,341	343	456	284	186	87	29	468	541	447	293	152	55
	100.0	10.3	13.6	8.5	5.6	2.6	0.9	14.0	16.2	13.4	8.8	4.5	1.6
要支援者	168	7	0	6	13	8	3	1	11	15	38	47	19
	100.0	4.2	0.0	3.6	7.7	4.8	1.8	0.6	6.5	8.9	22.6	28.0	11.3

表 1.3 「第一圏域」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	520	54	69	45	28	9	4	82	81	75	43	24	6
	100.0	10.4	13.3	8.7	5.4	1.7	0.8	15.8	15.6	14.4	8.3	4.6	1.2
要支援者	26	3	0	3	1	2	2	0	2	0	4	6	3
	100.0	11.5	0.0	11.5	3.8	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	23.1	11.5

表 1.4 「第二圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	407	38	51	43	25	8	4	53	67	55	44	12	7
	100.0	9.3	12.5	10.6	6.1	2.0	1.0	13.0	16.5	13.5	10.8	2.9	1.7
要支援者	20	0	0	0	3	2	0	0	3	2	4	6	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	0.0	0.0	15.0	10.0	20.0	30.0	0.0

表 1.5 「第三圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	661	58	90	46	36	26	7	99	104	93	55	33	14
	100.0	8.8	13.6	7.0	5.4	3.9	1.1	15.0	15.7	14.1	8.3	5.0	2.1
要支援者	27	2	0	0	1	1	1	0	1	0	7	8	6
	100.0	7.4	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	25.9	29.6	22.2

表 1.6 「東部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	422	39	59	32	30	9	4	60	70	63	37	12	7
	100.0	9.2	14.0	7.6	7.1	2.1	0.9	14.2	16.6	14.9	8.8	2.8	1.7
要支援者	18	0	0	1	1	0	0	0	1	2	4	7	2
	100.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	22.2	38.9	11.1

表 1.7 「西部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	257	31	36	19	9	5	3	32	47	27	29	14	5
	100.0	12.1	14.0	7.4	3.5	1.9	1.2	12.5	18.3	10.5	11.3	5.4	1.9
要支援者	14	1	0	1	1	0	0	1	2	2	3	2	1
	100.0	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1

表 1.8 「南部圏域」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	828	98	120	71	48	18	3	111	135	101	68	43	12
	100.0	11.8	14.5	8.6	5.8	2.2	0.4	13.4	16.3	12.2	8.2	5.2	1.4
要支援者	50	0	0	1	4	3	0	0	2	8	13	15	4
	100.0	0.0	0.0	2.0	8.0	6.0	0.0	0.0	4.0	16.0	26.0	30.0	8.0

表 1.9 「北部圏域」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

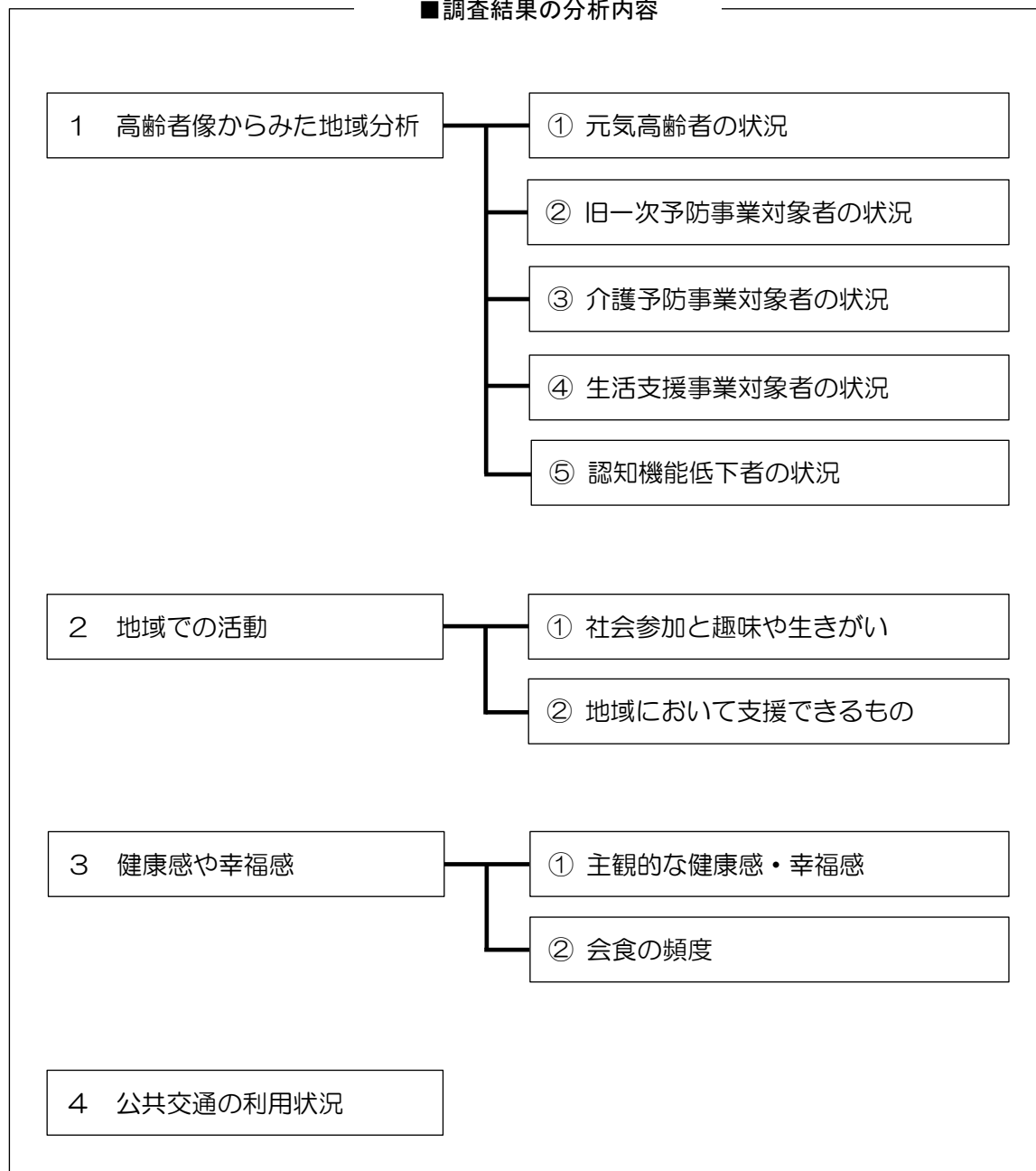
調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	246	25	31	28	10	12	4	31	37	33	17	14	4
	100.0	10.2	12.6	11.4	4.1	4.9	1.6	12.6	15.0	13.4	6.9	5.7	1.6
要支援者	13	1	0	0	2	0	0	0	0	1	3	3	3
	100.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	23.1	23.1

## 5 地域課題のまとめ

本市の地域課題の抽出にあたっては、要介護認定者を除く一般高齢者と要支援者の方々の調査結果から市平均値等を算出し、7つの圏域の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、市平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各圏域が市平均値までに改善またはそれ以上に改善ができるための施策を検討できる調査報告書として作成しました。

### ■調査結果の分析内容



## (1) 「第一圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より5.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より7.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より19.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より7.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能低下者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より7.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と趣味や生きがい	○要支援者で地域活動への参加希望割合が市平均値より9.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「ボランティアのグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より7.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○要支援者で「町内会・自治会」への参加者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいない」が市平均値より1.6・4.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において支援できるもの	○地域住民(一般高齢者)が行う「掃除・洗濯」「外出同行(通院、散歩など)」「ゴミ出し」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	○特に課題等は見当たりません。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より1.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○要支援者の公共交通利用率が市平均値より2.2 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (2) 「第二圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4・0.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.1・7.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より0.7・11.5 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より0.1・7.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「ボランティアのグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より2.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より3.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「掃除・洗濯」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
	会食の頻度	○要支援者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より13.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。



## (3) 「第三圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より8.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.2 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より3.3・5.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいない」が市平均値より3.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より2.7・9.8 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「掃除・洗濯」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○特に課題等は見当たりません。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。

## (4) 「東部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より1.5 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 高い。要支援者はいない。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より14.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.0・8.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より1.0・14.8 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「趣味関係のグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より7.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○要支援者で「町内会・自治会」への参加者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「買い物代行」「見守り・声かけ」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.7点低い。
	会食の頻度	○要支援者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。

## (5) 「西部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.5 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より5.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より2.4・6.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より11.2・3.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より5.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への参加希望割合が市平均値より6.7・18.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より9.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より2.1 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より5.0 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より8.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より2.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より11.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より4.0 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「外出同行（通院、散歩など）」「サロンなど、通いの場のサポート」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.3点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より12.8 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (6) 「南部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より1.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.2・1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.5・1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より1.0・4.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.5・1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者で出現率が市平均値より1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より1.0・4.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域での活動	○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より1.2・0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より1.6・1.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より0.8・0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいない」が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より1.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
健康感や 幸福感	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「調理」に関する支援割合は市平均値より低い。
	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より2.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.6点低い。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (7) 「北部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より3.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より4.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より6.2・17.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より1.2 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より10.2・15.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への参加希望割合が市平均値より5.9・1.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より3.4・1.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より3.2 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より11.6 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より9.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より3.9 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.7・3.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より2.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.2点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者と要支援者ともに公共交通利用率が市平均値より18.8・6.0 <sup>ポイント</sup> 低い。

## 第2章

# 介護予防・日常生活支援ニーズ調査

（一般高齢者調査結果）



## 第2章 一般高齢者調査結果

### 1 あなたのご家族や生活状況について

#### (1) 家族構成及び昼間独居者の状況

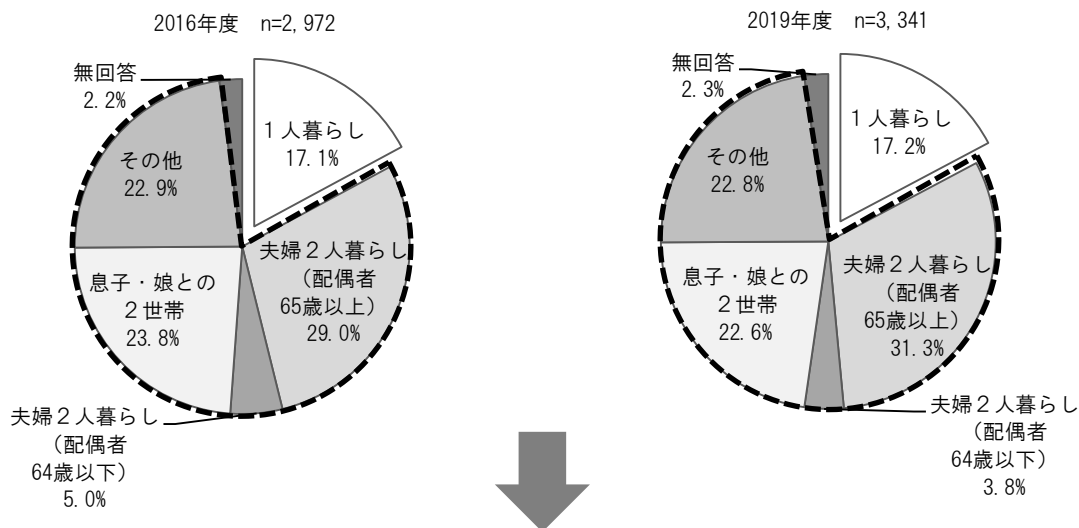
○家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（31.3%）が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（22.6%）、「その他」（22.8%）、「1人暮らし」（17.2%）となっています。

○前回調査と比較すると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は2.3ポイント、「1人暮らし」では0.1ポイント高く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」「息子・娘との2世帯」では各1.2ポイント低くなっています。

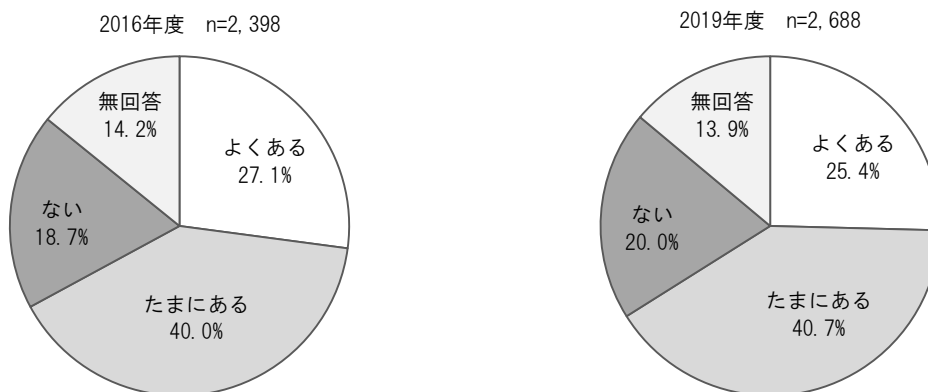
○日中に1人になることの有無は、「たまにある」（40.7%）が最も高く、「よくある」（25.4%）を合わせた6割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。

○前回調査と比較すると、日中に1人になることがある方は1.0ポイント低くなっています。

問1-(1) 家族構成（経年比較）



問1-(1).① 日中、1人になることの有無（経年比較）

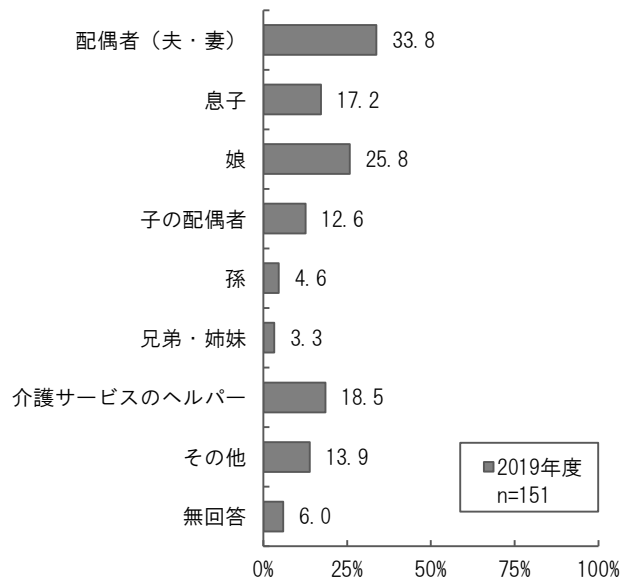
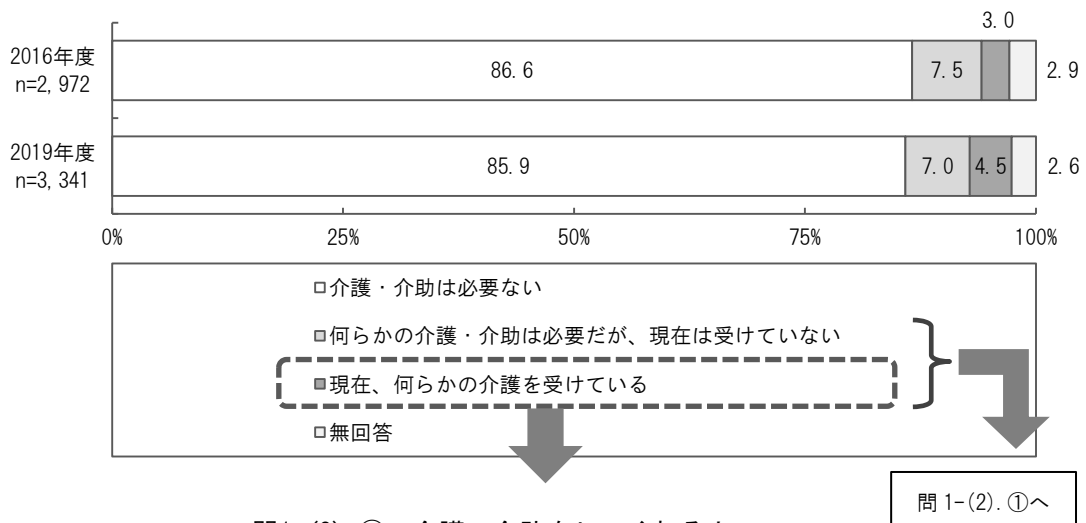




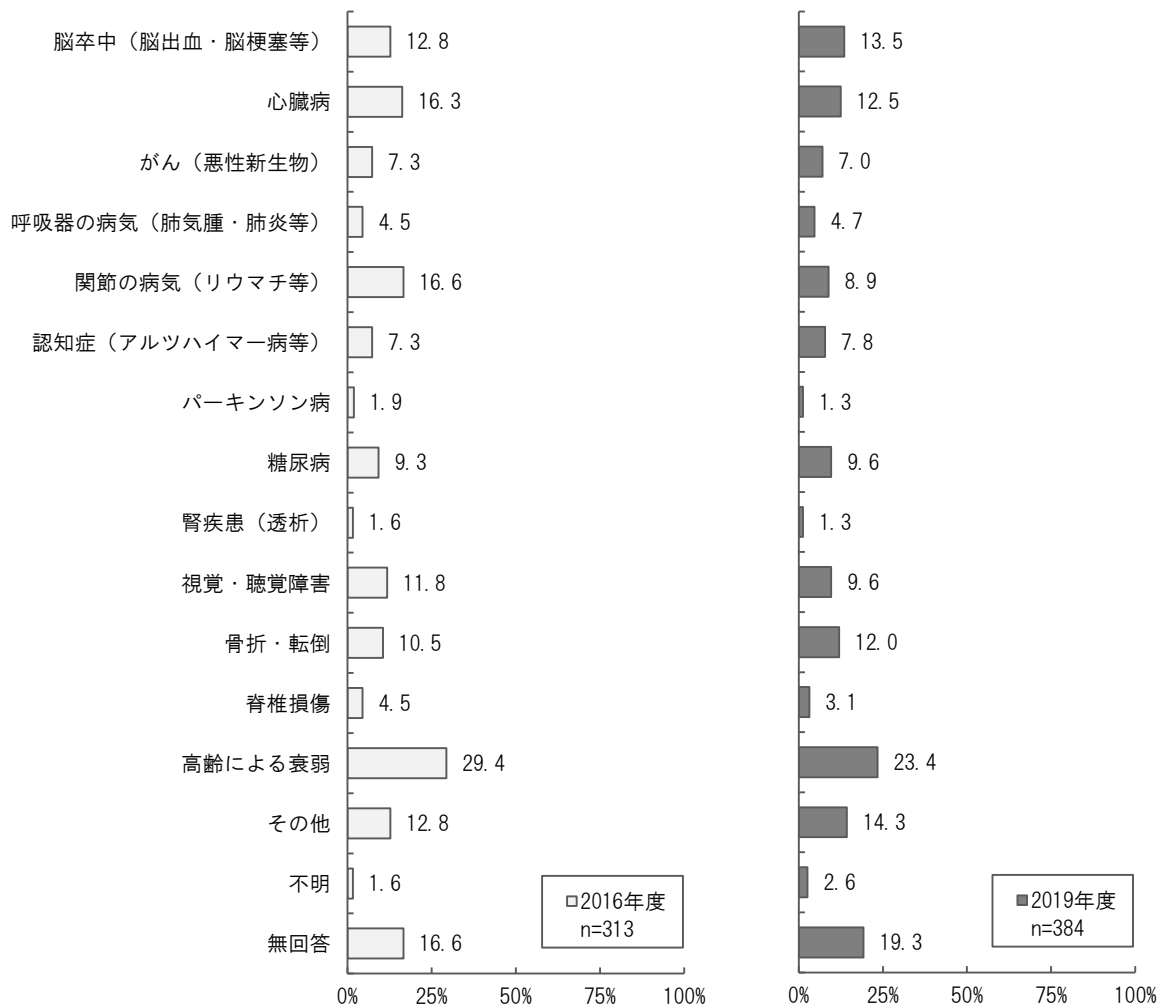
## (2) 日常生活における要介護（介助）者の有無

- 普段の生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（85.9%）が最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「現在、何らかの介護を受けている」方が1.5ポイント高くなっています。
- また、介護を受けていると回答した方の介護・介助をしてくれる人をみると、「配偶者（夫・妻）」（33.8%）が最も高く、次いで「娘」（25.8%）、「介護サービスのヘルパー」（18.5%）となっています。
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（23.4%）が最も高く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（13.5%）、「心臓病」（12.5%）、「骨折・転倒」（12.0%）となっています。
- 前回調査と比較すると、「骨折・転倒」で1.5ポイント、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」で0.7ポイント、「認知症（アルツハイマー病等）」で0.5ポイント、「糖尿病」で0.3ポイント、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」で0.2ポイント高くなっています。

問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か（経年比較）



問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因（経年比較）

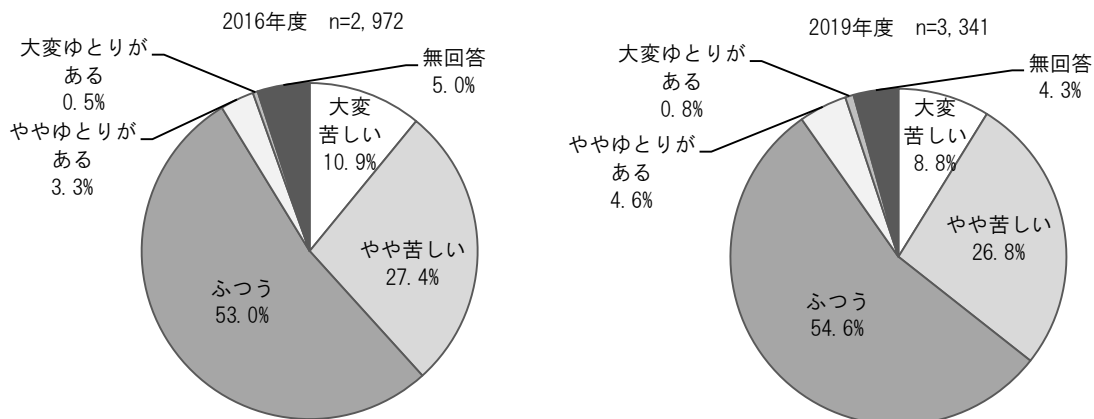


（3）現在の経済状況

○現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（54.6%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（26.8%）、「大変苦しい」（8.8%）となっています。

○前回調査と比較すると、「大変苦しい」が2.1ポイント、「やや苦しい」が0.6ポイント低く、「ふつう」が1.6ポイント高くなっています。

問1-(3) 経済的にみた現在の暮らしの状況（経年比較）



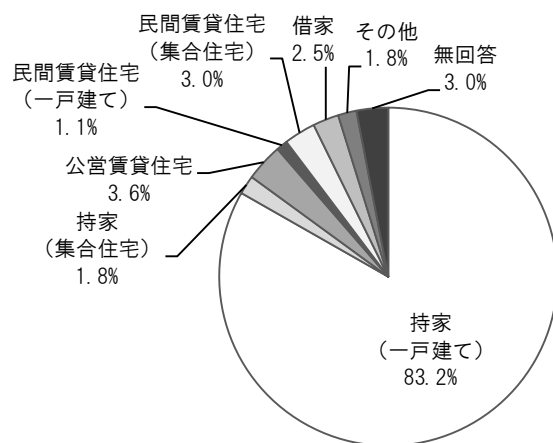
#### (4) 現在の住居環境

○現在暮らしている家の状況を見ると、「持家（一戸建て）」（83.2%）が最も高く、次いで「公営賃貸住宅」（3.6%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（3.0%）、「借家」（2.5%）となっています。

○主に生活する部屋が2階以上にある方は23.0%となっています。

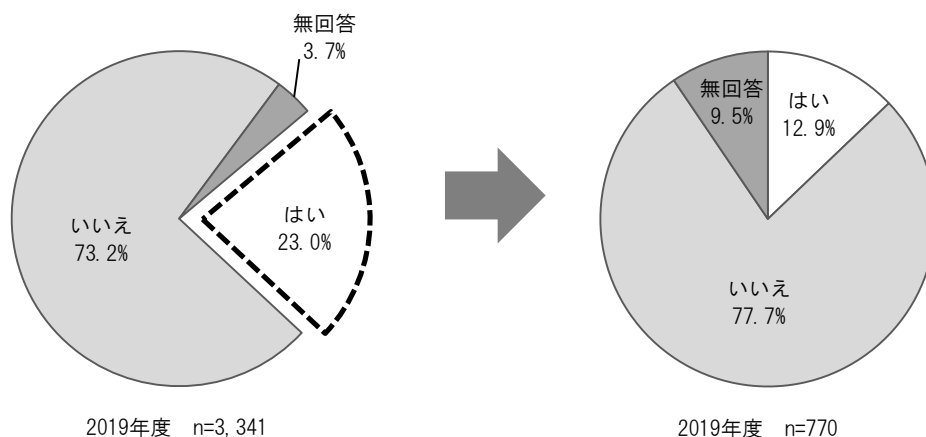
○また、主に生活する部屋が2階以上にある方のエレベーター設置状況を見ると、77.7%の方が未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在暮らしている家の状況



2019年度 n=3,341

問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか 問1-(5).① エレベーターが設置されている



2019年度 n=3,341

2019年度 n=770

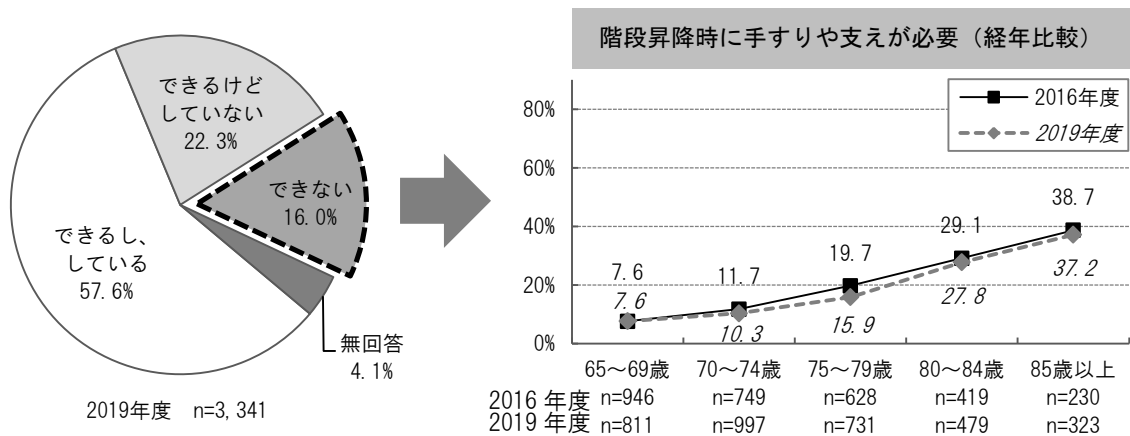
## 2 からだを動かすことについて

### (1) 運動機能の状況

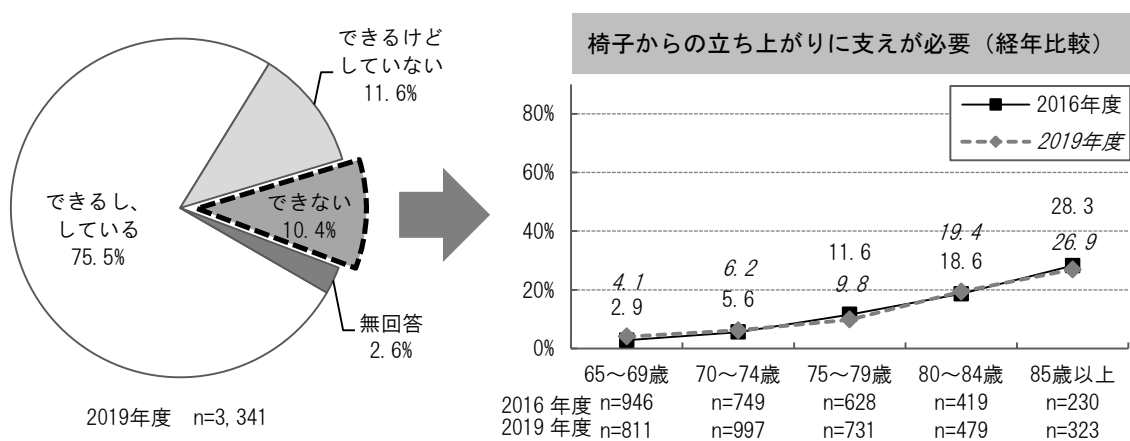
○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない方は16.0%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない方は10.4%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか

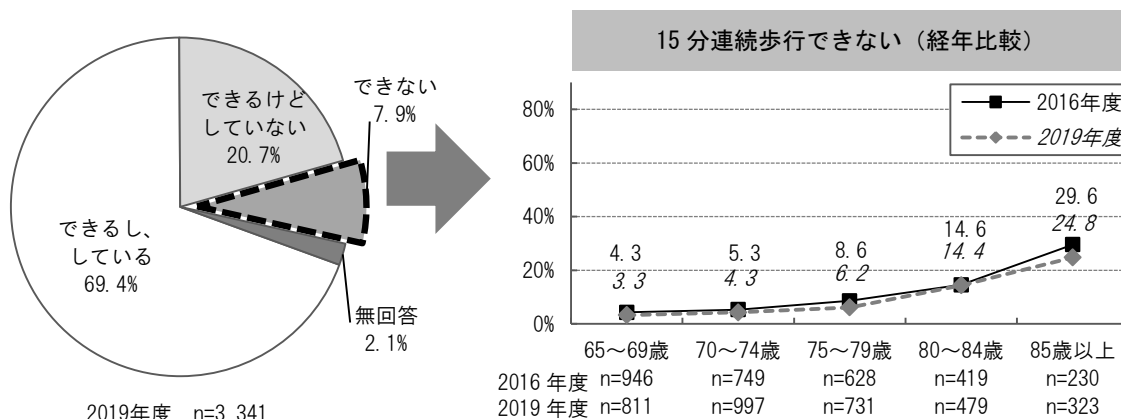


○15分位続けて歩くことができない方は7.9%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

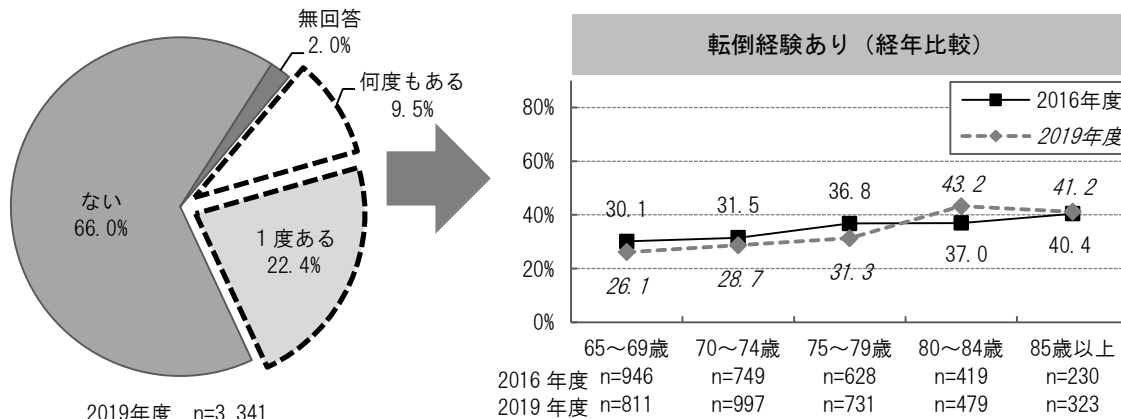
○過去1年間に転んだ経験がある方は、「1度ある」(22.4%)と「何度もある」(9.5%)を合わせた31.9%となり、年齢階級別にみると80~84歳まで加齢とともに割合が高くなっています。

○転倒に対する不安がある方は、「やや不安である」(37.7%)と「とても不安である」(13.2%)を合わせた50.9%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなり、80歳以降では6割を超えています。

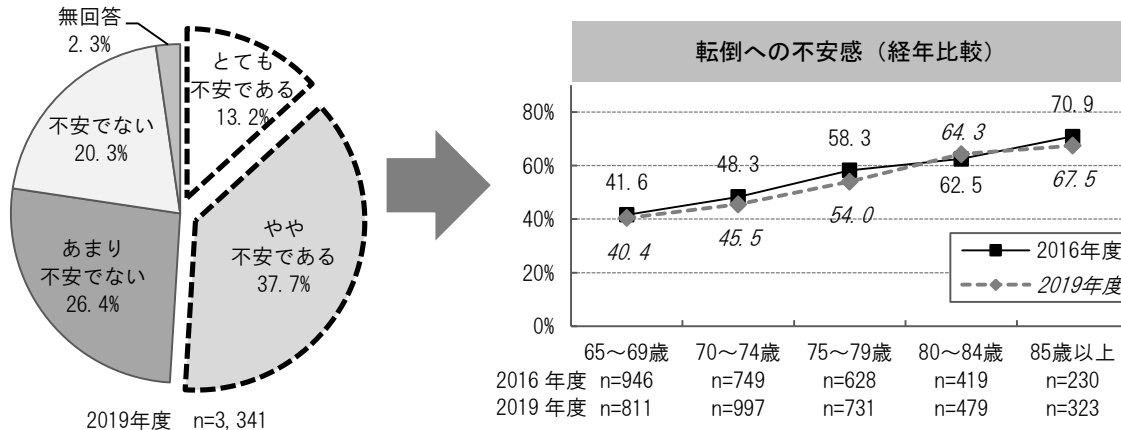
問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



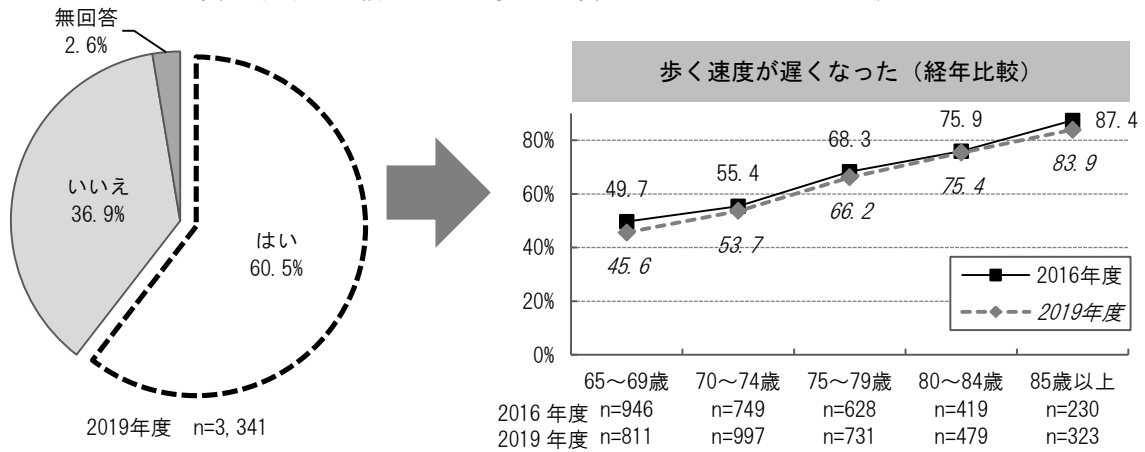
問2-(5) 転倒に対して不安であるか



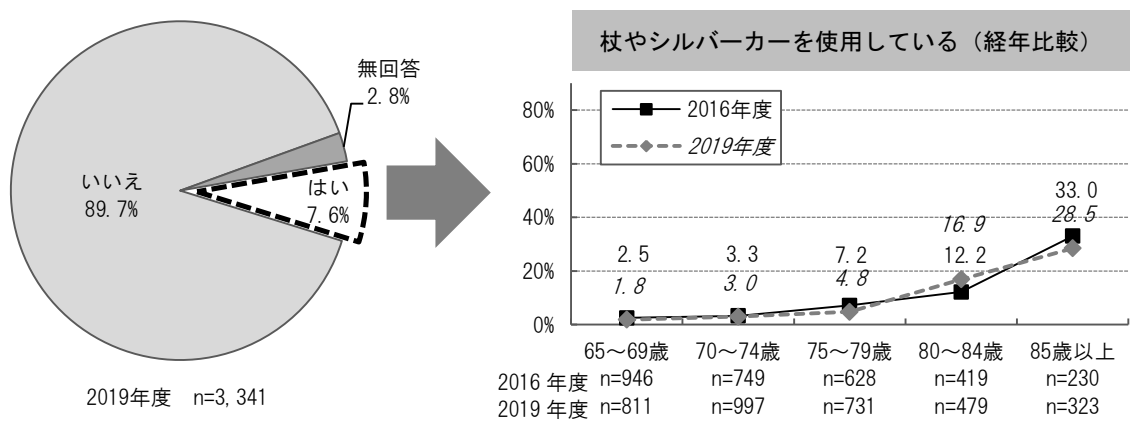
○以前に比べて歩く速度が遅くなった方は60.5%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなり、85歳以上では8割を超えています。

○杖やシルバーカーを使用している方は7.6%となり、年齢階級別にみると80歳以降で割合が高くなっています。

問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



問2-(12) 杖やシルバーカーを使用しているか

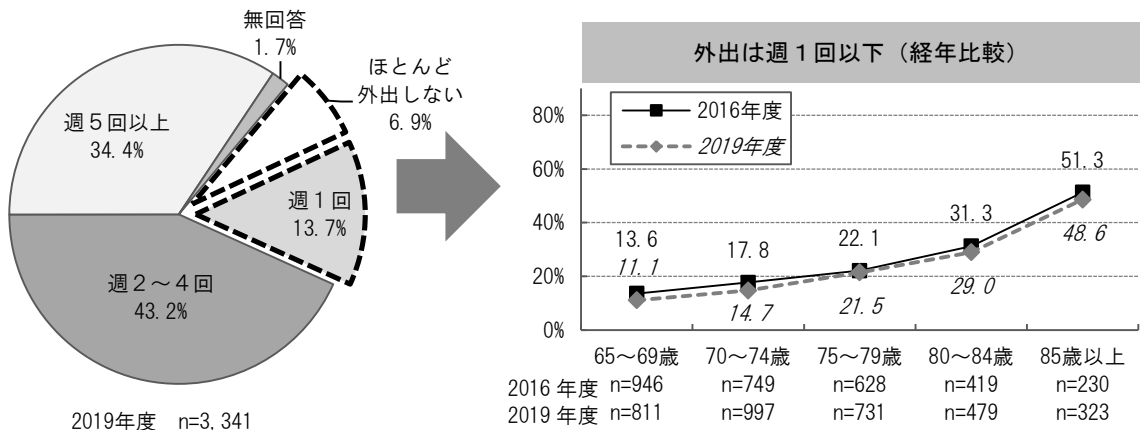


(2) 外出の状況

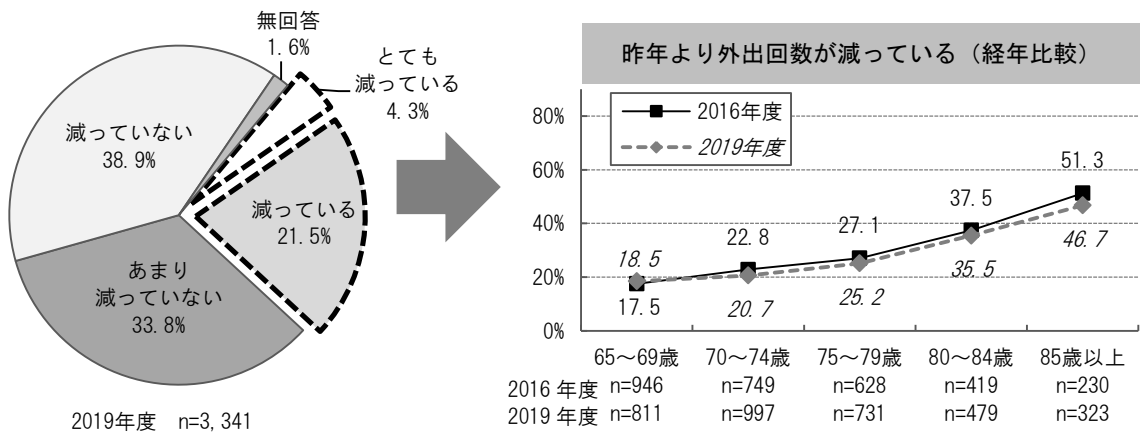
○週に1回以上は外出しているかでは、「週1回」(13.7%)と「ほとんど外出しない」(6.9%)を合わせた20.6%の方が週1回以下と回答し、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

○昨年と比べた外出の頻度をみると、「減っている」(21.5%)と「とても減っている」(4.3%)を合わせた25.8%となり、年齢階級別にみると80歳以降で割合が高くなっています。

問2-(6) 週に1回以上は外出しているか



問2-(7) 昨年と比べた外出頻度



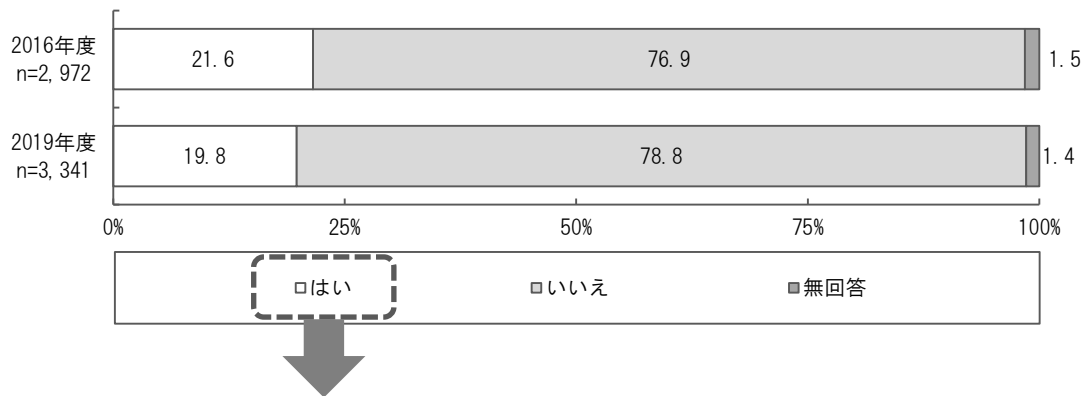
○外出を控えている方は19.8%となっています。

○前回調査と比較すると、外出を控えている方は1.8ポイント低くなっています。

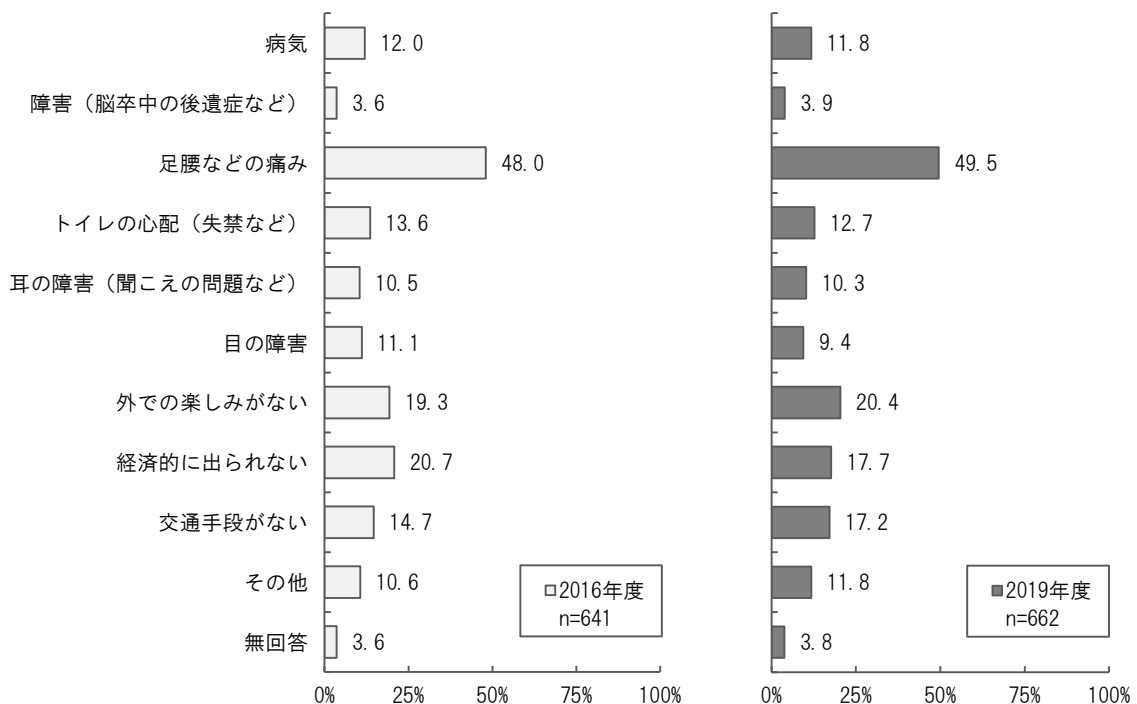
○外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」(49.5%)が最も高く、次いで「外での楽しみがない」(20.4%)、「経済的に出られない」(17.7%)、「交通手段がない」(17.2%)となっています。

○前回調査と比較すると、「交通手段がない」で2.5ポイント、「足腰などの痛み」で1.5ポイント、「外での楽しみがない」で1.1ポイント、「障害(脳卒中の後遺症など)」で0.3ポイント高くなっています。

問2-(8) 外出を控えているか(経年比較)



問2-(8).① 外出を控えている理由(経年比較)

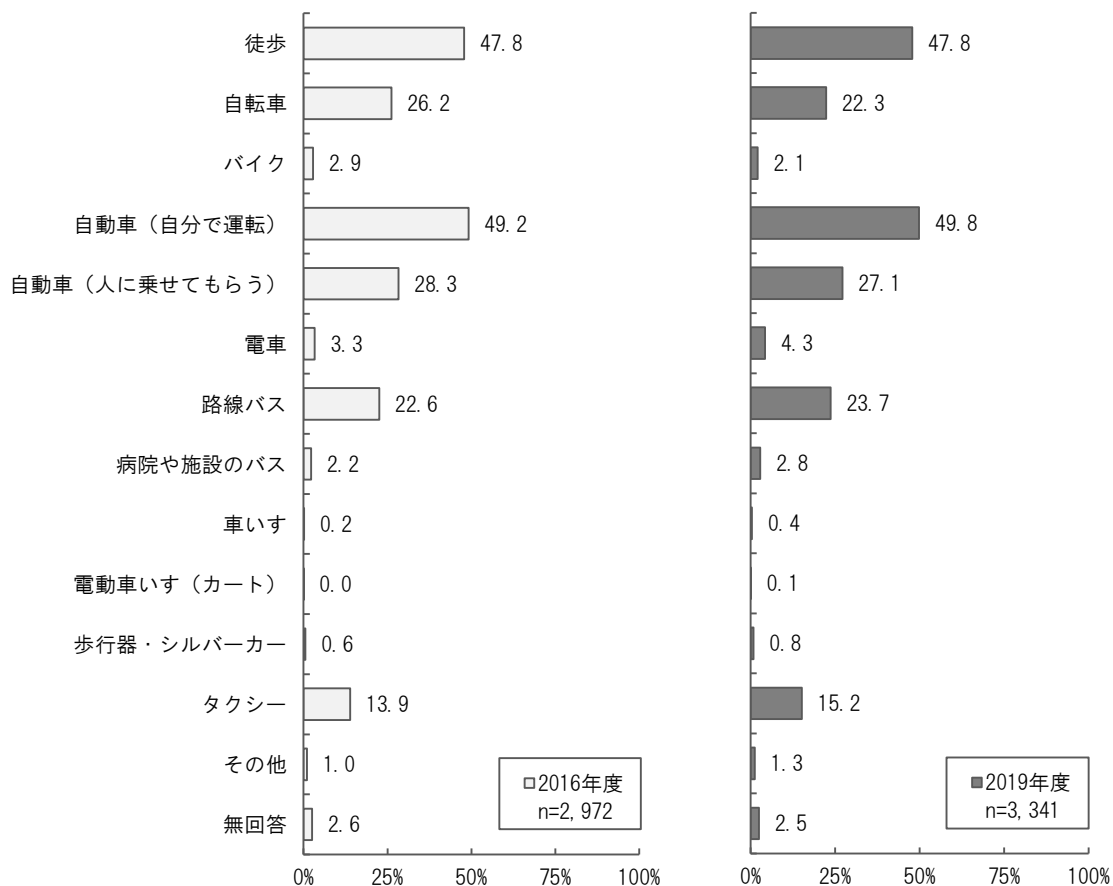




○外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（49.8%）が最も高く、次いで「徒歩」（47.8%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.1%）、「路線バス」（23.7%）、「自転車」（22.3%）、「タクシー」（15.2%）、「電車」（4.3%）となっています。

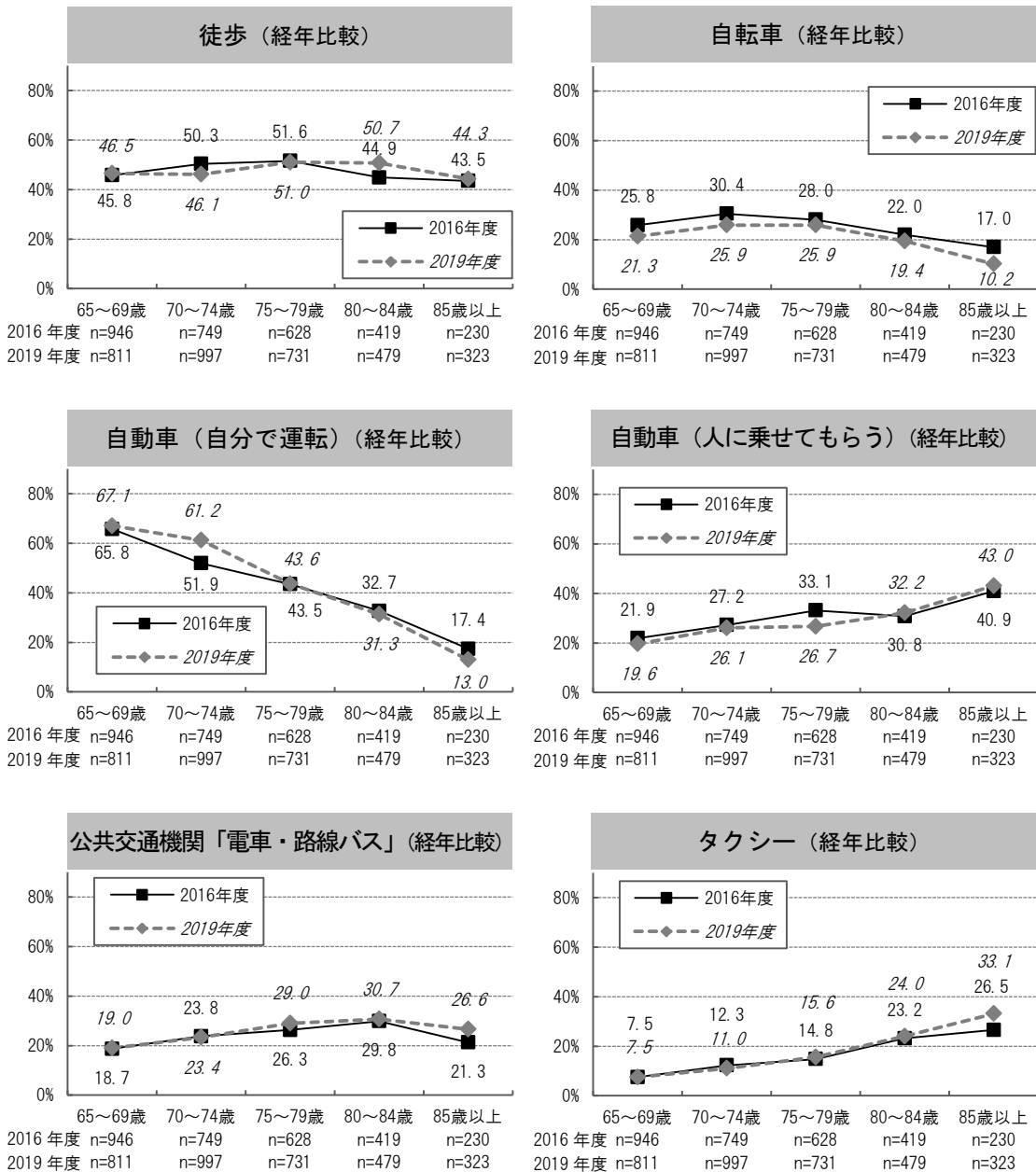
○前回調査と比較すると、「自動車（自分で運転）」、「徒歩」の割合にほとんど変化はなく、「タクシー」は1.3<sup>ポイント</sup>、「路線バス」は1.1<sup>ポイント</sup>、「電車」は1.0<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問2-(9) 外出する際の移動手段（経年比較）



- 外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「自転車」は80歳以降で利用割合が低下しています。
- 「自動車（自分で運転）」は加齢とともに利用割合が低くなっています。
- 一方、「自動車（人に乗せてもらう）」は、加齢とともに利用割合が高くなる傾向です。
- 「公共交通機関（電車・路線バス）」は加齢とともに利用が増えていますが、85歳以上で利用が減少しています。

問2-(9) 年齢階級別移動手段（経年比較）



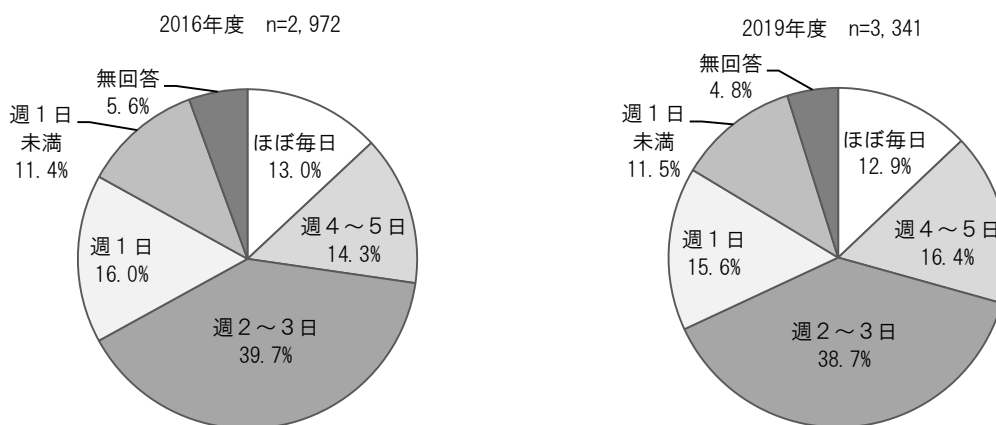
○買い物で外出する頻度では、「週2～3日」(38.7%)が最も高く、次いで「週4～5日」(16.4%)、「週1日」(15.6%)、「ほぼ毎日」(12.9%)となっています。

○前回調査と比較すると、「週4～5日」で2.1ポイント高くなっています。

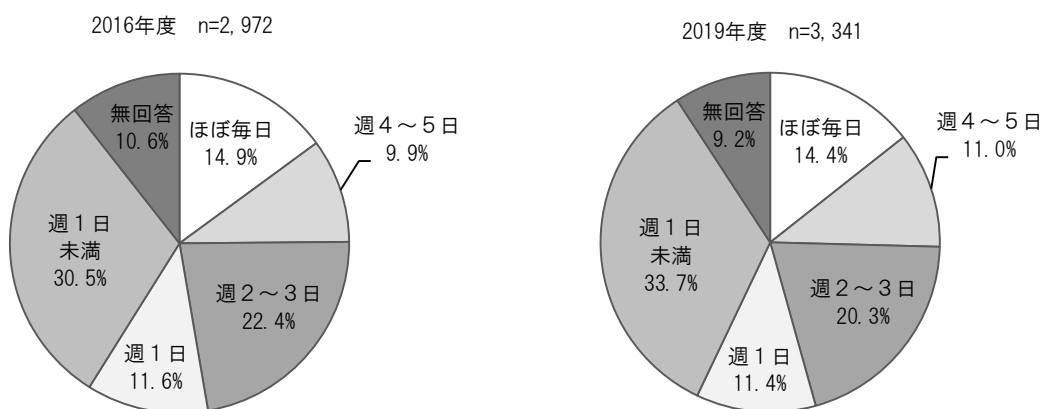
○散歩で外出する頻度では、「週1日未満」(33.7%)が最も高く、次いで「週2～3日」(20.3%)、「ほぼ毎日」(14.4%)、「週1日」(11.4%)となっています。

○前回調査と比較すると、「週1日未満」で3.2ポイント、「週4～5日」で1.1ポイント高くなっています。

問2-(10).① 買い物で外出する頻度 (経年比較)



問2-(10).② 散歩で外出する頻度 (経年比較)



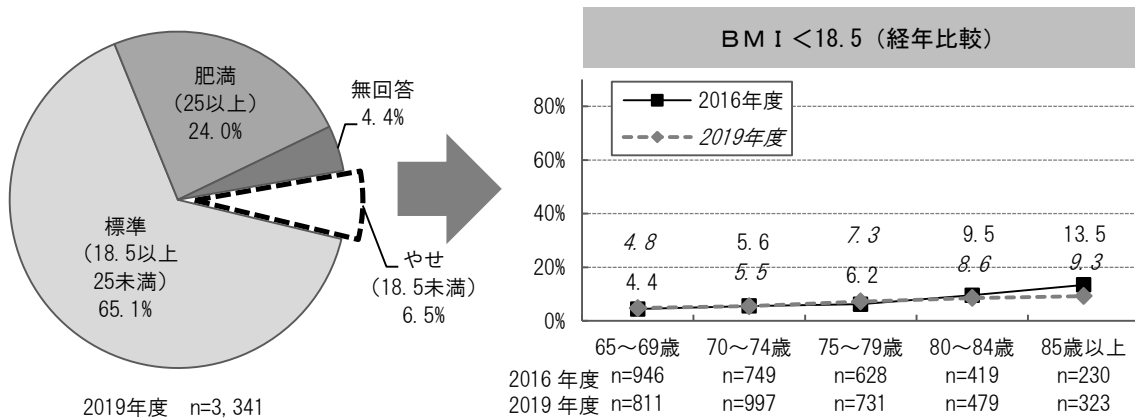
### 3 食べることについて

#### (1) 現在の体重（BMI）状況

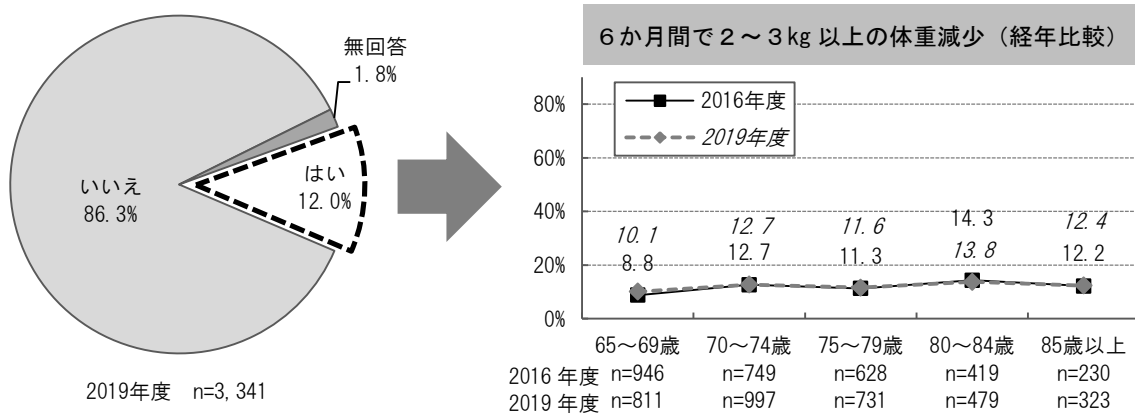
○高齢者の肥満状況をBMI指数で見ると、「やせ（18.5未満）」の方は6.5%となり、年齢階級別にみると加齢とともにやや高くなっています。

○6か月間で2～3kg以上の体重減少があった方は12.0%となり、年齢階級別にみると一定の割合で横ばいとなっています。

問3-(1) BMI



問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか



## (2) 歯・口腔の状況

○歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(45.6%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(12.5%)を合わせた58.1%の方が入れ歯を利用しています。

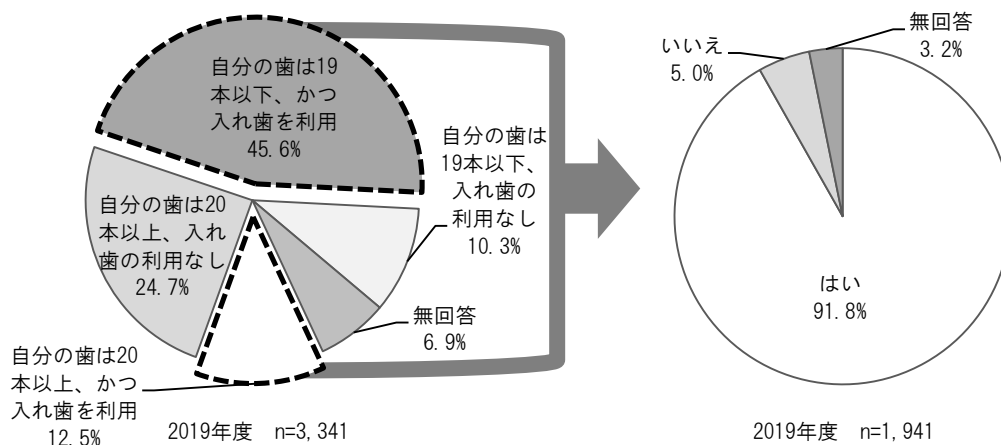
○入れ歯利用者のうち、毎日入れ歯の手入れをしている方は91.8%となっています。

○噛み合わせが良い方は75.6%となっています。

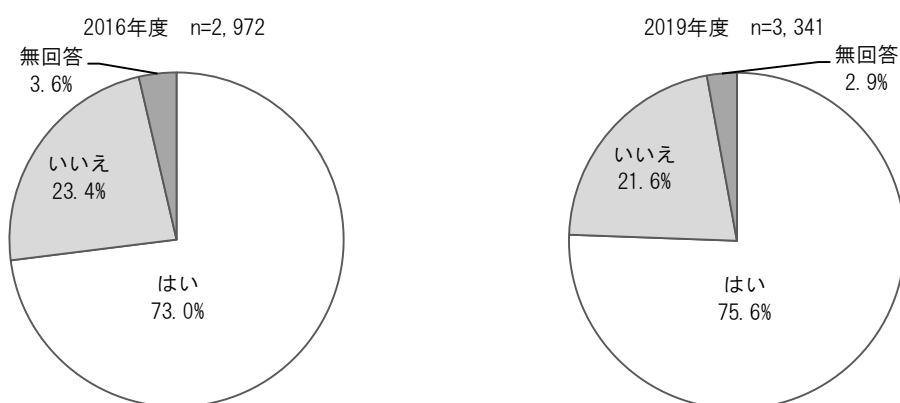
○前回調査と比較すると、噛み合わせが良い方は2.6ポイント高くなっています。

問3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



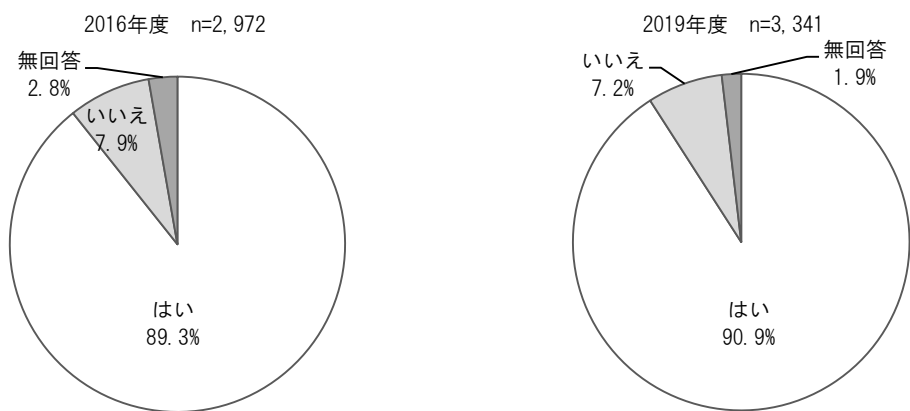
問3-(3).② 噛み合わせは良いか (経年比較)



○歯磨きを毎日している方は90.9%となっています。

○前回調査と比較すると、歯磨きを毎日している方は1.6<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問3-(7) 歯磨きを毎日しているか（経年比較）

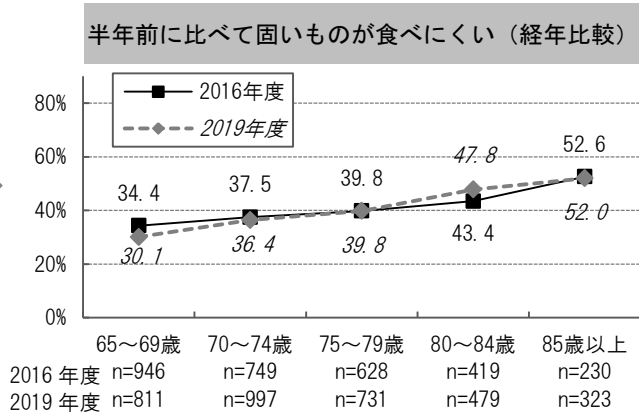
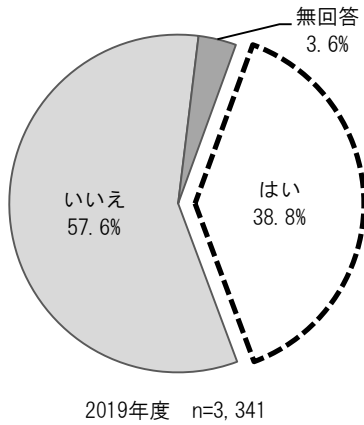


○半年前に比べて固いものが食べにくい方は38.8%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

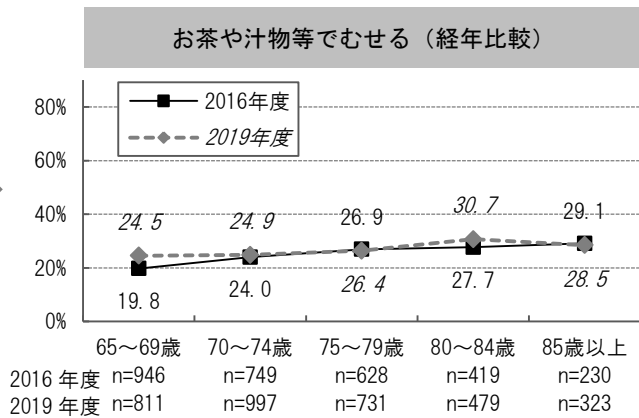
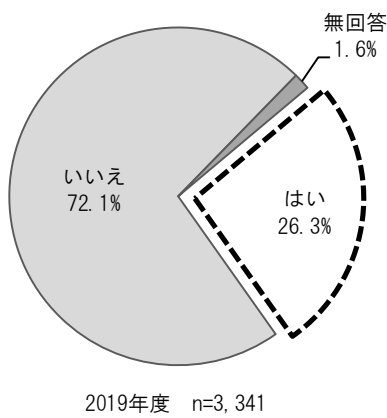
○お茶や汁物等でむせることがある方は26.3%となり、年齢階級別にみると84歳まで加齢とともに割合が高くなっています。

○口の渇きが気になる方は25.2%で、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

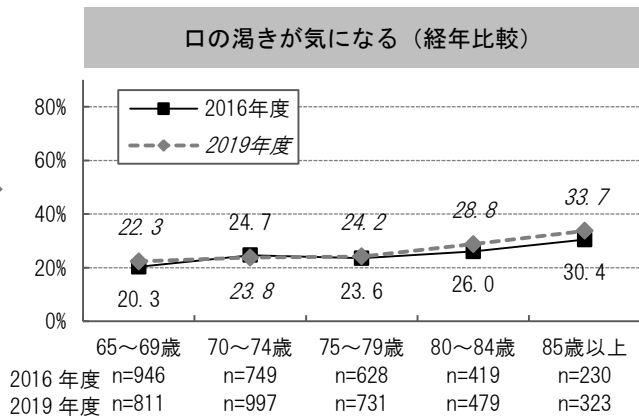
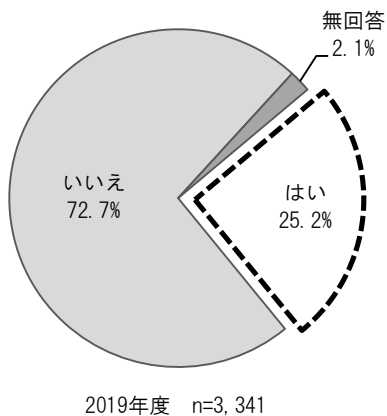
問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった



問3-(5) お茶や汁物等でむせることがある



問3-(6) 口の渇きが気になるか



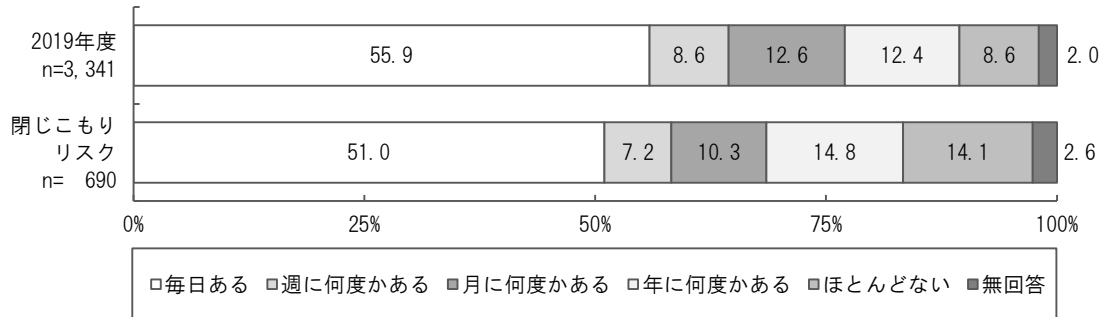
(3) 食事の状況

○どなたかと食事をとにもする機会をみると、全体・閉じこもりリスク者ともに「毎日ある」(55.9%・51.0%)が最も高いものの、「ほとんどない」の閉じこもりリスク者は14.1%となっており、全体を5.5ポイント上回る状況です。

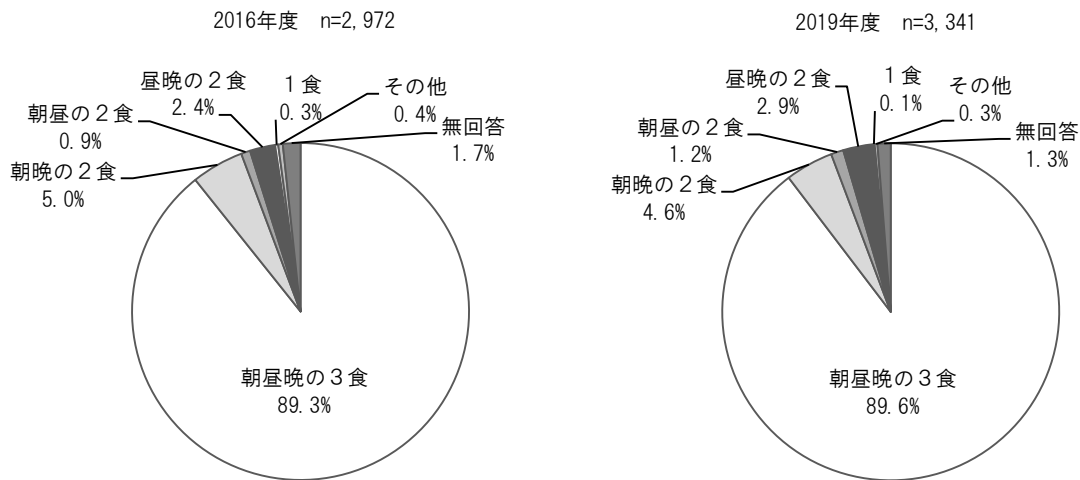
○1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(89.6%)が最も高くなっています。

○前回調査と比較すると、「朝昼晩の3食」は0.3ポイント高くなっています。

問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会 (×「閉じこもりリスク者」)



問3-(9) 1日の食事の回数 (経年比較)





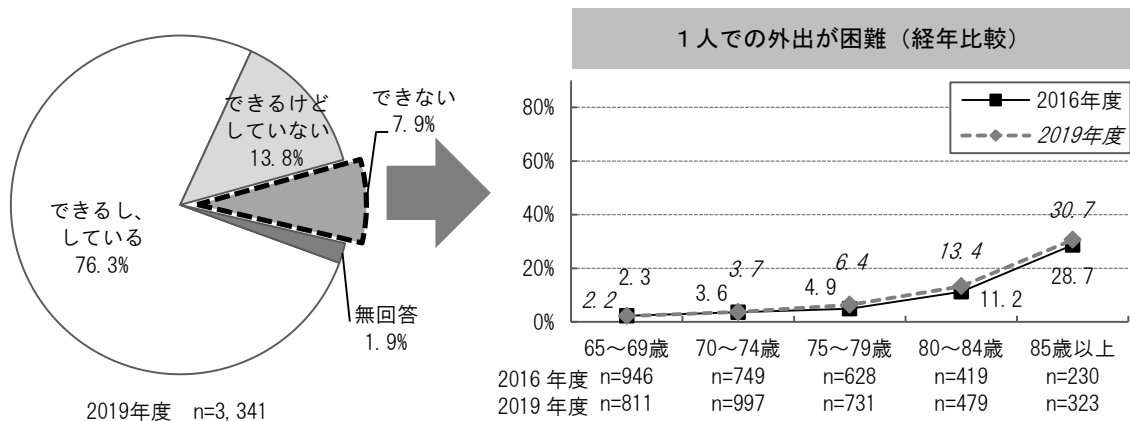
## 4 毎日の生活について

### (1) IADL（手段的自立度）の状況

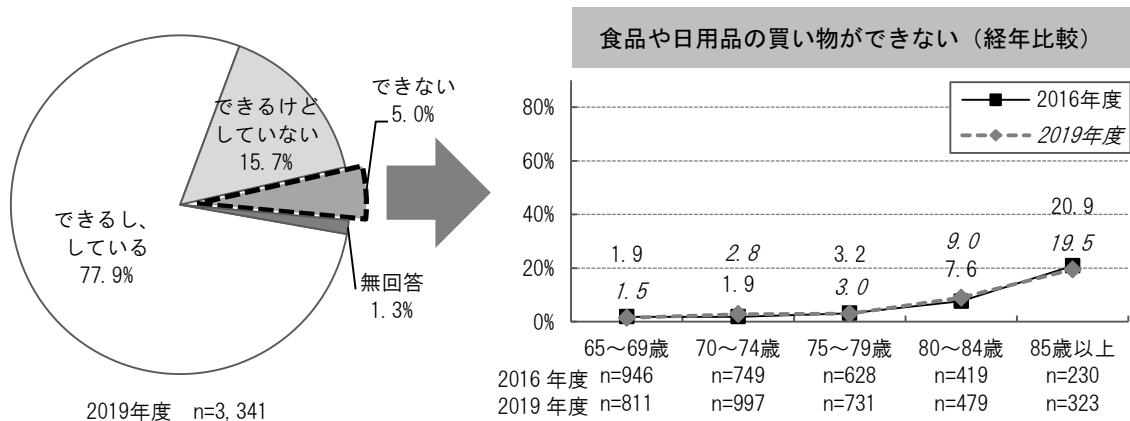
○バスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できない」方が7.9%となり、その該当者の年齢階級別にみると85歳以上で約3割まで上昇します。

○自分で食品・日用品の買い物をしているかでは、「できない」方が5.0%となり、その該当者の年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか

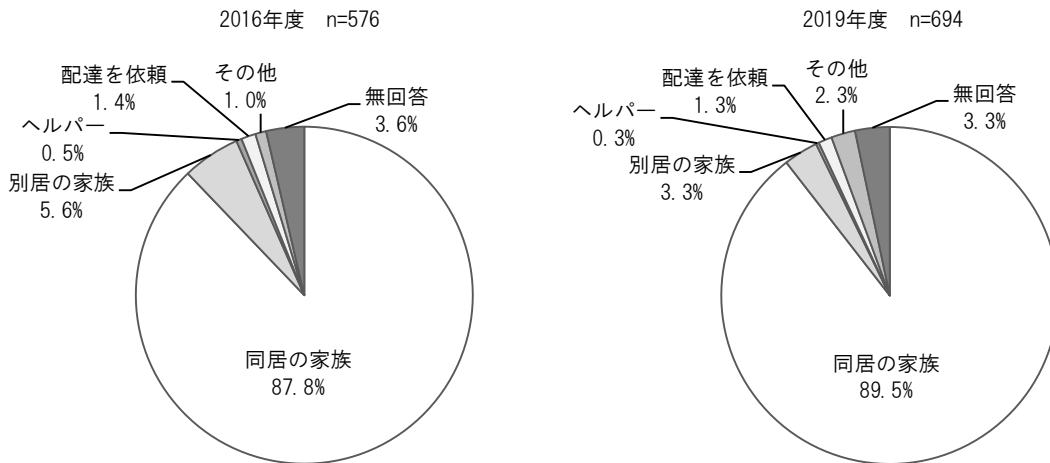


問4-(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

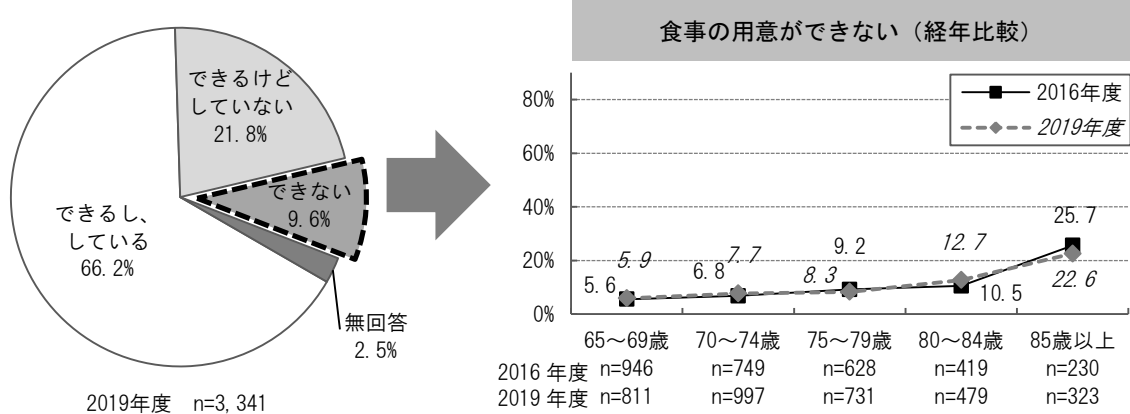


- 食品・日用品の買い物をする人は、「同居の家族」(89.5%)が最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「同居の家族」で1.7%高くなっています。
- 自分で食事の用意ができない方は9.6%となり、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(3). ① 食品・日用品の買い物をする人 (経年比較)  
【問4-(3)において「2. できるけどしていない」「3. できない」に回答の方】



問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



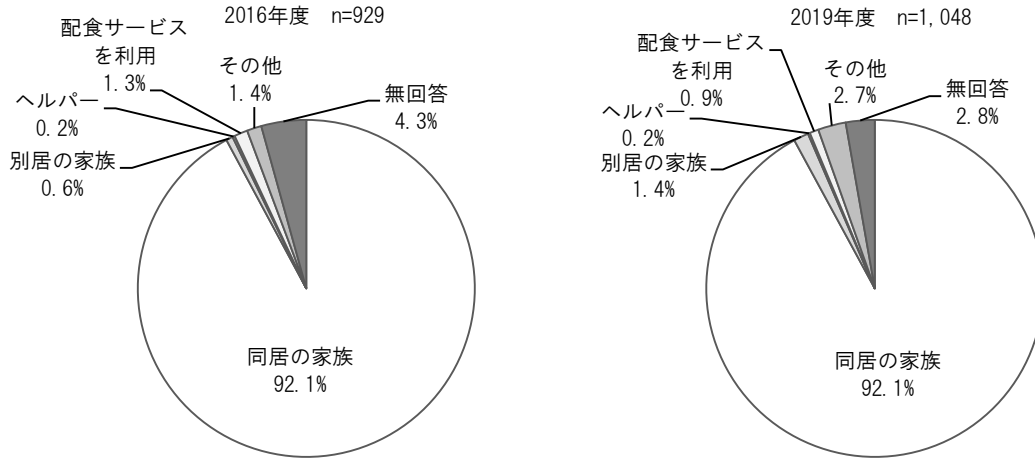
○食事の用意をする人は、「同居の家族」(92.1%)が最も高い一方、「配食サービスを利用」している方は0.9%でわずかとなっています。

○前回調査と比較すると、「別居の家族」で0.8<sup>ポイント</sup>高くなっています。

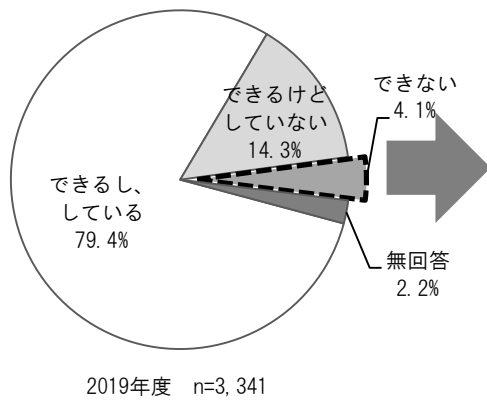
○自分で請求書の支払いができない方は4.1%となり、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(4). ① 食事の用意をする人 (経年比較)

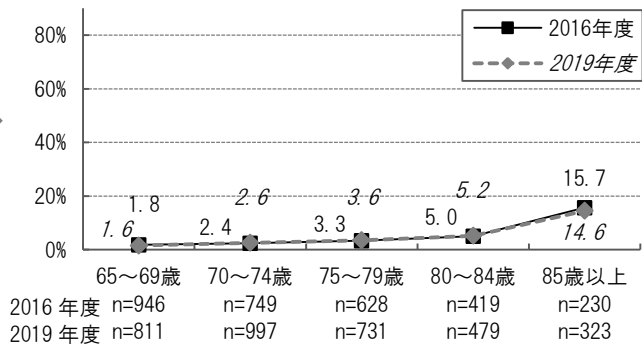
【問4-(4)において「2. できるけどしていない」「3. できない」に回答の方】



問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか

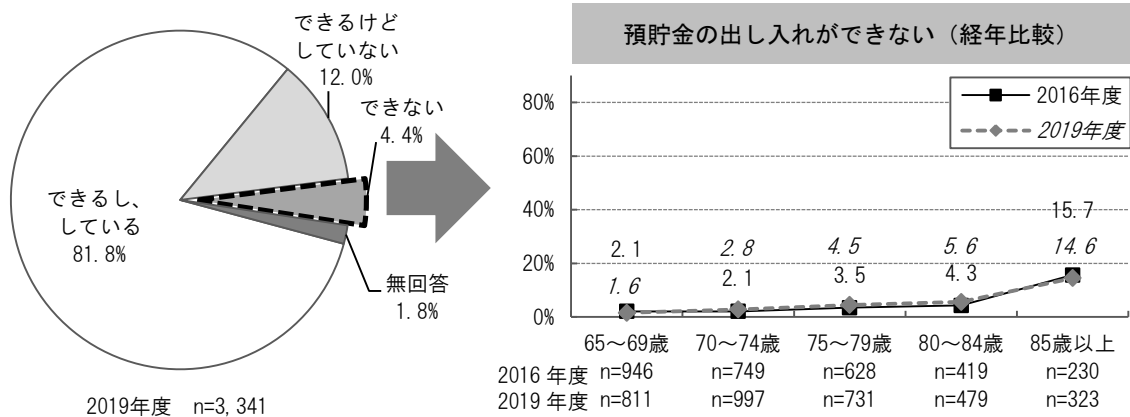


請求書の支払いができない (経年比較)



○自分で預貯金の出し入れができない方は4.4%となり、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

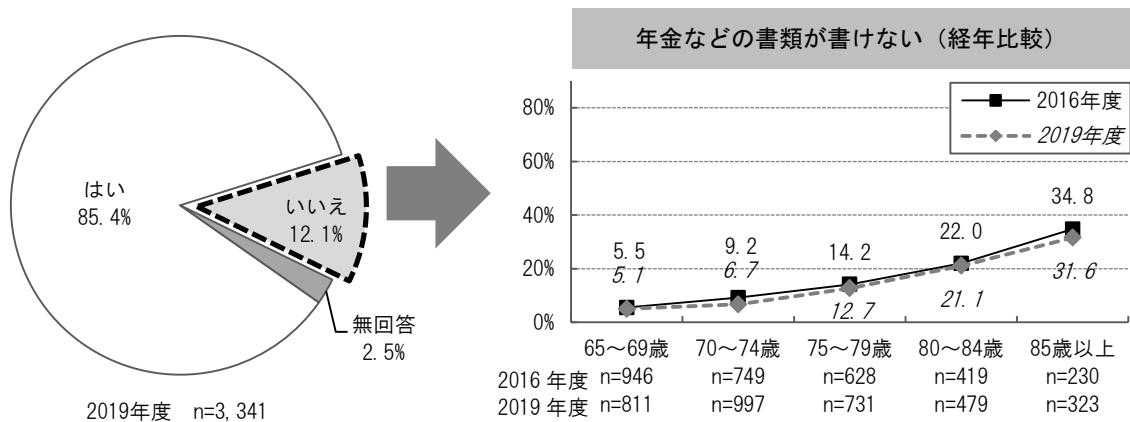
問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



(2) 社会参加（知的能動性）の状況

○年金などの書類が書けない方は12.1%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか

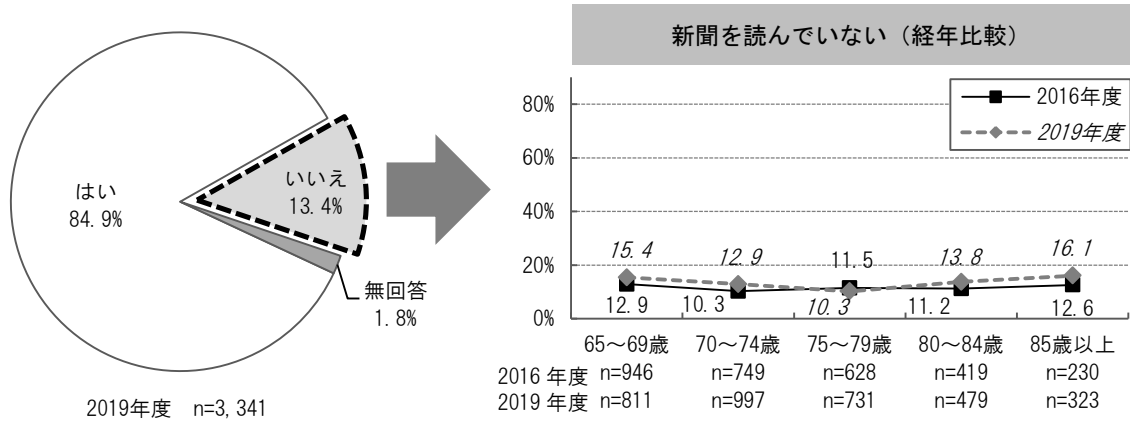


○新聞を読んでいない方は13.4%となり、年齢階級別は一定の割合で横ばいとなっています。

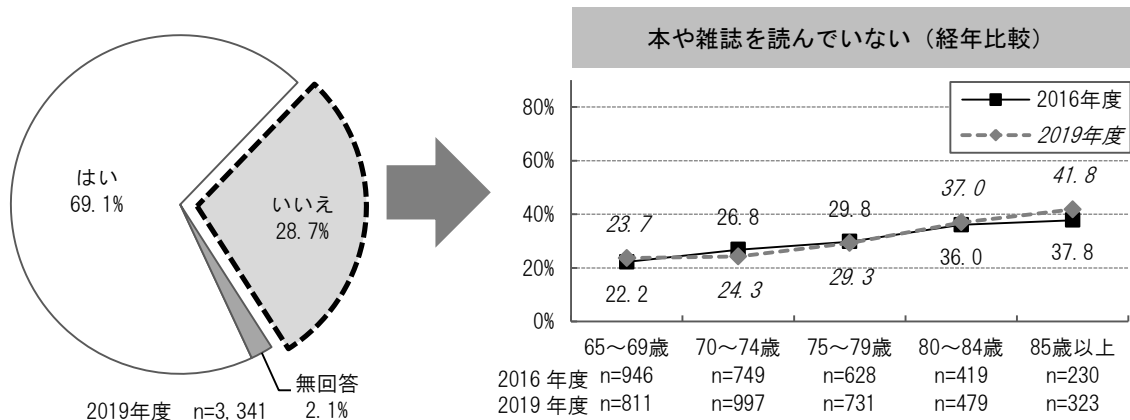
○本や雑誌を読んでいない方は28.7%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○健康についての記事や番組に関心がない方は11.2%となり、年齢階級別にみると80歳以降で加齢とともに割合が高くなっています。

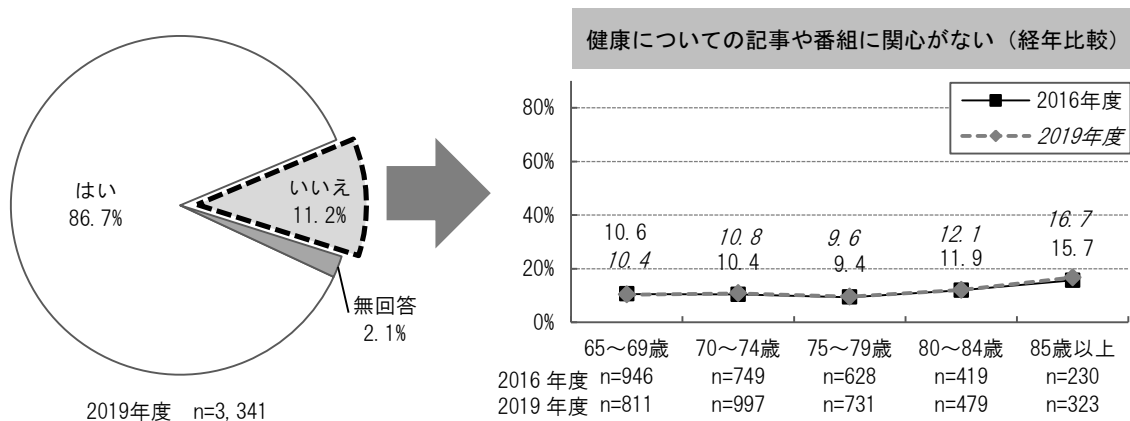
問4-(10) 新聞を読んでいるか



問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



問4-(12) 健康についての記事や番組に関心がある



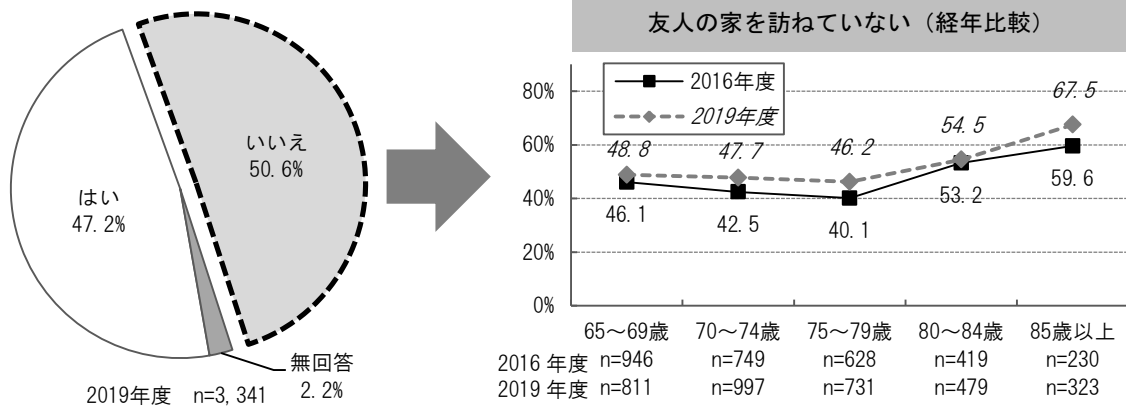
(3) 社会参加（社会的役割）の状況

○友人の家を訪ねていない方は50.6%となり、年齢階級別にみると80歳以降で5割を超えて高くなっています。

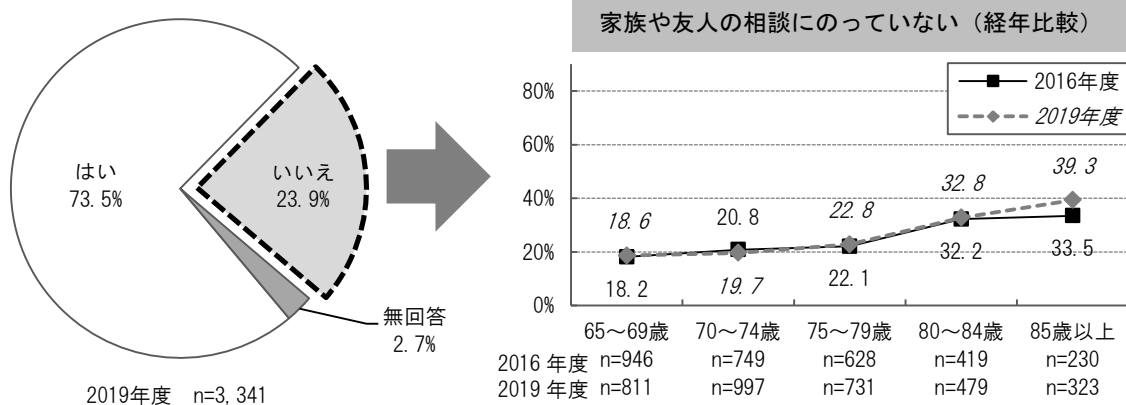
○家族や友人の相談にのっていない方は23.9%となり、年齢階級別にみると80歳以降で3割を超えて高くなっています。

○病人を見舞うことができない方は11.1%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

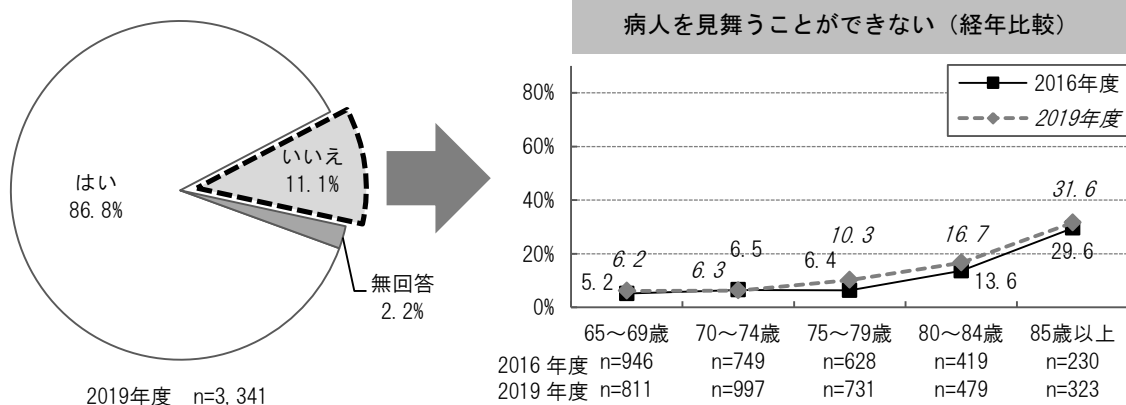
問4-(13) 友人の家を訪ねているか



問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか

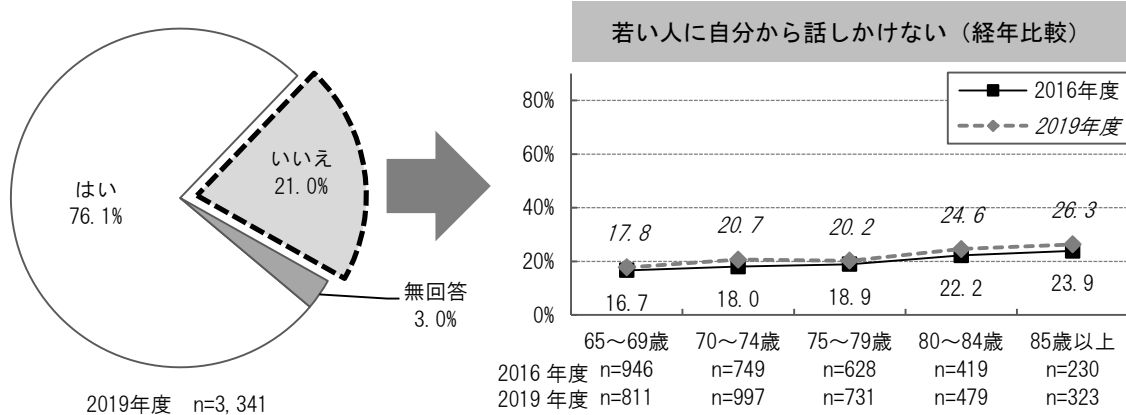


問4-(15) 病人を見舞うことができるか



○若い人に自分から話しかけない方は21.0%となり、年齢階級別にみると80歳以降で加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか

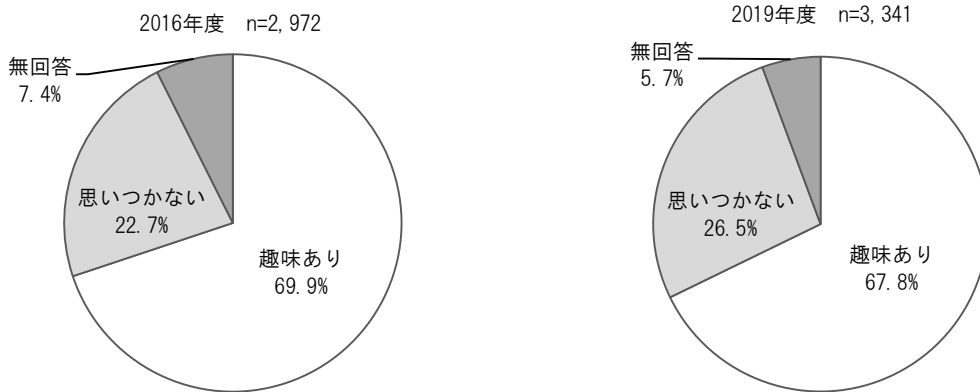


(4) こころの健康状態

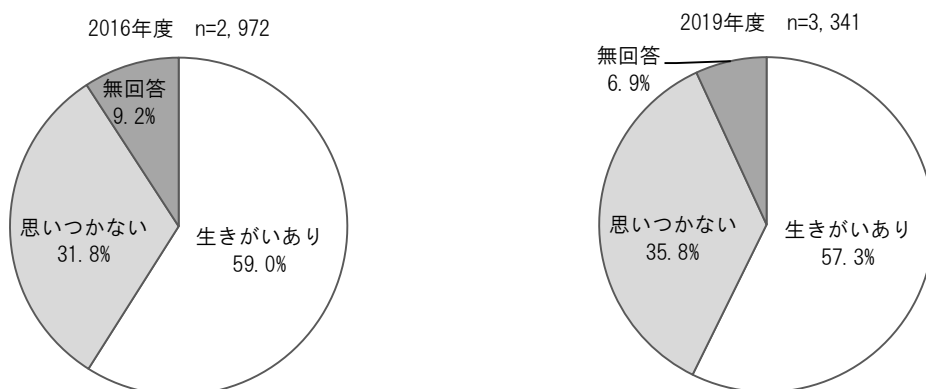
○趣味がある方は67.8%で、前回調査と比較すると、「思いつかない」方が3.8ポイント高くなっています。

○生きがいがある方は57.3%で、前回調査と比較すると、「思いつかない」方が4.0ポイント高くなっています。

問4-(17) 趣味はあるか (経年比較)

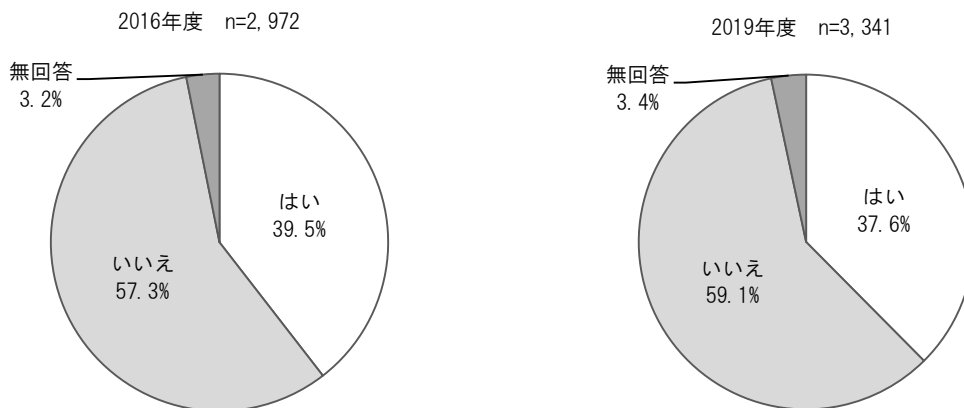


問4-(18) 生きがいはあるか (経年比較)

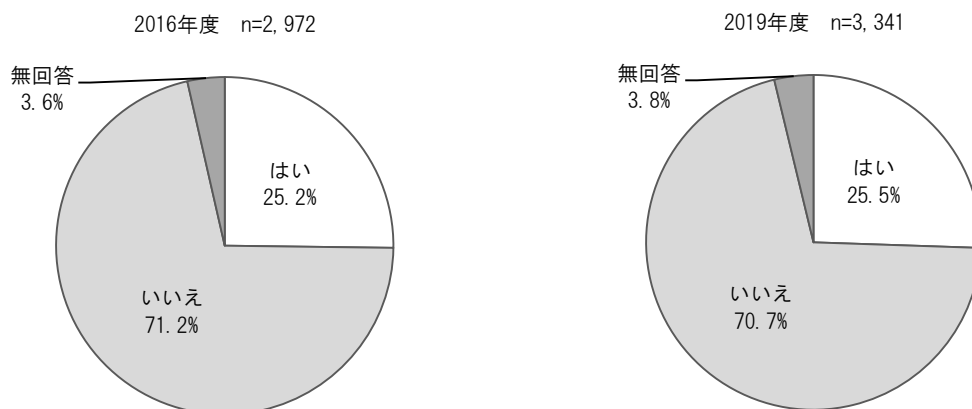


- この1か月間、気分が沈んだりすることがある方は37.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、気分が沈んだりすることがある方は1.9<sup>ポイント</sup>低くなっています。
- この1か月間、物事に対して心から楽しめない方は25.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、物事に対して心から楽しめない方は0.3<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする（経年比較）



問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない（経年比較）

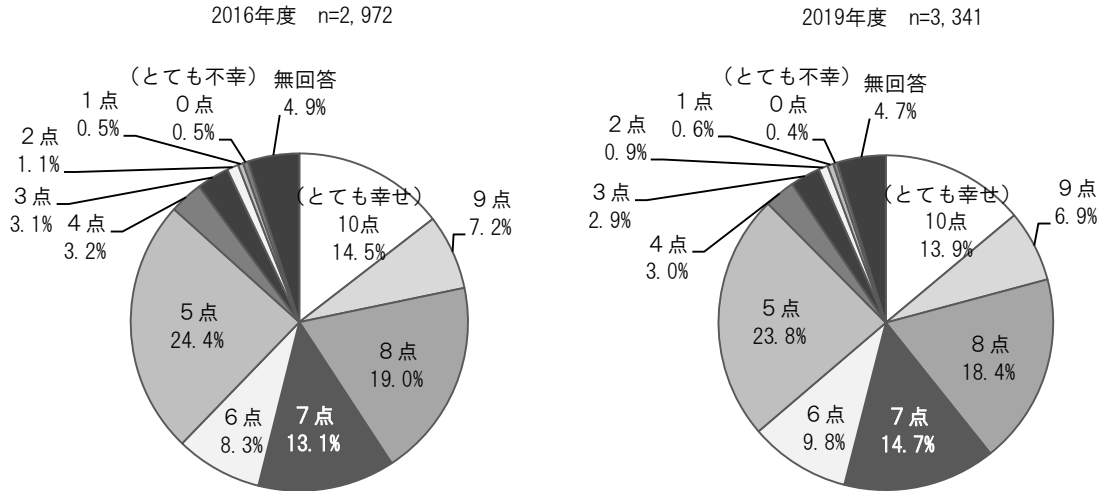




○現在の主観的幸福感を点数でみると、「5点」(23.8%)が最も高く、次いで「8点」(18.4%)、「7点」(14.7%)、「(とても幸せ)10点」(13.9%)の順となっています。

○前回調査と比較すると、「7点」で1.6ポイント、「6点」で1.5ポイント高くなっています。

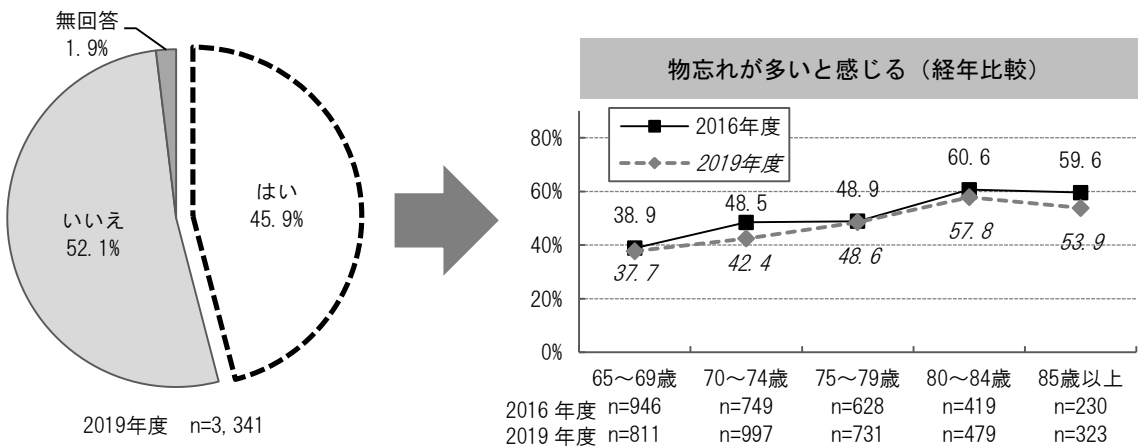
問7-(2) 現在の主観的幸福感 (経年比較)



(5) 物忘れの状況

○物忘れが多いと感じる方は45.9%で、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなる傾向です。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか

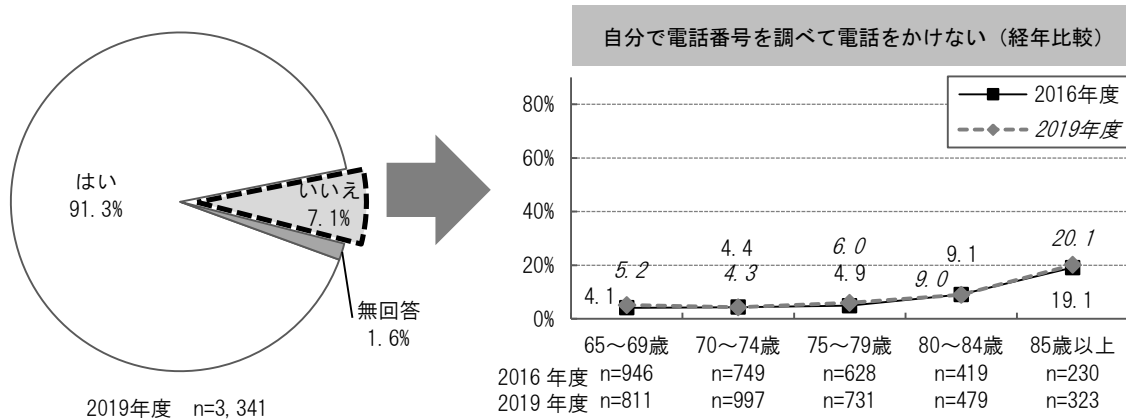


○自分で電話番号を調べて電話をかけない方は7.1%で、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

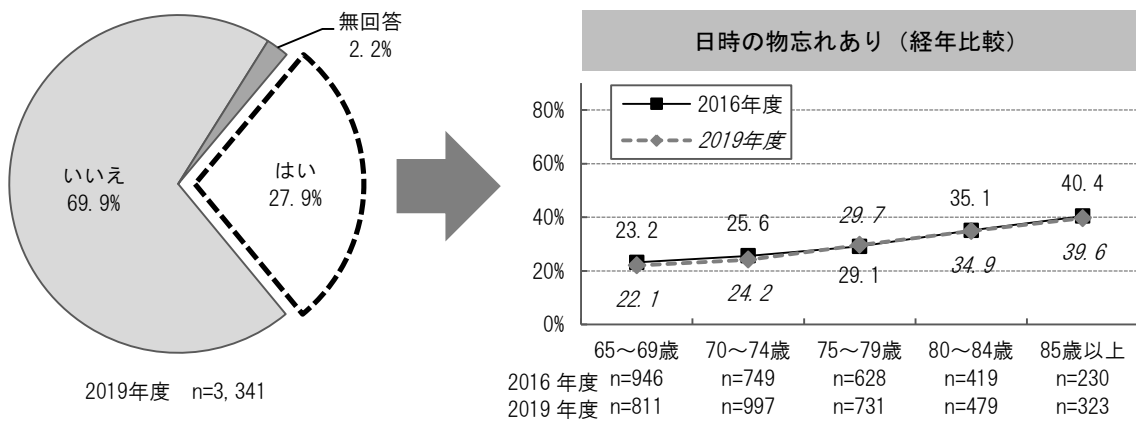
○今日が何月何日かわからない時がある方は27.9%で、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○周囲から物忘れを指摘される方は16.2%となっています。

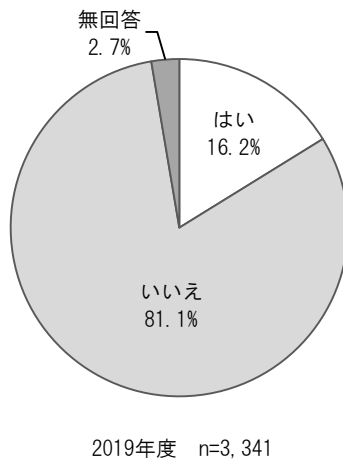
問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



問4-(19) 周囲から物忘れを指摘される



○5分前に自分が何をしていたか思い出せるかでは、8.3%の方が思い出せないと回答しています。

○前回調査と比較すると、思い出せない方は4.5%<sup>ポイント</sup>高くなっています。

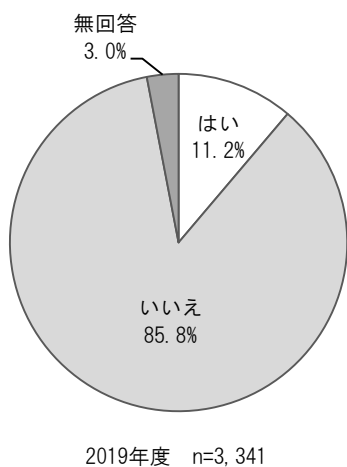
○自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があると回答した方は11.2%となっています。

○認知症に関する相談窓口について25.8%の方が知っていると回答していますが、「知らない(いいえ)」は7割に及んでいます。

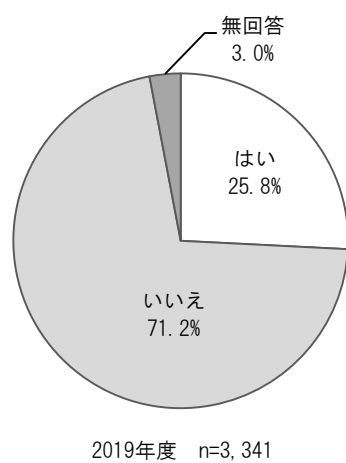
問4-(20) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか(経年比較)



問4-(21) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある



問4-(22) 認知症に関する相談窓口を知っているか



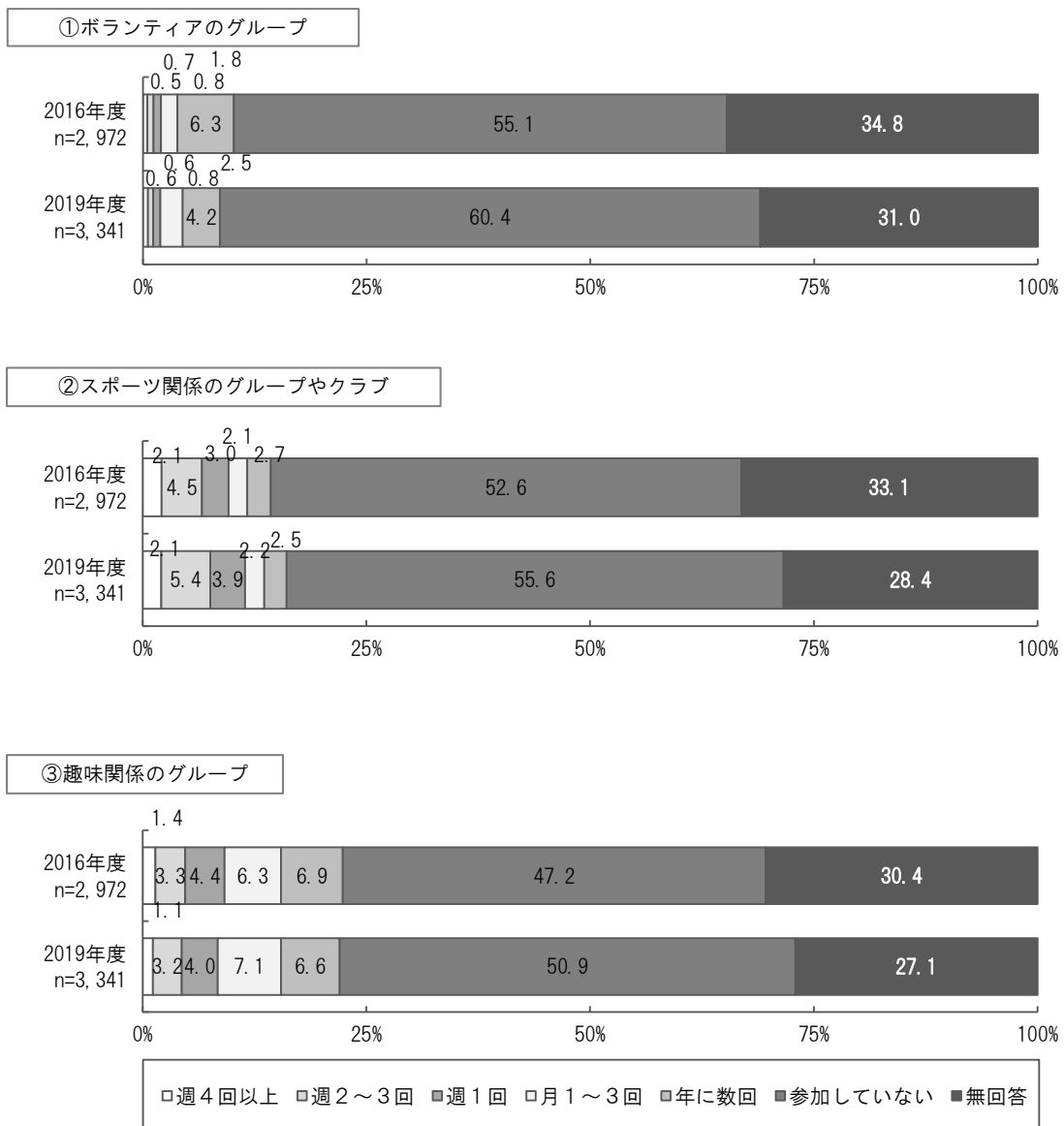
## 5 地域での活動について

### (1) グループ活動等の状況

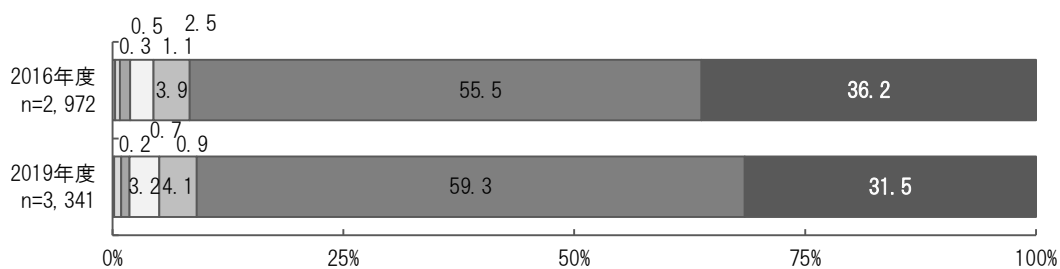
○通いの場（グループ活動）等への参加頻度をみると、週に1回以上の就労または通いの場等に参加している方は「⑧収入のある仕事」（17.1%）、「②スポーツ関係のグループやクラブ」（11.4%）、「③趣味関係のグループ」（8.3%）となっています。

○前回調査と比較すると、「⑧収入のある仕事」で2.1ポイント、「②スポーツ関係のグループやクラブ」で1.8ポイント、「⑦町内会・自治会」で0.2ポイント高くなっています。

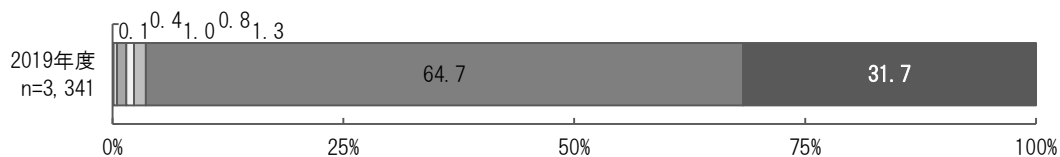
問5-(1) 通いの場等への参加頻度（経年比較）



④学習・教養サークル

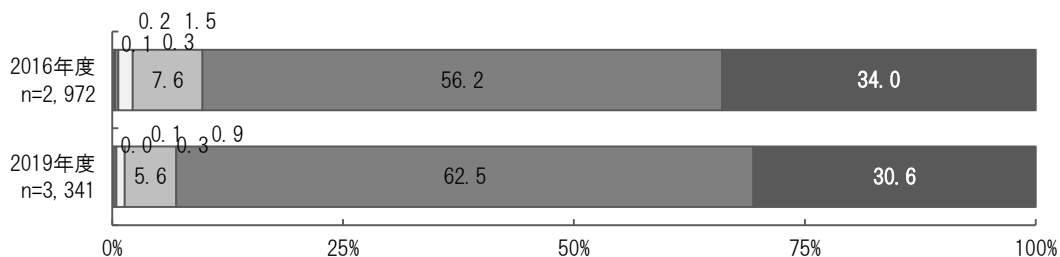


⑤介護予防のための通いの場（弘前市高齢者ふれあい居場所づくり事業など）

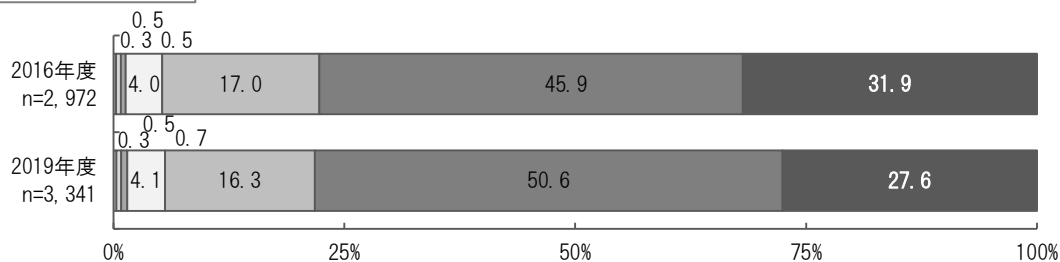


※2016年度調査には、⑤介護予防のための通いの場はありません。

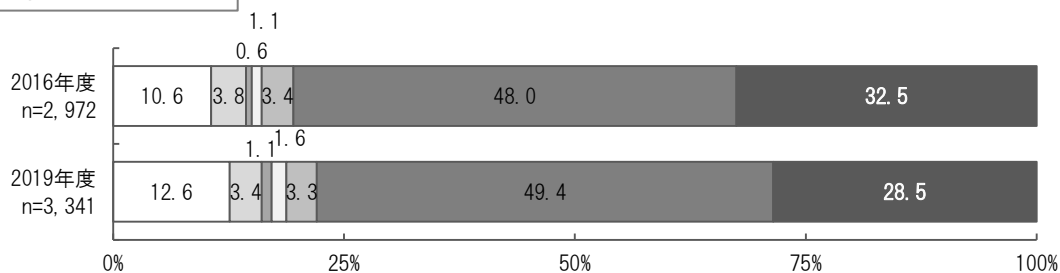
⑥老人クラブ



⑦町内会・自治会



⑧収入のある仕事



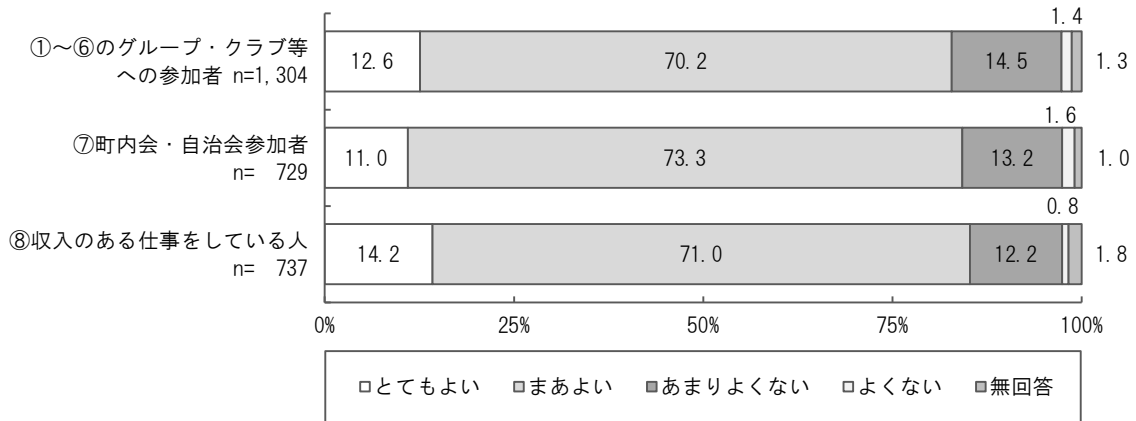
□週4回以上 □週2~3回 □週1回 □月1~3回 □年に数回 ■参加していない ■無回答

○グループ等への参加者の主観的健康感をみると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた82.8～85.2%の方が「よい」と回答しています。

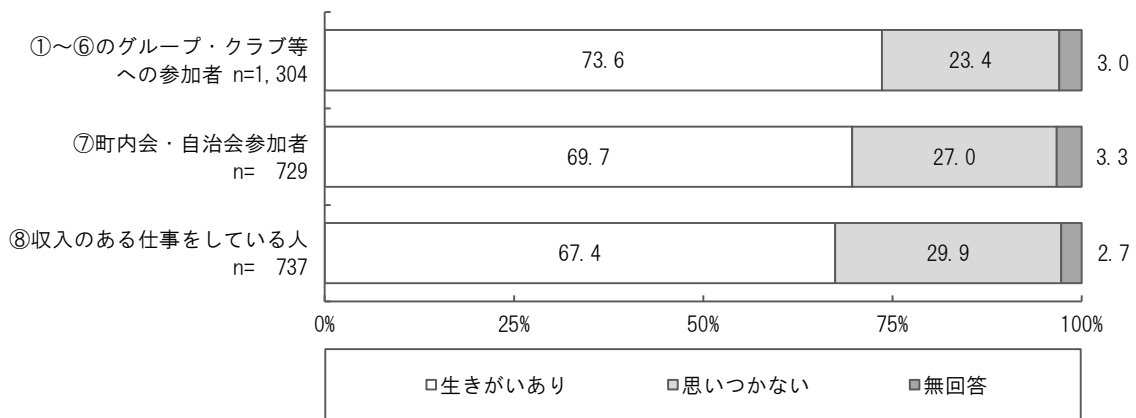
○グループ等への参加者で生きがいのある方は、67.4～73.6%となっています。

○グループ等への参加者で趣味のある方は、74.5～87.1%となっています。

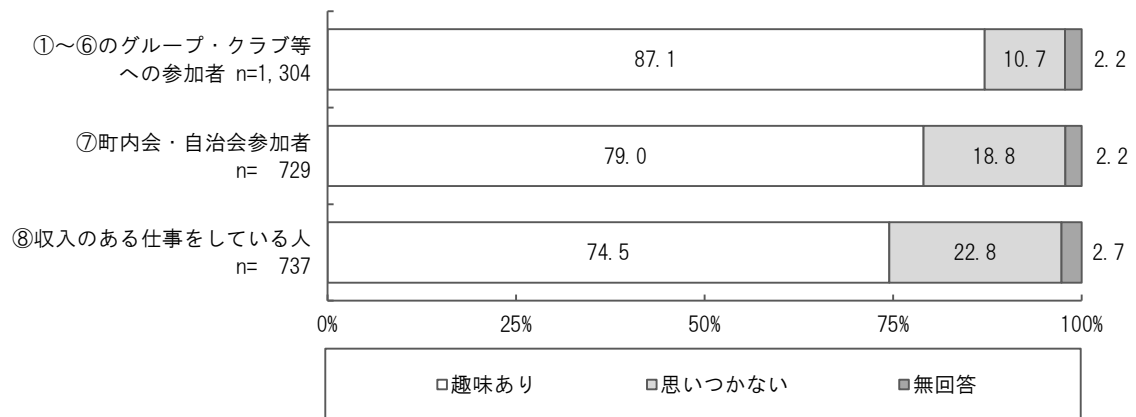
「問5-(1) 通いの場等への参加者」×「問7-(1) 主観的健康感」



「問5-(1) 通いの場等への参加者」×「問4-(18) 生きがいはあるか」



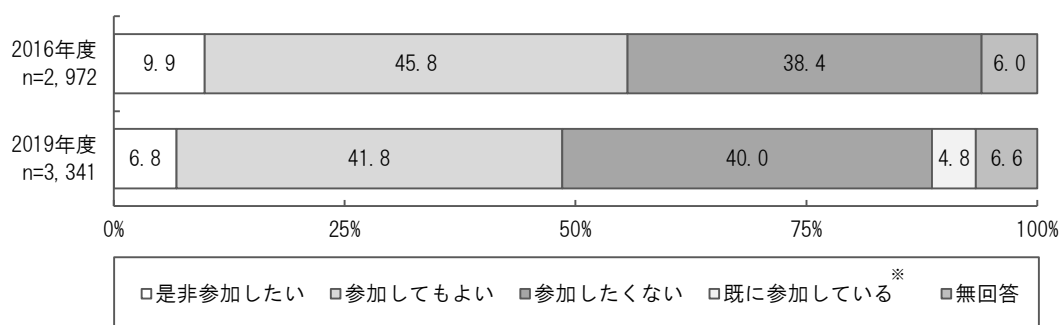
「問5-(1) 通いの場等への参加者」×「問4-(17) 趣味はあるか」



## (2) 地域づくりに対する参加意向

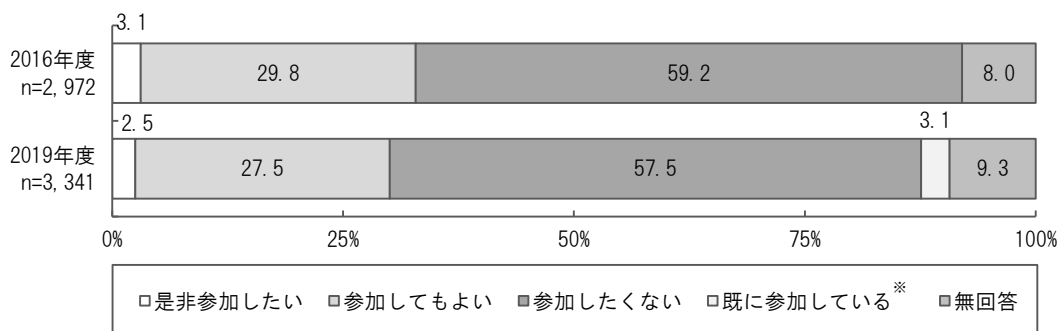
- 参加者としてグループ活動等に、「是非参加したい」(6.8%)と「参加してもよい」(41.8%)を合わせた48.6%が参加を希望しています。
- 前回調査と比較すると、参加希望者は7.1<sup>ポイント</sup>低くなっています。
- 企画・運営としてグループ活動等に、「是非参加したい」(2.5%)と「参加してもよい」(27.5%)を合わせた30.0%が参加を希望している一方、「参加したくない」が半数以上を占めています。
- 前回調査と比較すると、企画・運営の参加希望者は2.9<sup>ポイント</sup>低くなっています。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか（経年比較）



※2016年度の選択肢には『既に参加している』はありません。

問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか（経年比較）



※2016年度の選択肢には『既に参加している』はありません。

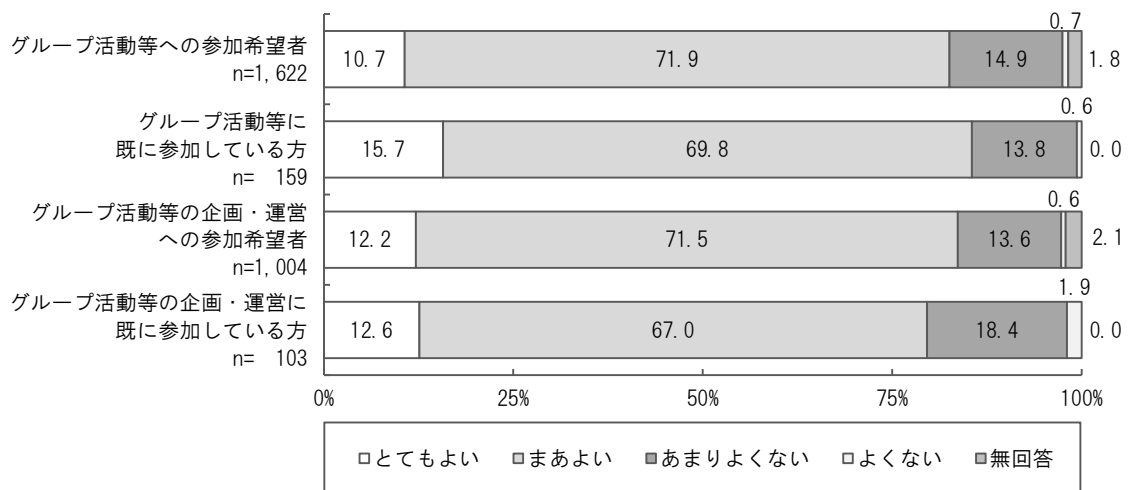
○グループ活動等への参加希望者と既参加者の主観的健康感をみると、参加希望者・既参加者ともに「まあよい」(71.9%・69.8%)が最も高く、「とてもよい」は後者が前者を5.0ポイント上回っています。

○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の主観的健康感では、参加希望者・既参加者ともに「まあよい」(71.5%・67.0%)が最も高く、「とてもよい」は後者が前者を0.4ポイント上回っています。

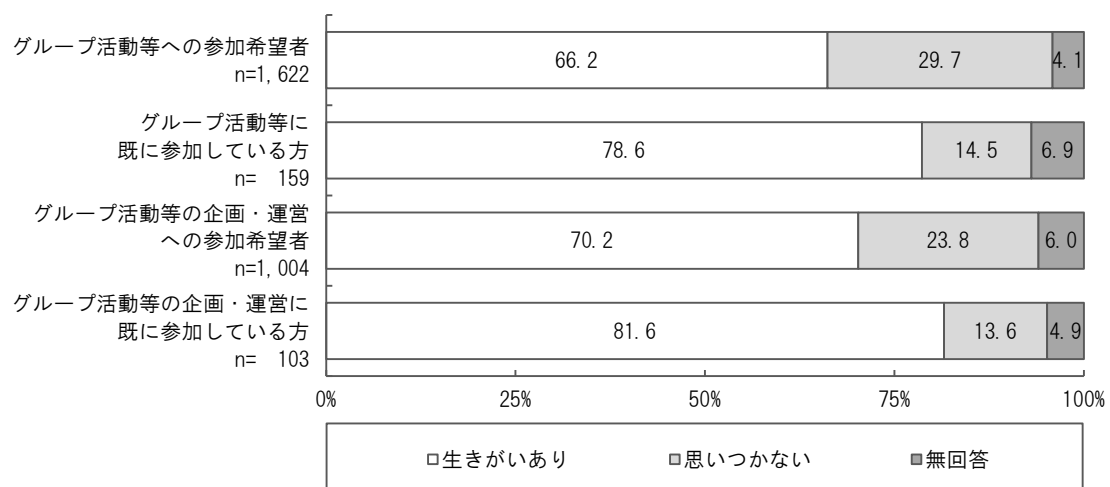
○グループ活動等への参加希望者と既参加者の生きがいをみると、参加希望者・既参加者ともに「生きがいあり」(66.2%・78.6%)の割合が高く、後者が前者を12.4ポイント上回っています。

○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の生きがいでは、参加希望者・既参加者ともに「生きがいあり」(70.2%・81.6%)の割合が高く、後者が前者を11.4ポイント上回っています。

「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問7-(1) 主観的健康感」



「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問4-(18) 生きがいはあるか」

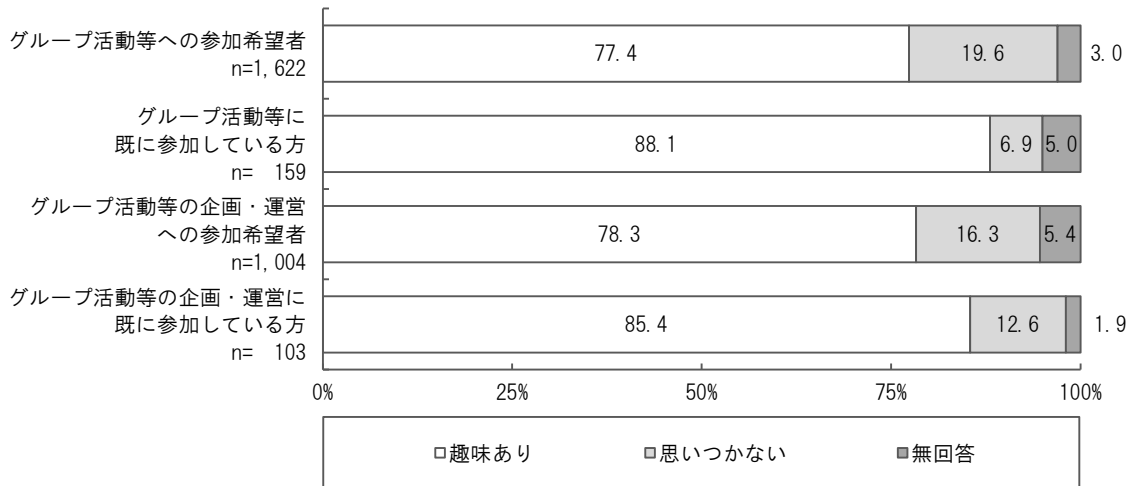




○グループ活動等への参加希望者と既参加者の趣味をみると、参加希望者・既参加者ともに「趣味あり」(77.4%・88.1%)の割合が高く、後者が前者を10.7<sup>ポイント</sup>上回っています。

○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の趣味では、参加希望者・既参加者ともに「趣味あり」(78.3%・85.4%)の割合が高く、後者が前者を7.1<sup>ポイント</sup>上回っています。

「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問4-(17) 趣味はあるか」

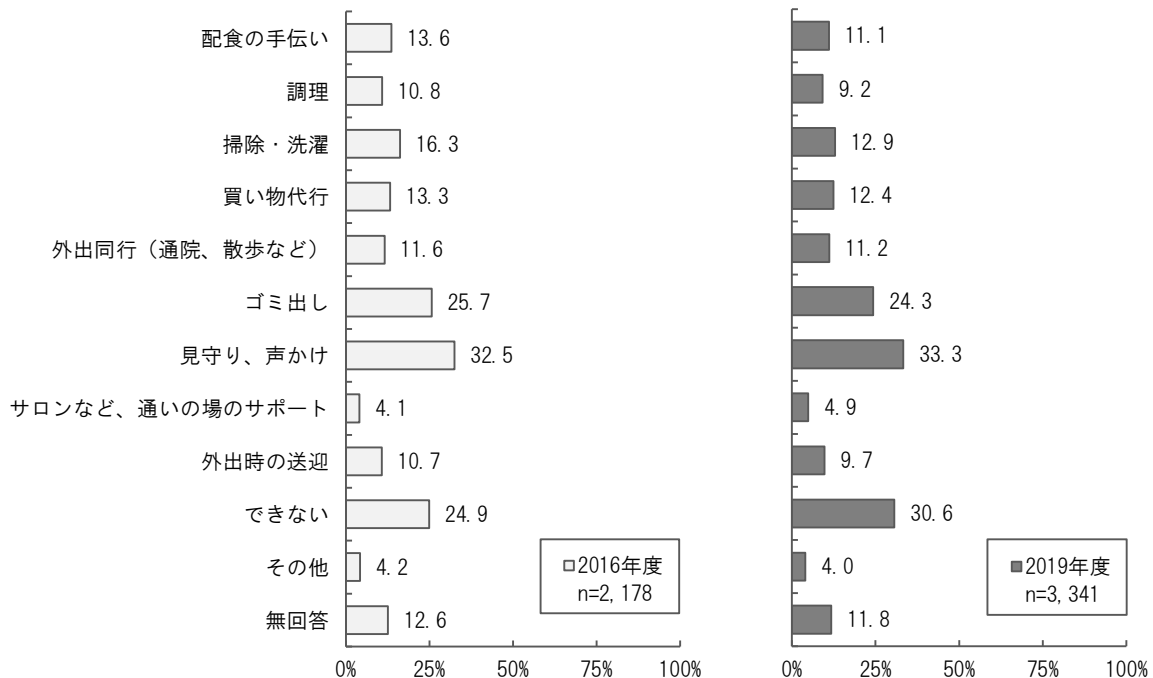


### (3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援

○地域でできる支援をみると、「見守り・声かけ」(33.3%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(24.3%)、「掃除・洗濯」(12.9%)、「買い物代行」(12.4%)、「外出同行(通院、散歩など)」(11.2%)となっています。一方、「できない」は30.6%となっています。

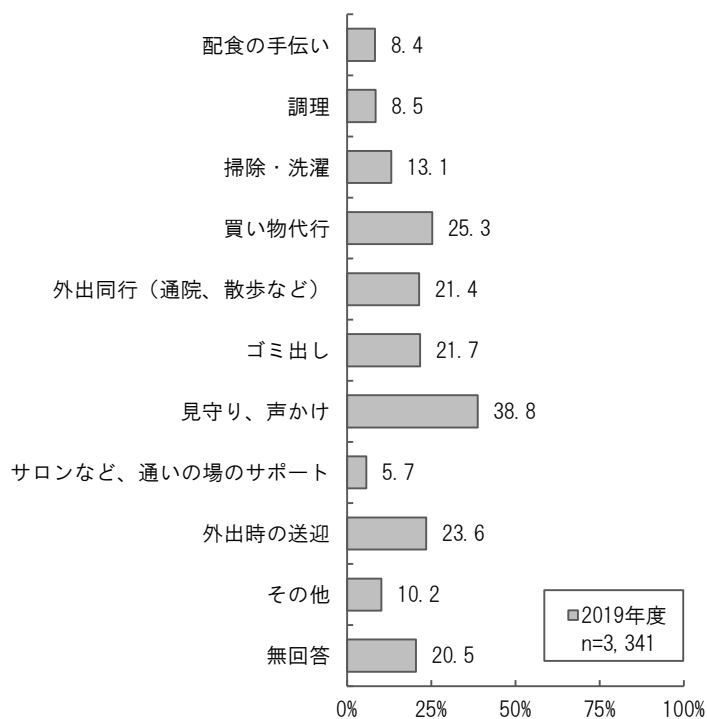
○前回調査と比較すると、「見守り・声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」で各0.8<sup>ポイント</sup>高くなっています。一方、「できない」は5.7<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問5-(4) 地域でできる支援(経年比較)



○地域で暮らし続けるために必要なサービスや支援では、「見守り・声かけ」(38.8%)が最も高く、次いで「買い物代行」(25.3%)、「外出時の送迎」(23.6%)、「ゴミ出し」(21.7%)、「外出同行(通院、散歩など)」(21.4%)、「掃除・洗濯」(13.1%)、「調理」(8.5%)、「配食の手伝い」(8.4%)の順となっています。

問5-(5) 地域で暮らし続けるために必要なサービスや支援



## 6 たすけあいについて

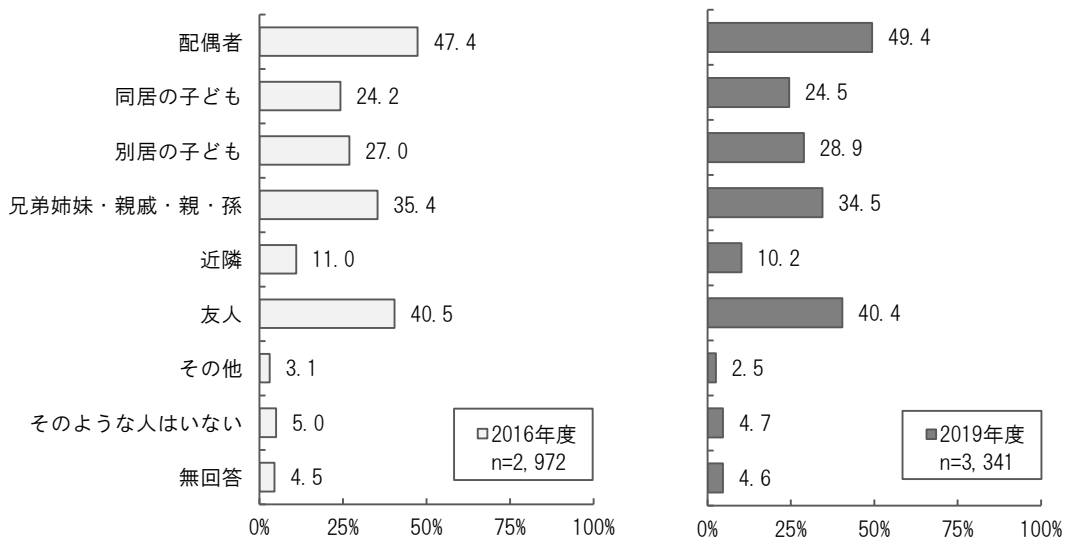
### (1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」（49.4％）が最も高く、次いで「友人」（40.4％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（34.5％）、「別居の子ども」（28.9％）となっています。一方、「そのような人はいない」は4.7％となっています。

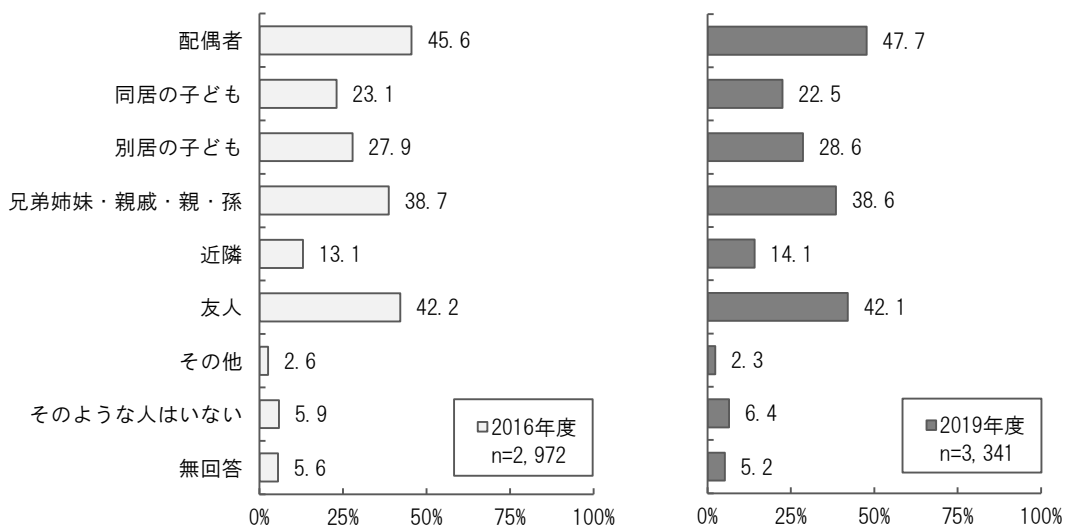
○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「配偶者」（47.7％）が最も高く、次いで「友人」（42.1％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（38.6％）、「別居の子ども」（28.6％）となっています。一方、「そのような人はいない」は6.4％となっています。

○前回調査と比較すると、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は「配偶者」で2.0<sup>ポイント</sup>、「別居の子ども」で1.9<sup>ポイント</sup>、「同居の子ども」で0.3<sup>ポイント</sup>高く、「そのような人はいない」は0.3<sup>ポイント</sup>低くなっています。また、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は「配偶者」で2.1<sup>ポイント</sup>、「近隣」で1.0<sup>ポイント</sup>、「別居の子ども」で0.7<sup>ポイント</sup>、「そのような人はいない」は0.5<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（経年比較）



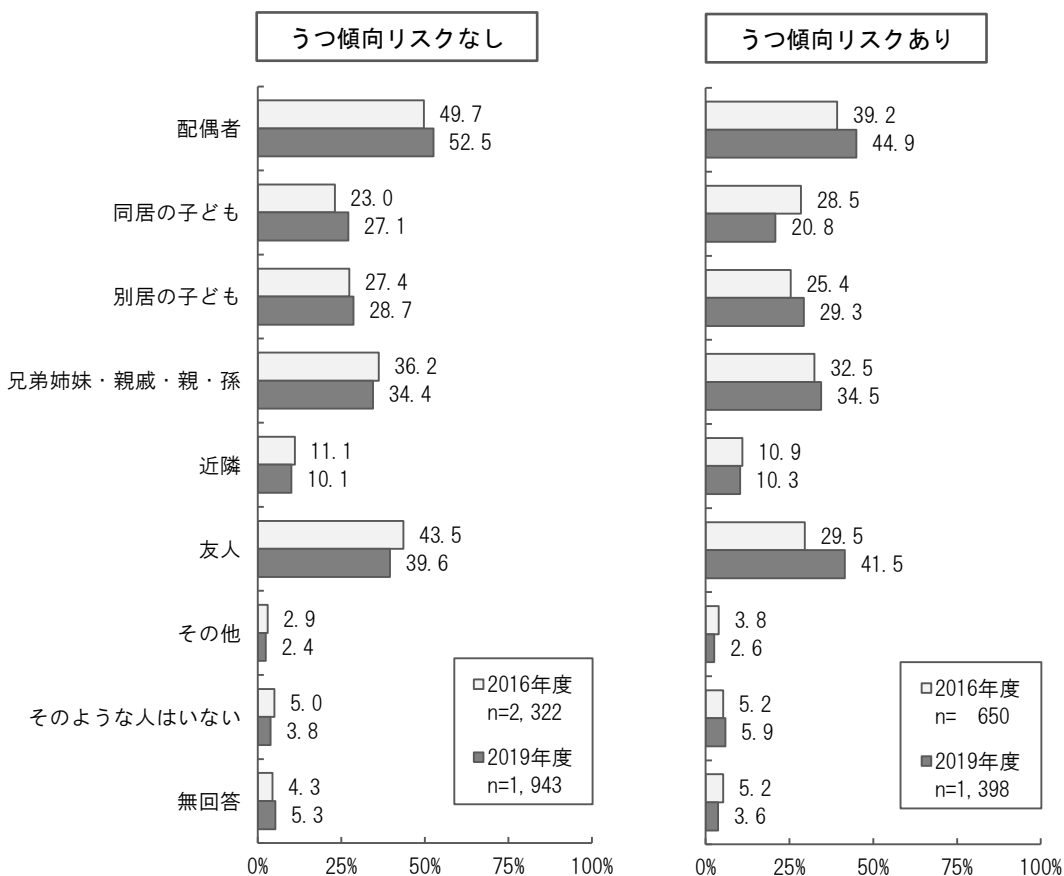
問6-(2) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（経年比較）



○心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人をうつ傾向リスクの有無別にみると、リスクなし・リスクありともに「配偶者」(52.5%・44.9%)が最も高く、次いで「友人」(39.6%・41.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.4%・34.5%)、「別居の子ども」(28.7%・29.3%)となっています。一方、「そのような人はいない」は前者が3.8%、後者が5.9%となり、後者が2.1ポイント上回っています。

○うつ傾向リスクありを前回調査と比較すると、「友人」で12.0ポイント、「配偶者」で5.7ポイント、「別居の子ども」で3.9ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」で2.0ポイント高く、「同居の子ども」で7.7ポイント低くなっています。一方、「そのような人はいない」は0.7ポイント高くなっています。

「問6-(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスクの有無」(経年比較)

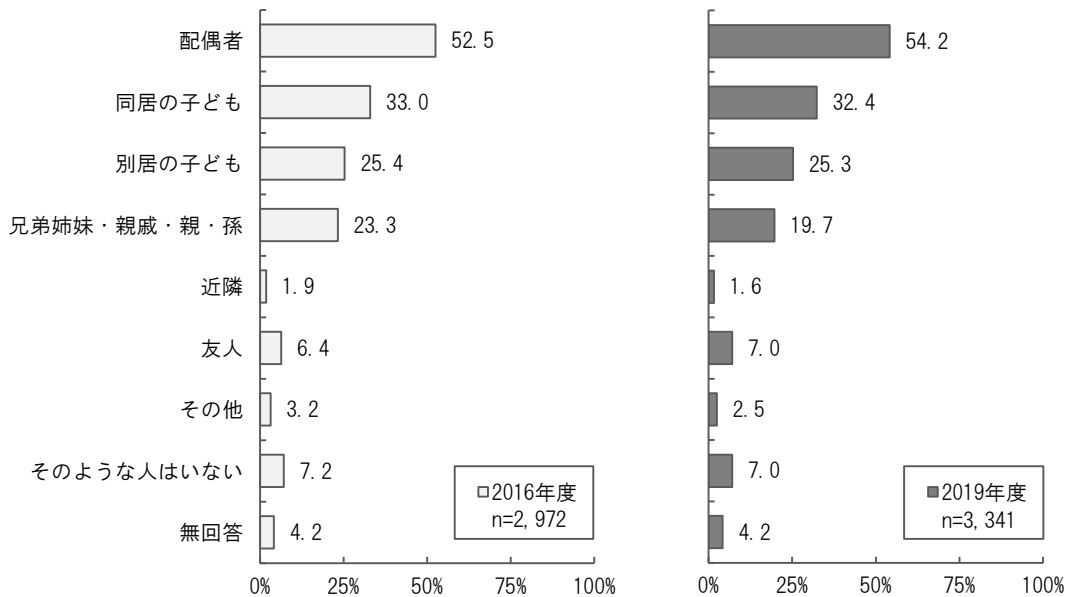


○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(54.2%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(32.4%)、「別居の子ども」(25.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.7%)となっています。

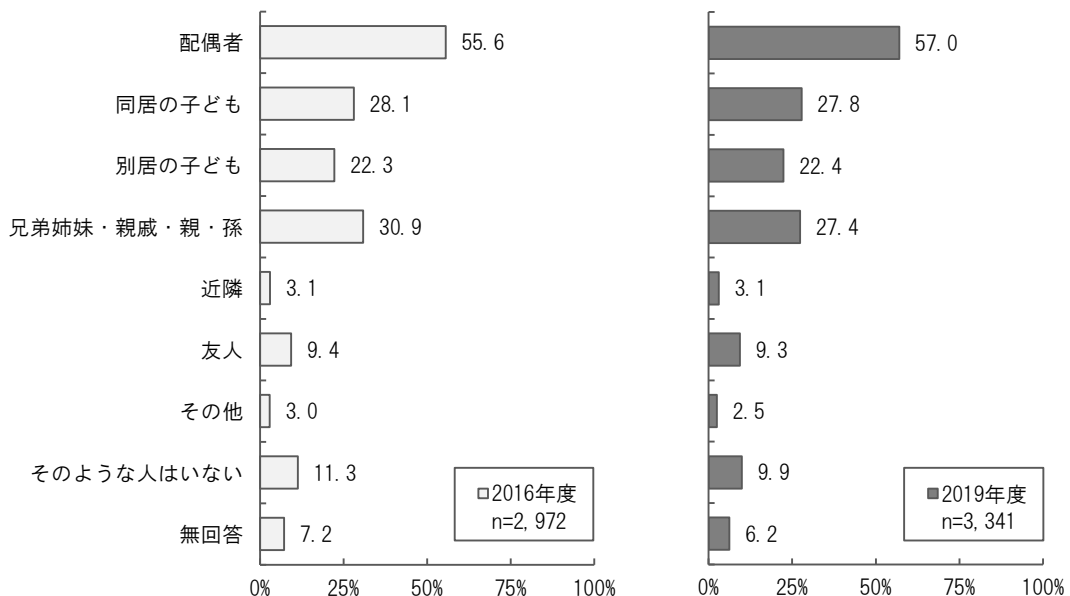
○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(57.0%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(27.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.4%)、「別居の子ども」(22.4%)となっています。

○前回調査と比較すると、看病や世話をしてくれる人は「配偶者」で1.7ポイント高く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」で3.6ポイント、「そのような人はいない」で0.2ポイント低く、看病や世話をしてあげる人では「配偶者」で1.4ポイント高く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」で3.5ポイント、「そのような人はいない」で1.4ポイント低くなっています。

問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(経年比較)



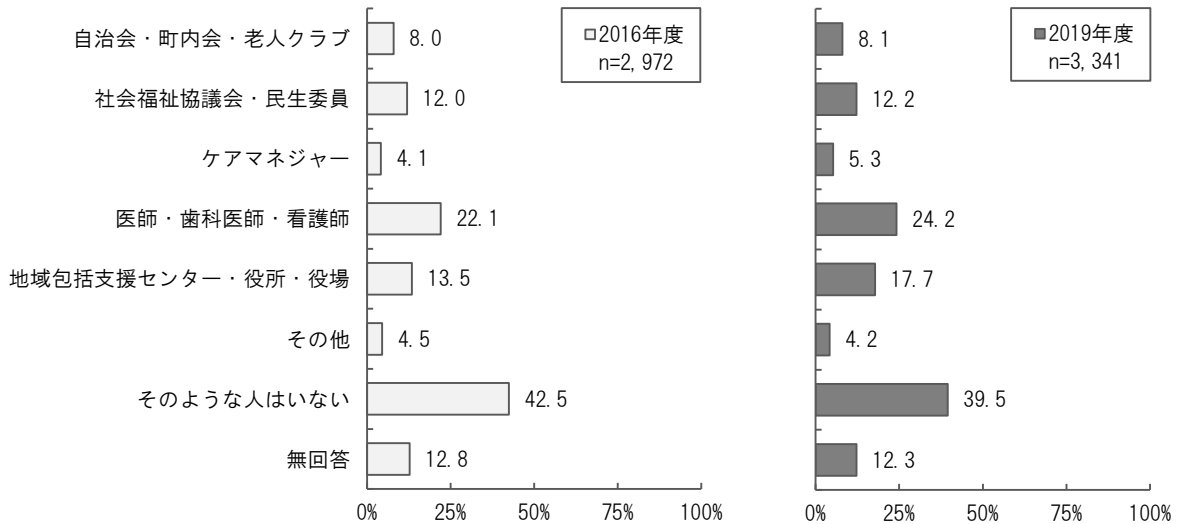
問6-(4) 看病や世話をしてあげる人(経年比較)



○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」(24.2%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(17.7%)、「社会福祉協議会・民生委員」(12.2%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(8.1%)となっています。また、「そのような人はいない」は39.5%となっています。

○前回調査と比較すると、「地域包括支援センター・役所・役場」で4.2ポイント、「医師・歯科医師・看護師」で2.1ポイント、「ケアマネジャー」で1.2ポイント高くなっています。また、「そのような人はいない」は3.0ポイント低くなっています。

問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手（経年比較）

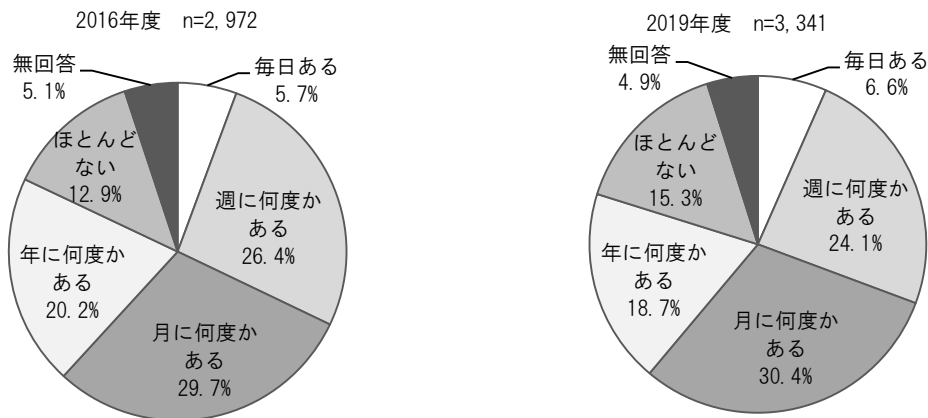


## (2) 友人・知人との交流状況

○友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(30.4%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(24.1%)となっています。

○前回調査と比較すると、「ほとんどない」で2.4ポイント、「毎日ある」で0.9ポイント、「月に何度かある」で0.7ポイント高くなっています。

問6-(6) 友人・知人と会う頻度（経年比較）



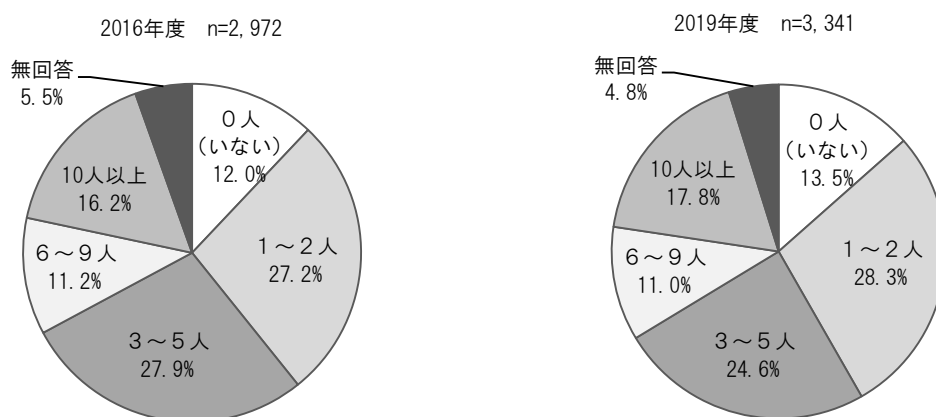
○1か月に会った友人・知人の人数をみると、「1～2人」(28.3%)が最も高く、次いで「3～5人」(24.6%)となっています。

○前回調査と比較すると、「10人以上」で1.6ポイント、「0人(いない)」で1.5ポイント、「1～2人」で1.1ポイント高くなっています。

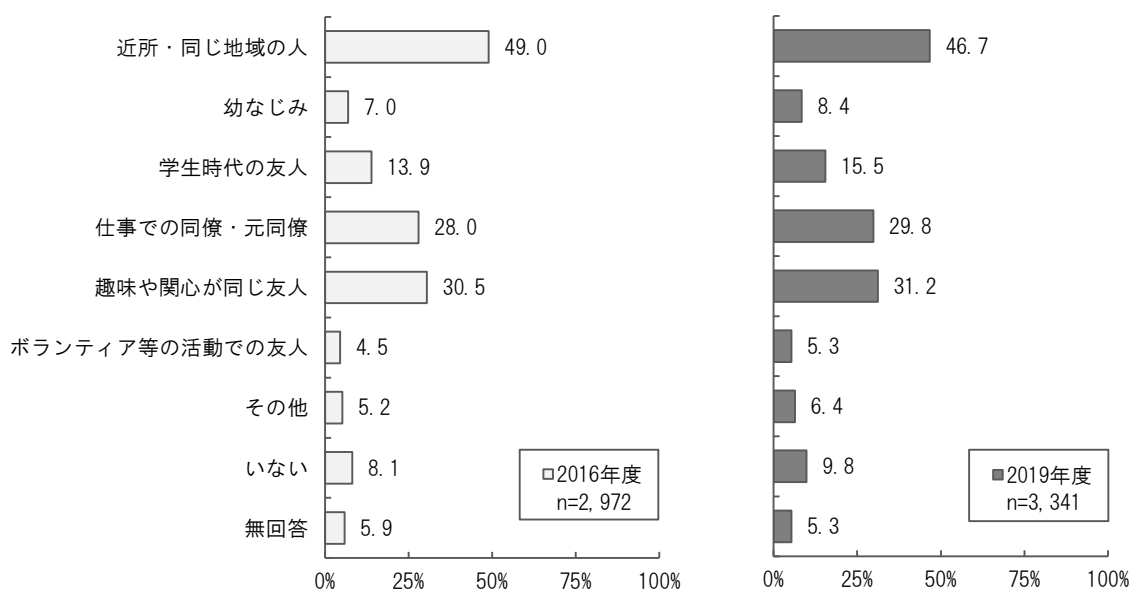
○よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(46.7%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.2%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.8%)、「学生時代の友人」(15.5%)となっています。

○前回調査と比較すると、「仕事での同僚・元同僚」で1.8ポイント、「学生時代の友人」で1.6ポイント、「幼なじみ」で1.4ポイント高くなっています。

問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか<最近1か月間>(経年比較)



問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か(経年比較)



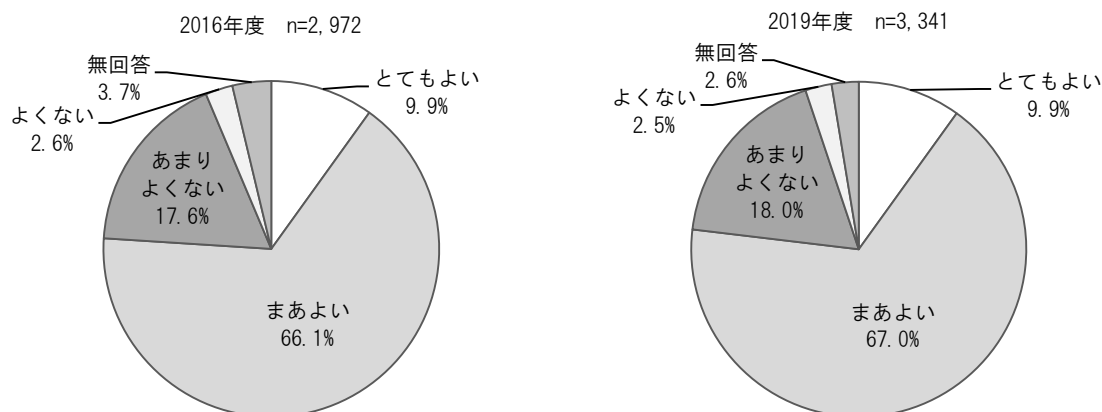
## 7 健康について

### (1) 健康状態

○現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(67.0%)が最も高く、「とてもよい」(9.9%)と合わせた76.9%が健康と感じています。

○前回調査と比較すると、健康と感じている方は0.9ポイント高くなっています。

問7-(1) 現在の主観的健康感（経年比較）

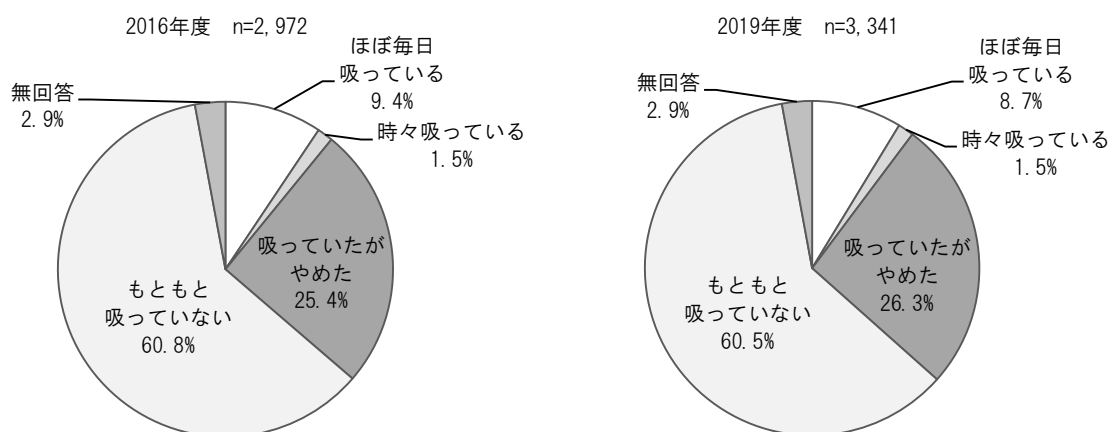


### (2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

○喫煙の状況をみると、「ほぼ毎日吸っている」(8.7%)と「時々吸っている」(1.5%)を合わせた10.2%が喫煙者となっています。

○前回調査と比較すると、喫煙者は0.7ポイント低くなっています。

問7-(5) 喫煙の状況（経年比較）

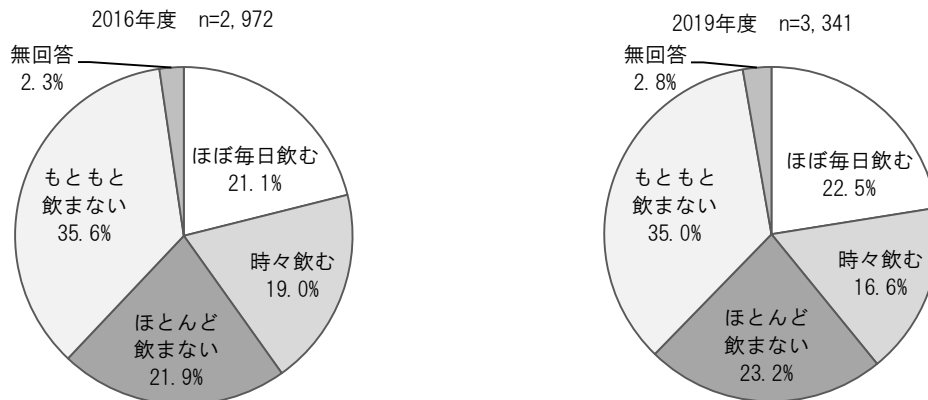




○飲酒の状況をみると、「ほぼ毎日飲む」(22.5%)と「時々飲む」(16.6%)を合わせた39.1%が飲酒者となっています。

○前回調査と比較すると、飲酒者は1.0<sup>ポイント</sup>低くなっています。

問7-(7) 飲酒の状況(経年比較)

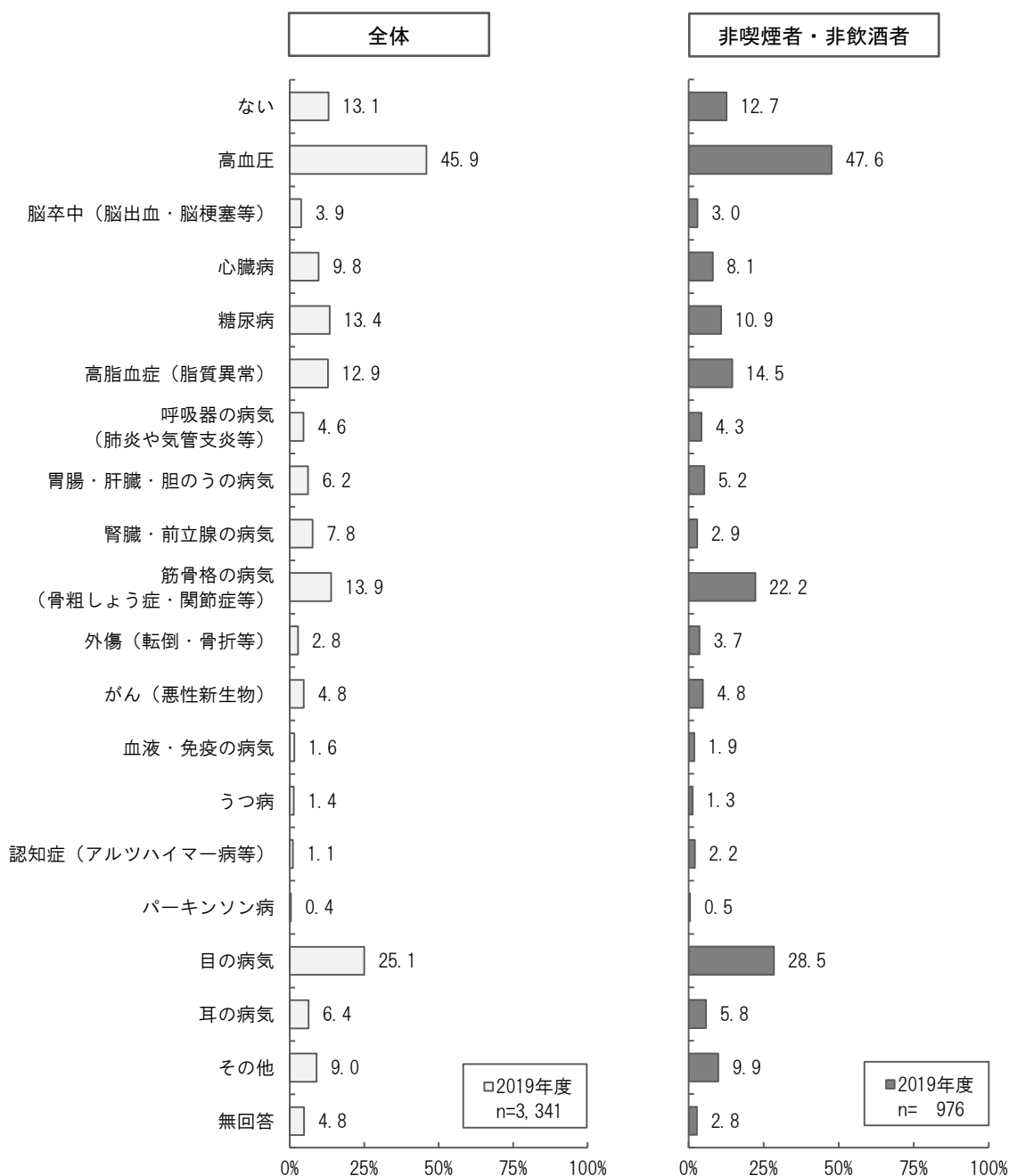


○現在治療中、または後遺症のある病気をみると、全体では「高血圧」(45.9%) が最も高く、次いで「目の病気」(25.1%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(13.9%)、「糖尿病」(13.4%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.9%)、「心臓病」(9.8%) となっています。

○非喫煙者・非飲酒者の現在治療中、または後遺症のある病気をみると、「高血圧」(47.6%) が最も高く、次いで「目の病気」(28.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(22.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.5%) となっています。

○また、「ない」と回答した方は、全体では13.1%、非喫煙者・非飲酒者では12.7%となっています。

問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気

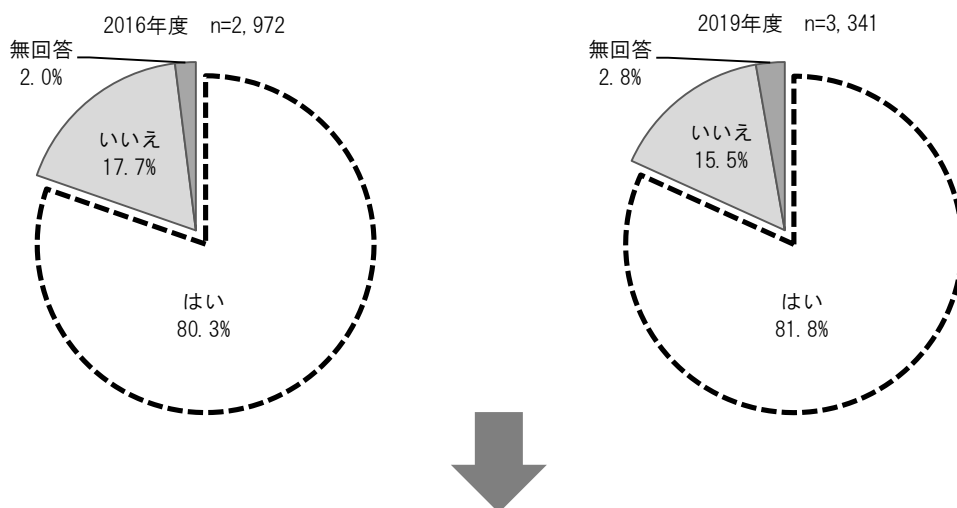


### (3) 通院の状況

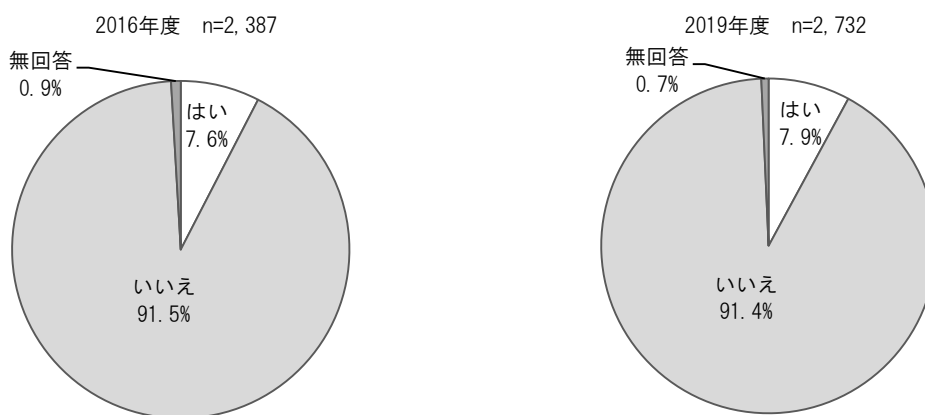
○通院している方は81.8%となり、前回調査と比較すると1.5<sup>ポイント</sup>高くなっています。

○通院している方のうち、通院に介助が必要な方は7.9%となり、前回調査と比較すると0.3<sup>ポイント</sup>高くなっています。

問7-(8) 通院しているか (経年比較)



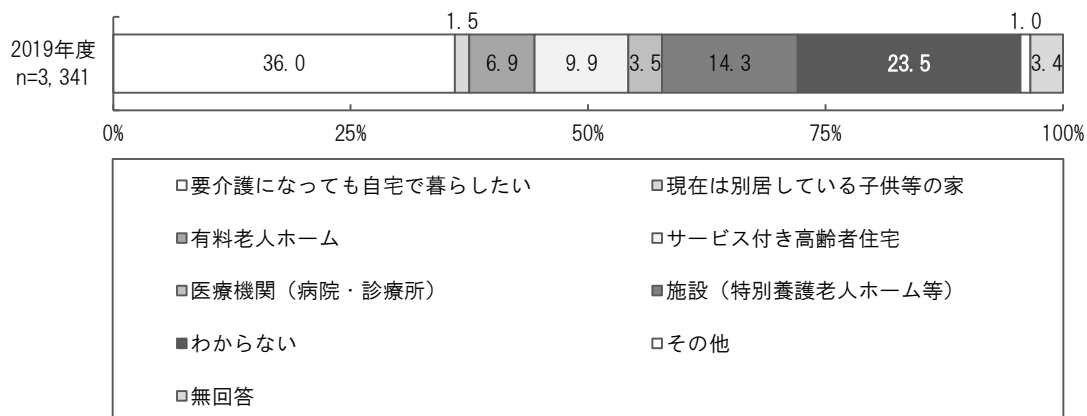
問7-(8).① 通院に介助が必要なか (経年比較)



## 8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について

○介護が必要になるなど、生活状況が変わった際に暮らしたい場所をみると、「要介護になっても自宅で暮らしたい」(36.0%)が最も高く、次いで「施設(特別養護老人ホーム等)」(14.3%)、「サービス付き高齢者住宅」(9.9%)、「有料老人ホーム」(6.9%)となっています。

問8-(1) 介護など、生活状況の変化による暮らしたい場所



## 第3章

# 介護予防・日常生活支援ニーズ調査

(要支援者調査結果)



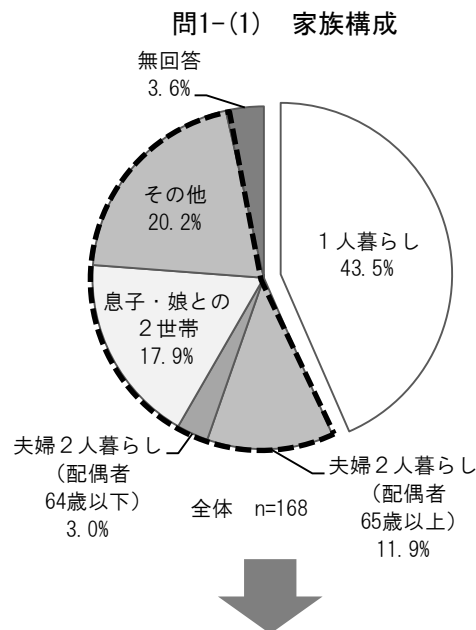
## 第3章 要支援者調査結果

### 1 あなたのご家族や生活状況について

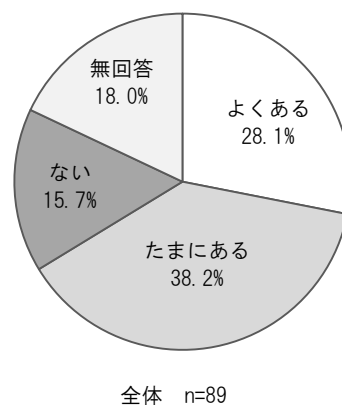
#### (1) 家族構成及び昼間独居者の状況

○家族構成をみると、「1人暮らし」(43.5%)が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(17.9%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(11.9%)となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」(38.2%)が最も高く、「よくある」(28.1%)を合わせた6割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。



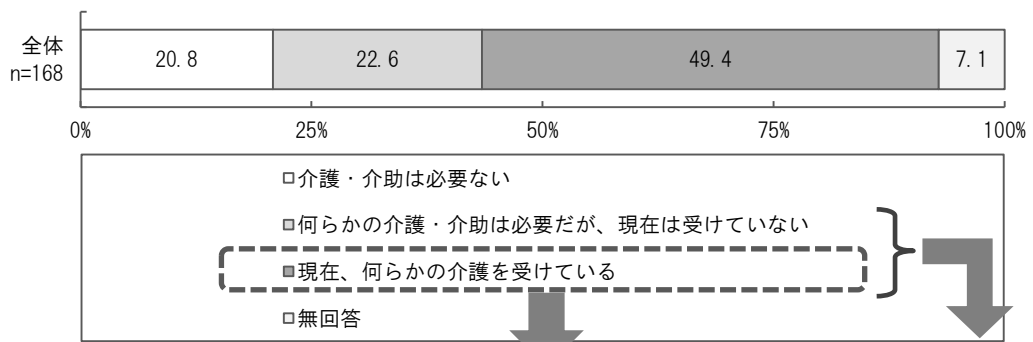
#### 問1-(1).① 日中、1人になることの有無



(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無

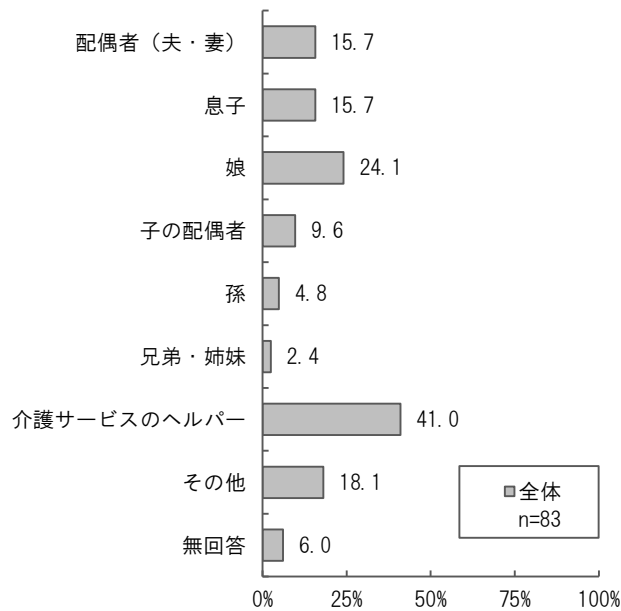
- 普段の生活における介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」（49.4%）、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（22.6%）を合わせた72.0%が介護・介助が必要と回答しています。
- 介護・介助をしてくれる人は、「介護サービスのヘルパー」（41.0%）が最も高く、次いで「娘」（24.1%）、「配偶者（夫・妻）」「息子」（各15.7%）の順となっています。
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（28.9%）が最も高く、次いで「骨折・転倒」（17.4%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（16.5%）、「心臓病」（14.9%）となっています。

問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



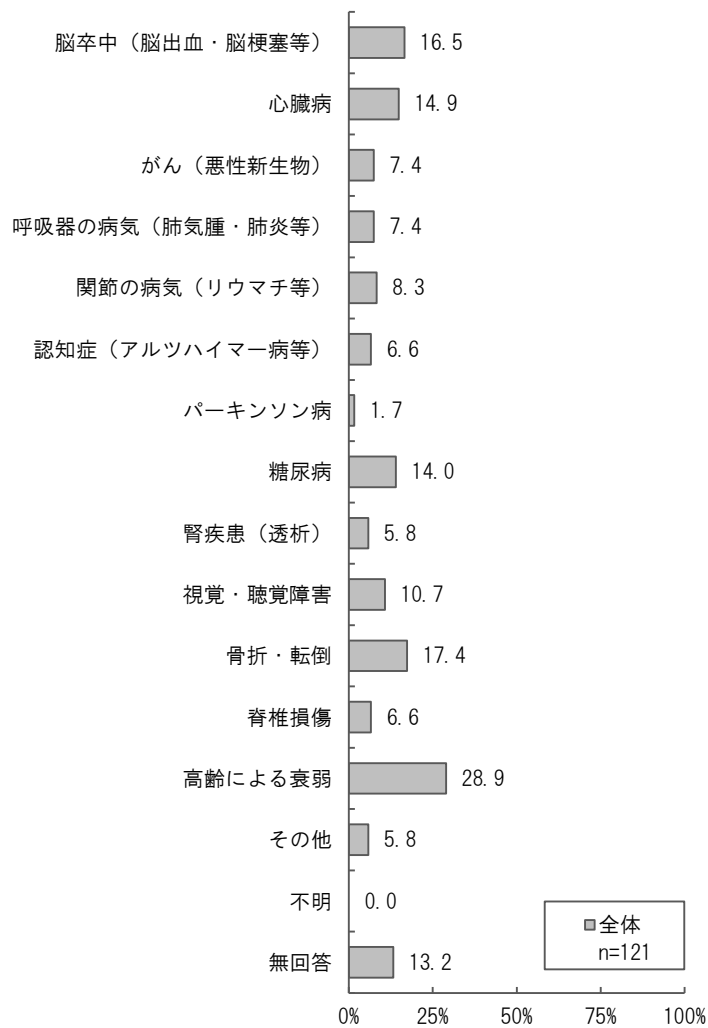
問1-(2).①へ

問1-(2).② 介護・介助をしてくれる人





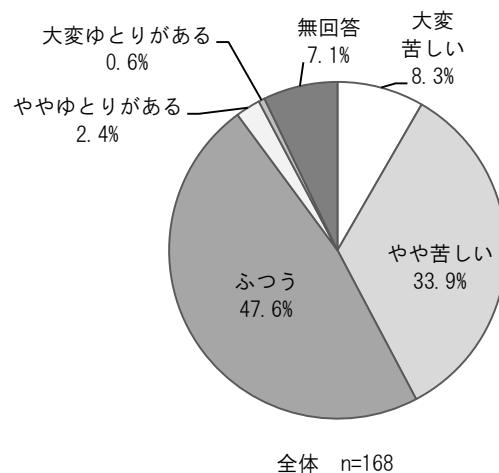
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（47.6%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（33.9%）、「大変苦しい」（8.3%）となっています。

問1-(3) 経済的にみた現在の暮らしの状況

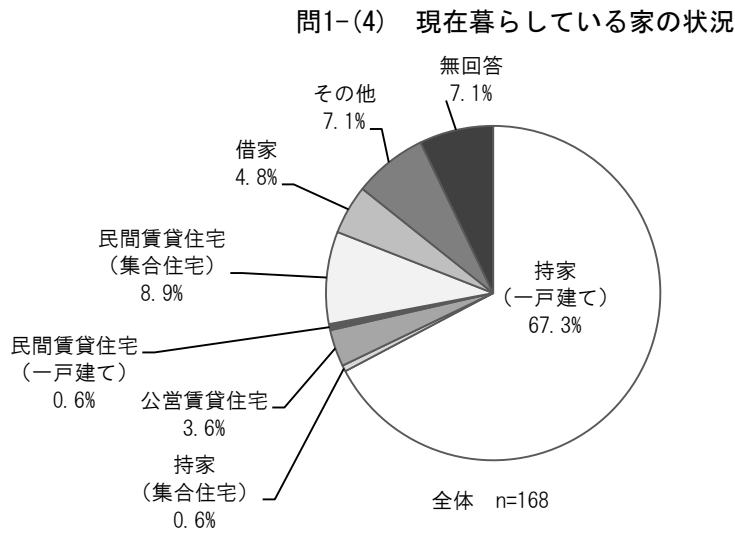


(4) 現在の居住環境

○現在暮らしている家の状況を見ると、「持家（一戸建て）」（67.3%）が最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」（8.9%）、「借家」（4.8%）、「公営賃貸住宅」（3.6%）となっています。

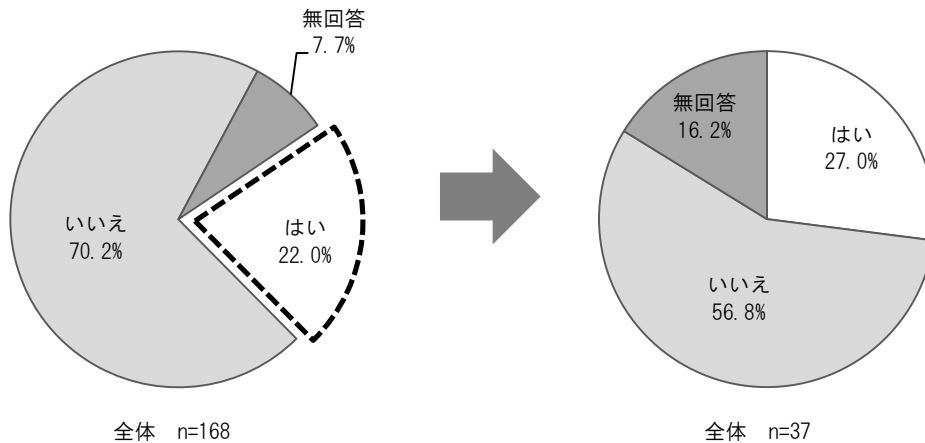
○主に生活する部屋が2階以上にある方は22.0%となっています。

○また、主に生活する部屋が2階以上にある方のエレベーター設置状況を見ると、56.8%の方が未設置であると回答しています。



問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

図1-(5). ① エレベーターが設置されている



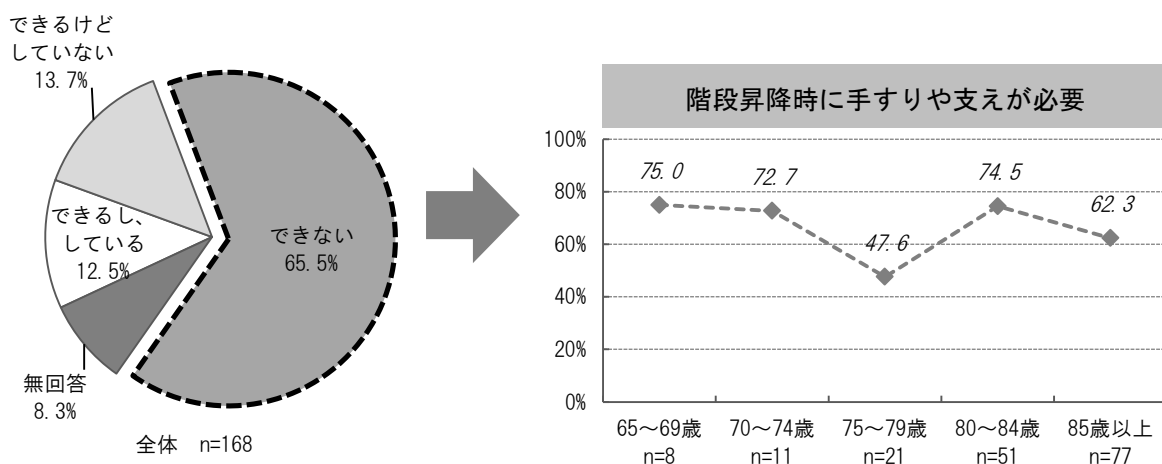
## 2 からだを動かすことについて

### (1) 運動機能の状況

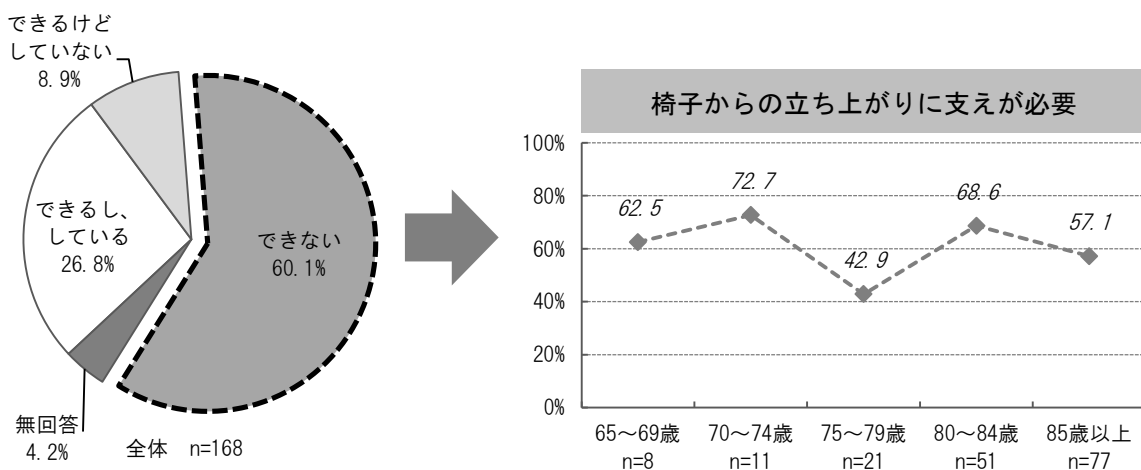
○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない方は65.5%となり、年齢階級別にみると75～79歳を除いて6割を超えています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない方は60.1%となり、年齢階級別にみると75～79歳を除いて5割を超えています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか

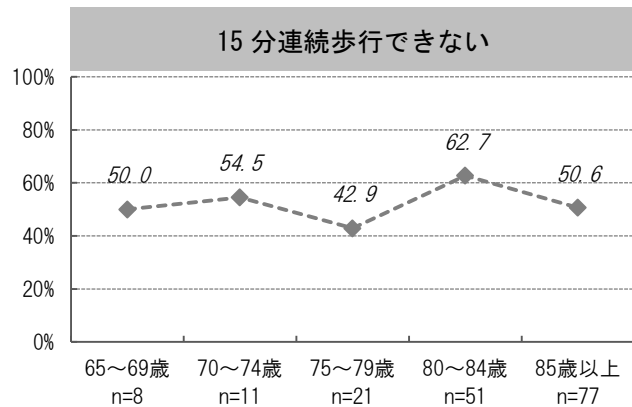
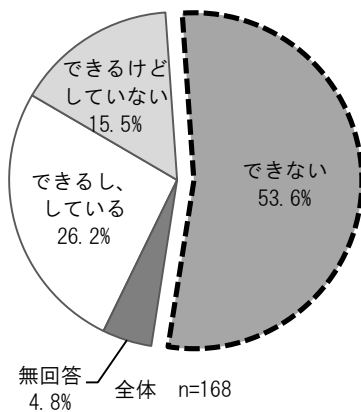


○15分位続けて歩くことができない方は53.6%となり、年齢階級別にみると75～79歳を除いて5割を超えています。

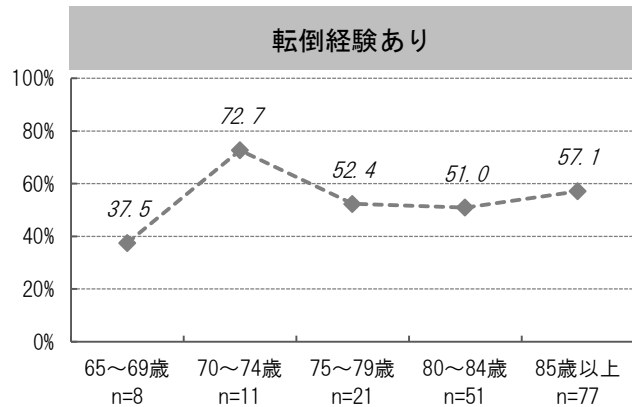
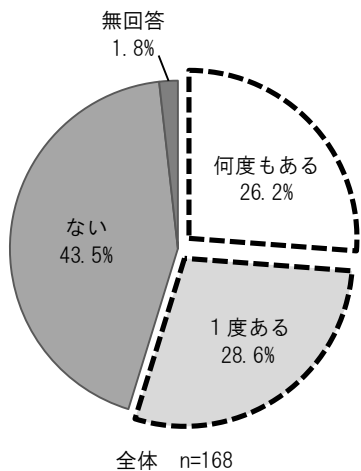
○過去1年間に転んだ経験がある方は、「1度ある」(28.6%)と「何度もある」(26.2%)を合わせた54.8%となり、年齢階級別にみると75～79歳が72.7%と最も高くなっています。

○転倒に対する不安がある方は、「とても不安である」(53.6%)と「やや不安である」(40.5%)を合わせた94.1%となり、年齢階級別にみると全ての階級で9割を超えています。

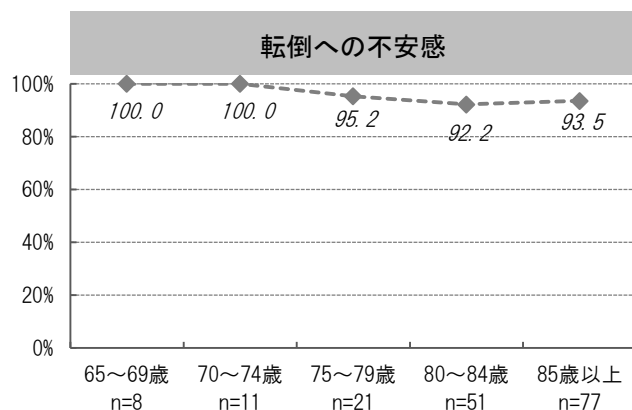
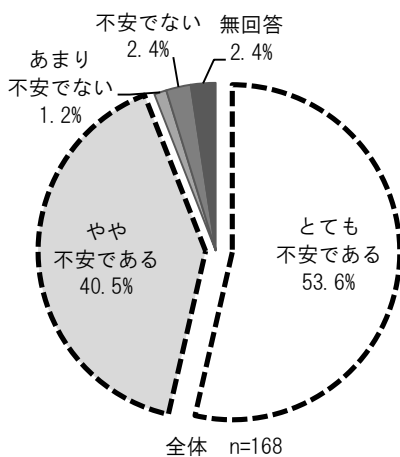
問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無

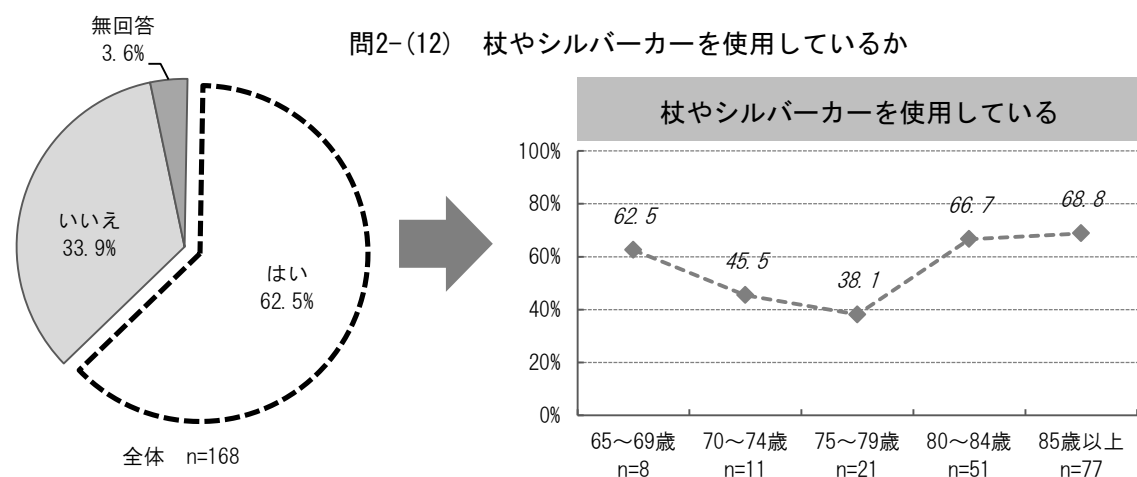
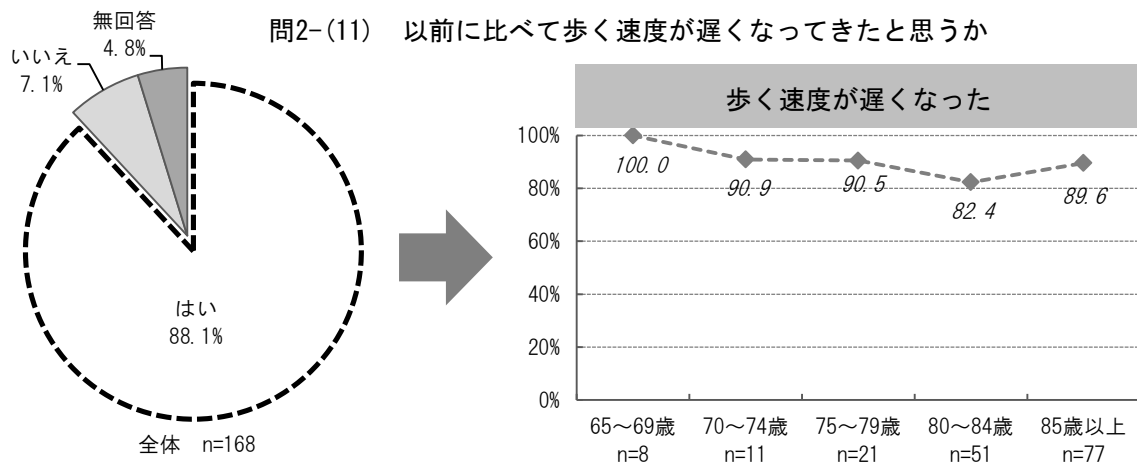


問2-(5) 転倒に対して不安であるか



○以前に比べて歩く速度が遅くなった方は88.1%となり、年齢階級別にみると65～79歳で高い割合となっています。

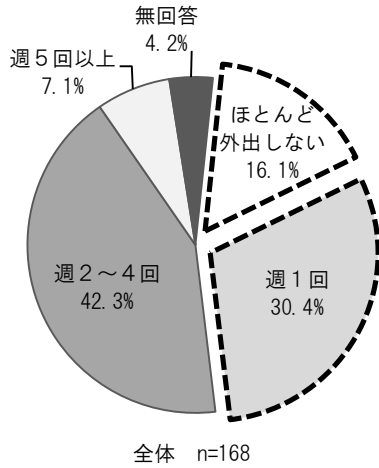
○杖やシルバーカーを使用している方は62.5%となり、年齢階級別にみると65～69歳と80歳以降で6割を超えています。



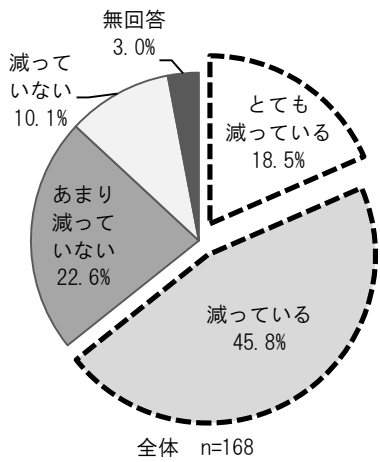
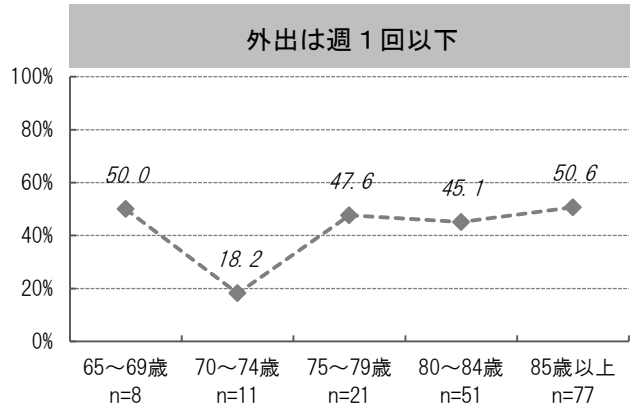
(2) 外出の状況

〇週に1回以上は外出しているかでは、「週1回」(30.4%)と「ほとんど外出しない」(16.1%)を合わせた46.5%の方が週1回以下と回答し、年齢階級別にみると70~74歳を除いて5割前後となっています。

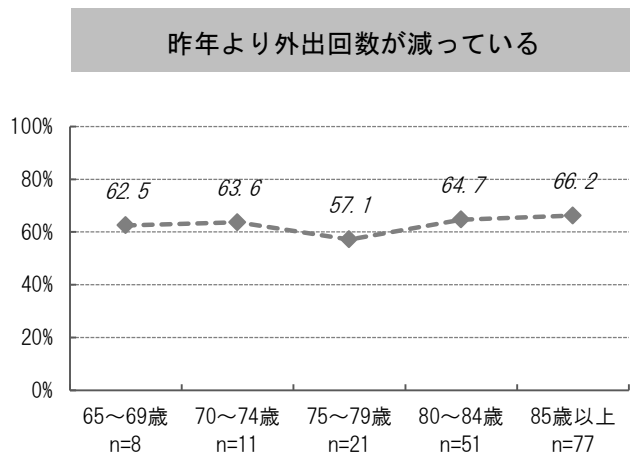
〇昨年と比べた外出の頻度は、「減っている」(45.8%)と「とても減っている」(18.5%)を合わせた64.3%となり、年齢階級別にみると70~74歳を除いて6割を超えています。



問2-(6) 週に1回以上は外出しているか



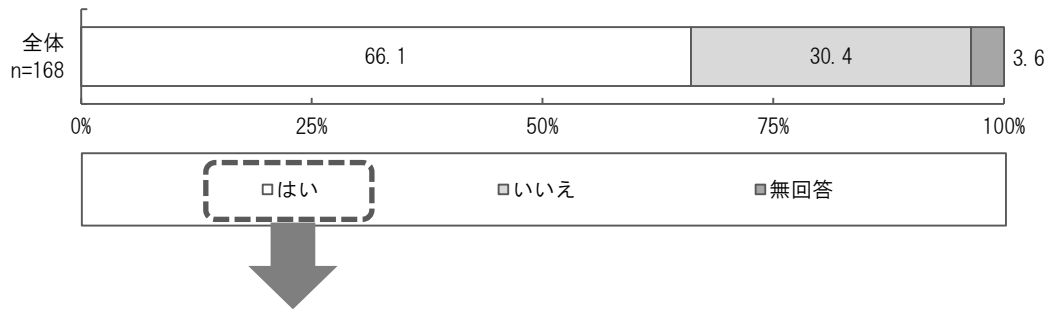
問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度



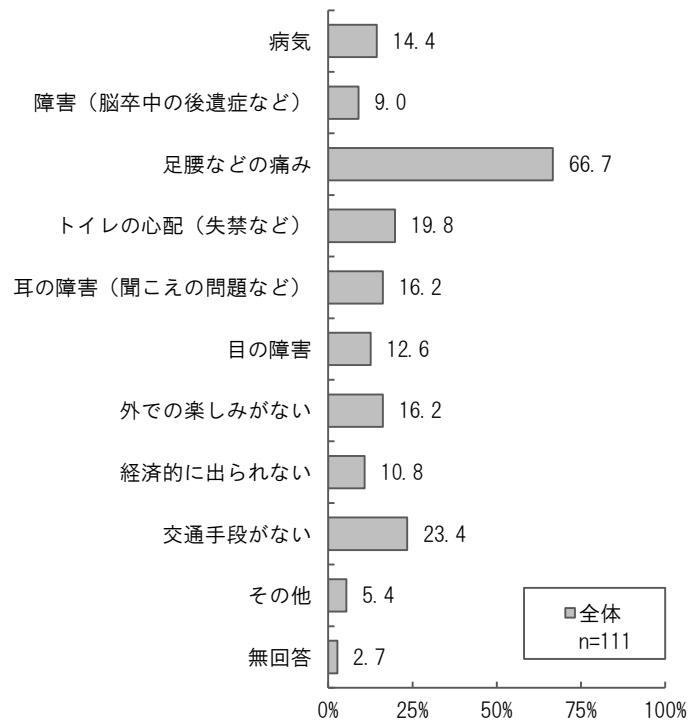
○外出を控えている方は66.1%となっています。

○外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」(66.7%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(23.4%)、「トイレの心配(失禁など)」(19.8%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」「外での楽しみがない」(各16.2%)となっています。

問2-(8) 外出を控えているか

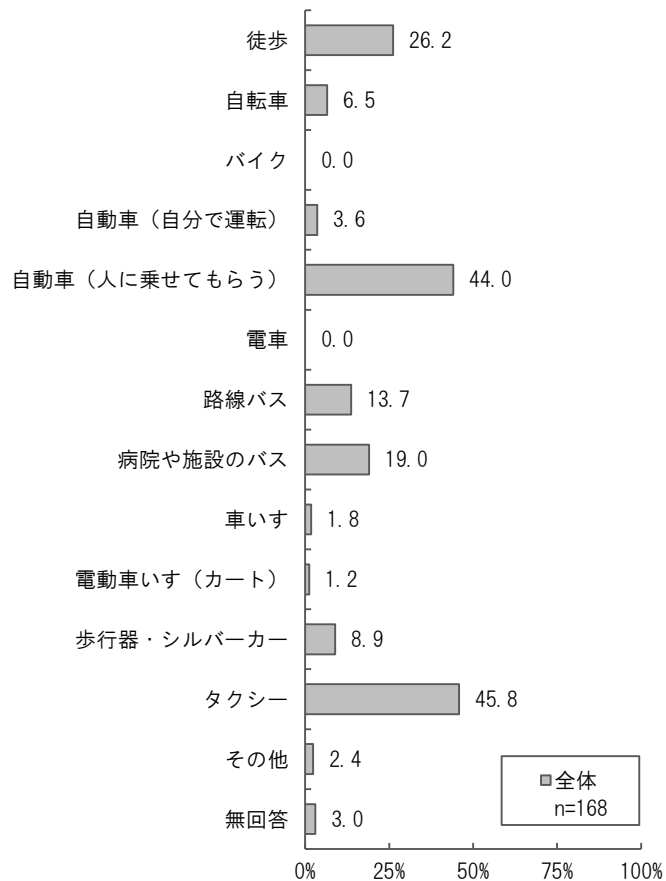


問2-(8).① 外出を控えている理由



○外出する際の移動手段は、「タクシー」(45.8%)が最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」(44.0%)、「徒歩」(26.2%)、「病院や施設のバス」(19.0%)、「路線バス」(13.7%)、「歩行器・シルバーカー」(8.9%)となっています。

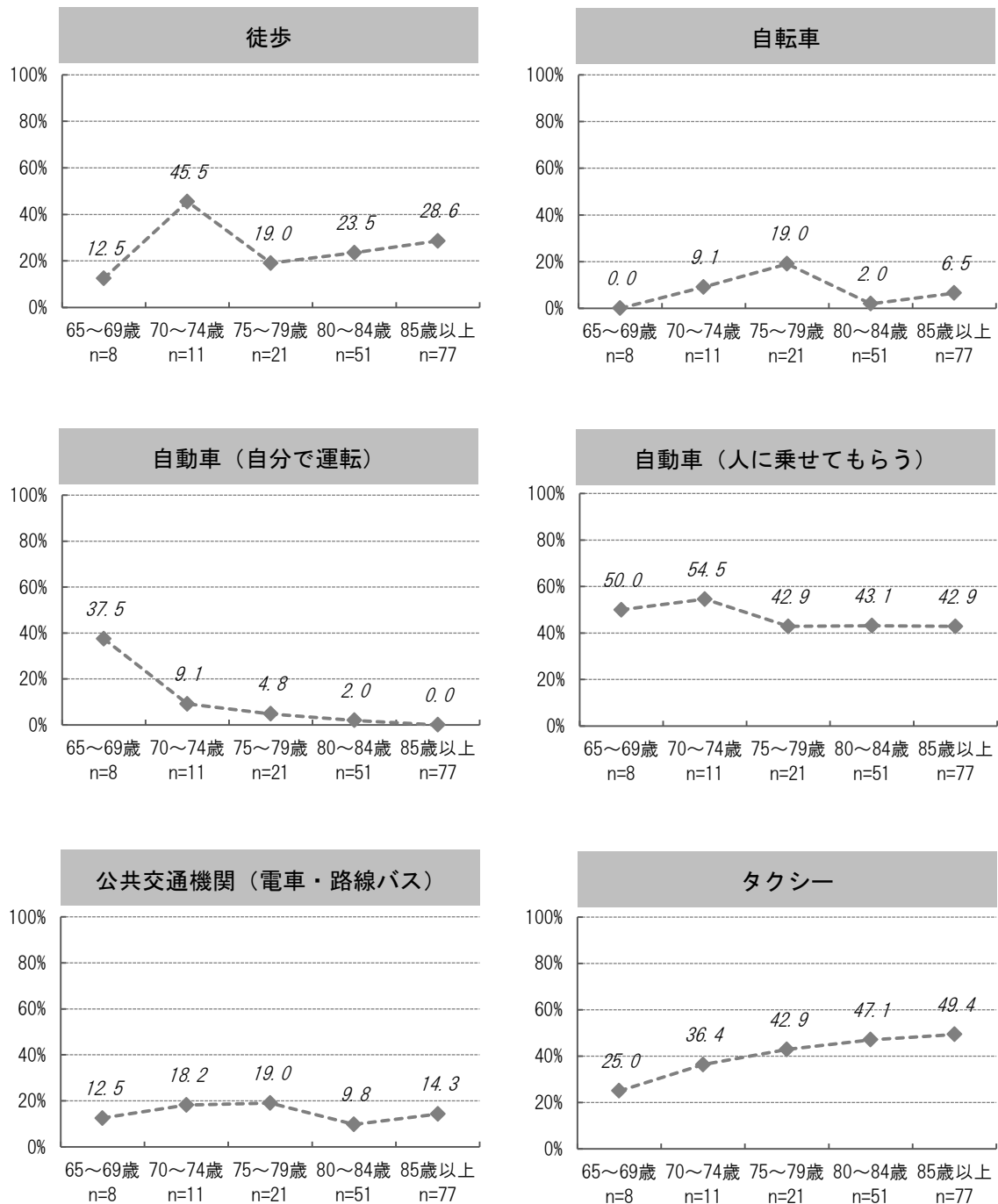
問2-(9) 外出する際の移動手段





- 外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「自動車（自分で運転）」は70歳以降で利用割合が1割を下回り、低くなっています。
- 「タクシー」は、加齢とともに利用割合が高くなっています。
- 「徒歩」は、70～74歳が45.5%で最も高くなっています。
- 「公共交通機関（電車・路線バス）」は、80～84歳で利用割合が1割を下回り、低くなっています。

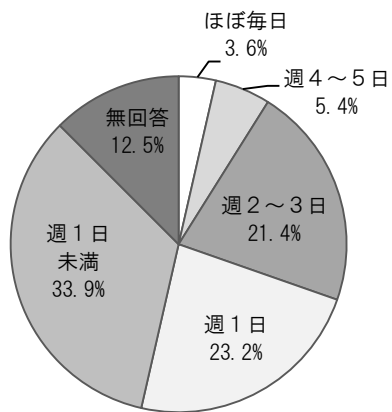
問2-(9) 年齢階級別移動手段



○買い物で外出する頻度では、「週1日未満」(33.9%)が最も高く、次いで「週1日」(23.2%)、「週2～3日」(21.4%)、「週4～5日」(5.4%)となっています。

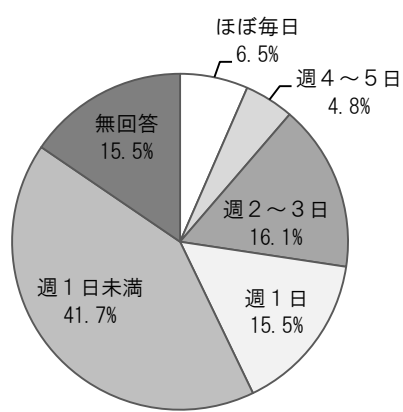
○散歩で外出する頻度では、「週1日未満」(41.7%)が最も高く、次いで「週2～3日」(16.1%)、「週1日」(15.5%)、「ほぼ毎日」(6.5%)となっています。

問2-(10).① 買い物で外出する頻度



全体 n=168

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



全体 n=168

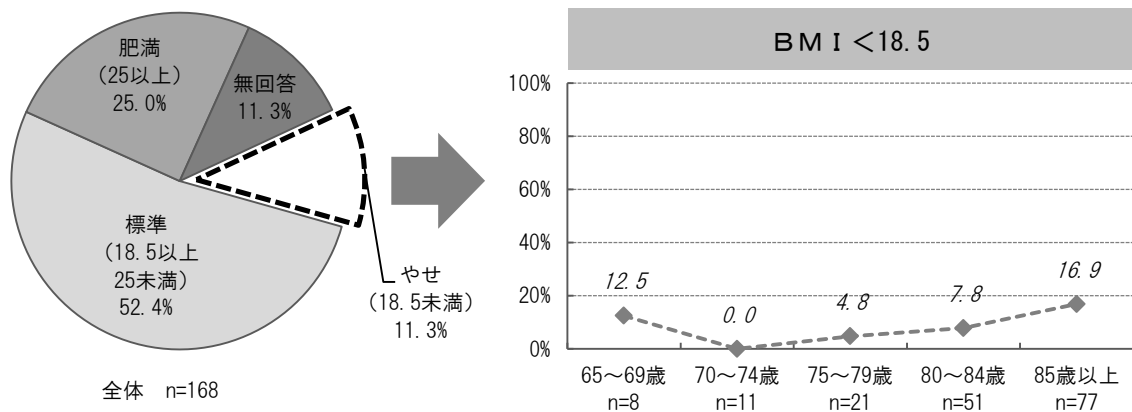
### 3 食べることについて

#### (1) 現在の体重（BMI）状況

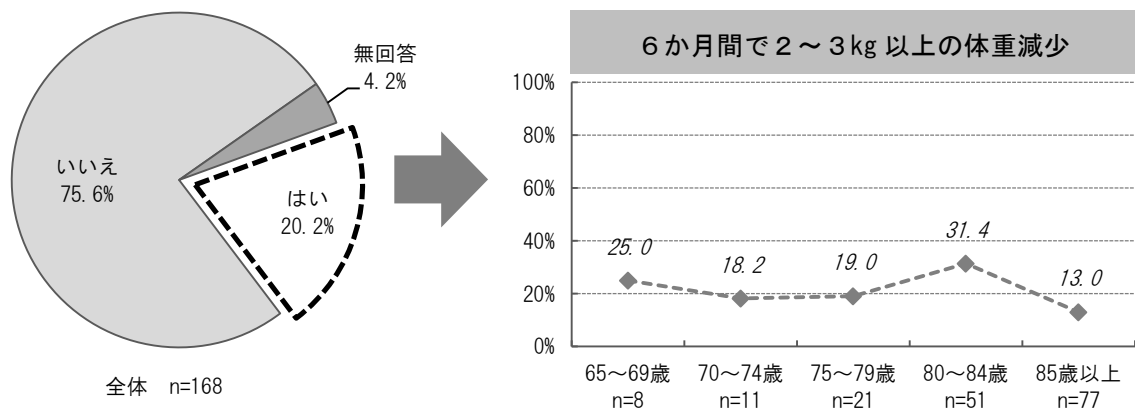
○高齢者の肥満状況をBMI指数で見ると、「やせ（18.5未満）」の方は11.3%となり、年齢階級別にみると75歳以降は加齢とともにやや高くなっています。

○6か月間で2～3kg以上の体重減少があった方は20.2%となり、年齢階級別にみると80～84歳でやや高くなっています。

問3-(1) BMI



問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか



## (2) 歯・口腔の状況

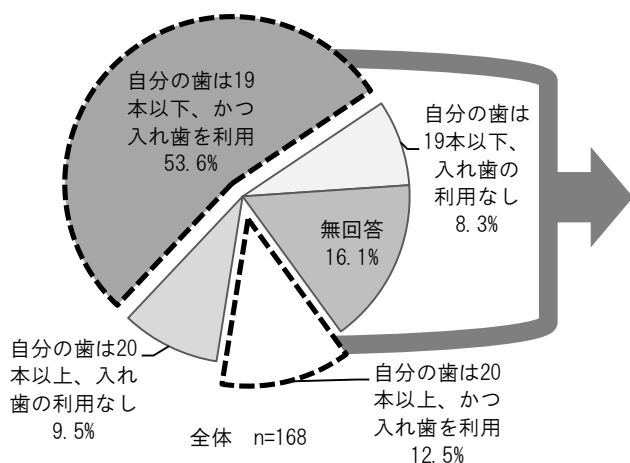
○歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(53.6%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(12.5%)を合わせた66.1%の方が入れ歯を利用しています。

○入れ歯利用者のうち、毎日入れ歯の手入れをしている方は93.7%となっています。

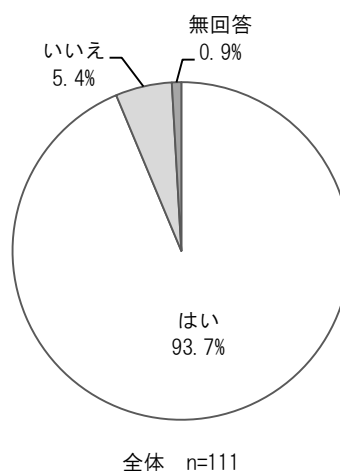
○噛み合わせが良い方は59.5%となっています。

○歯磨きを毎日している方は91.1%となっています。

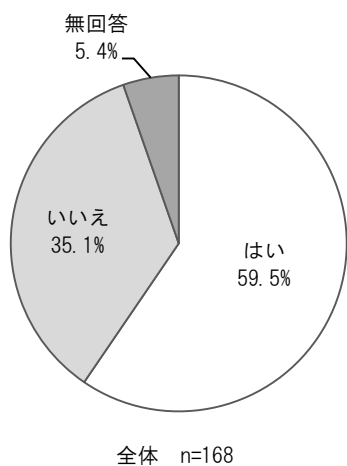
問3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



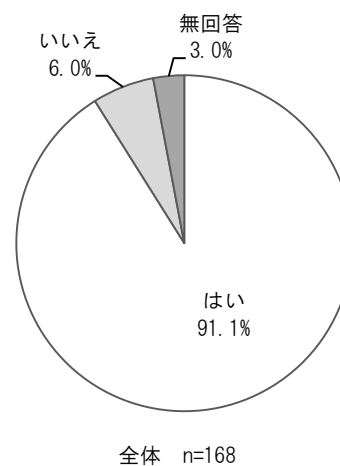
問3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問3-(3).② 噛み合わせは良いか



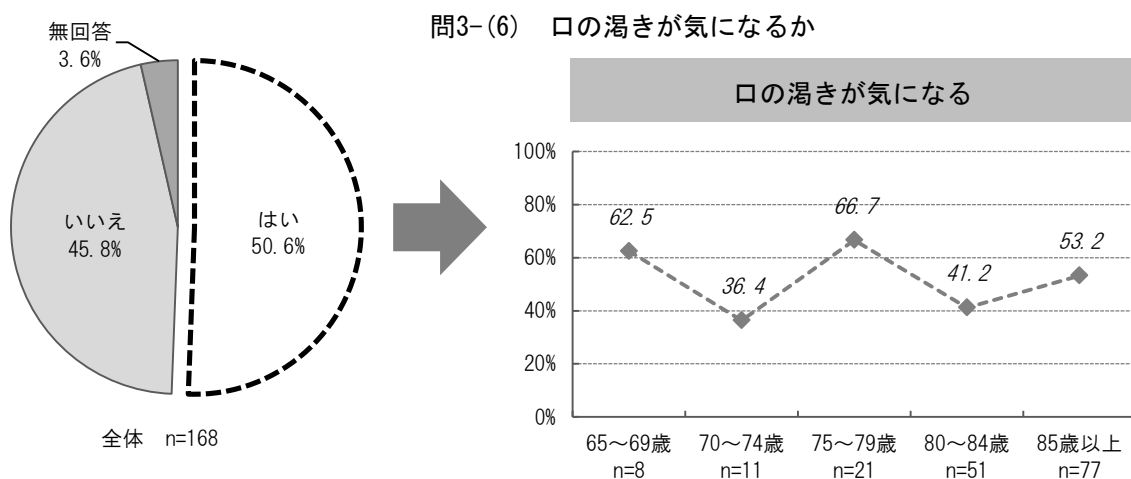
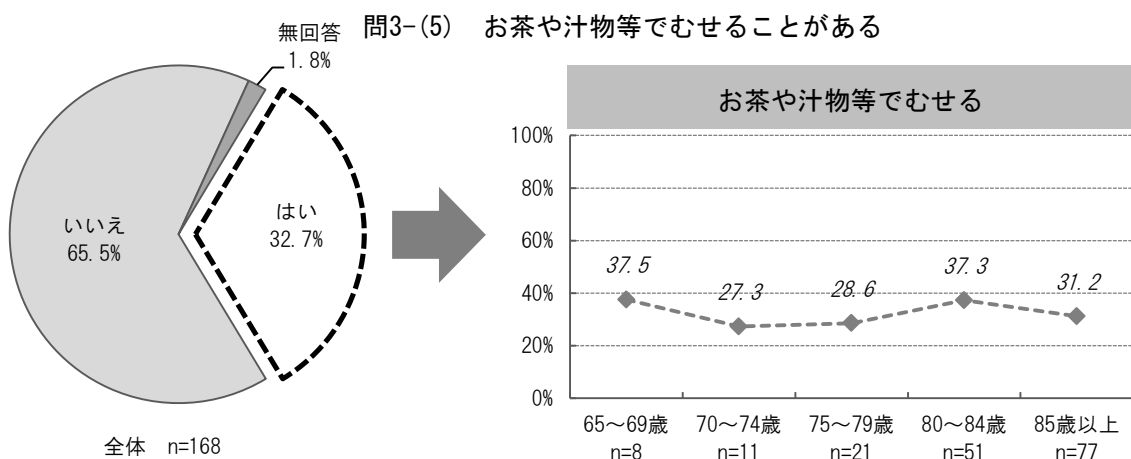
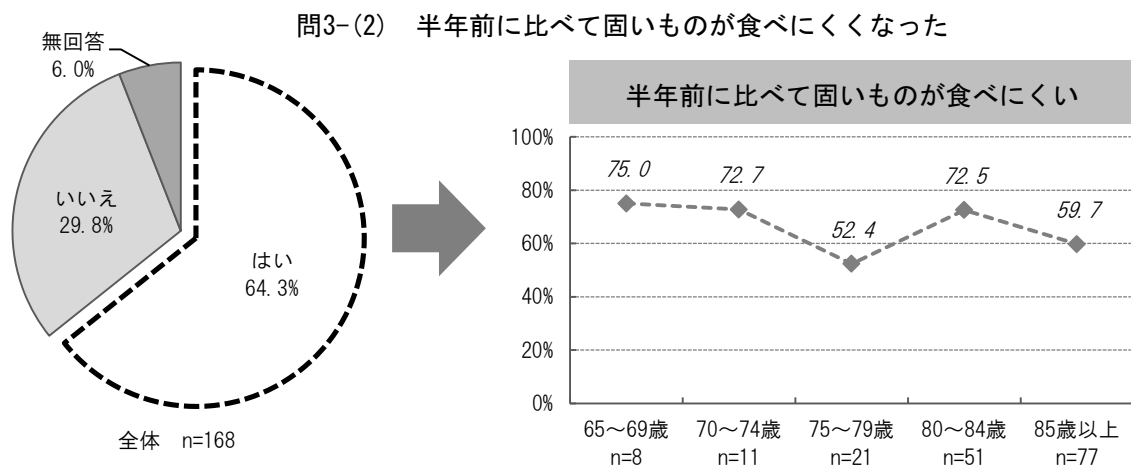
問3-(7) 歯磨きを毎日しているか



○半年前に比べて固いものが食べにくい方は64.3%となり、年齢階級別にみると全ての階級で5割を超えています。

○お茶や汁物等でむせることがある方は32.7%となり、年齢階級別にみると一定の割合で横ばいとなっています。

○口の渇きが気になる方は50.6%で、年齢階級別にみると75～79歳で66.7%と最も高くなっています。

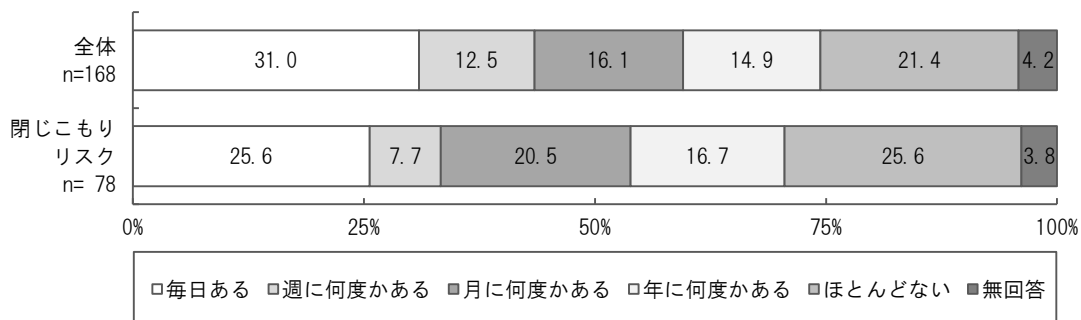


### (3) 食事の状況

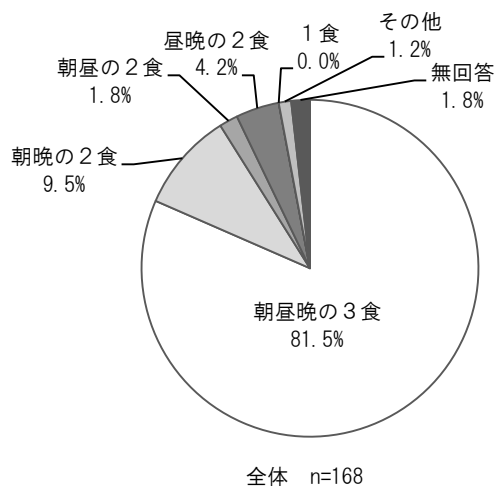
○どなたかと食事をとにもする機会をみると、全体では「毎日ある」(31.0%)、閉じこもりリスク者では「毎日ある」「ほとんどない」(各25.6%)で最も高くなっています。

○1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(81.5%)が最も高くなっています。

問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会 (×「閉じこもりリスク者」)



問3-(9) 1日の食事の回数



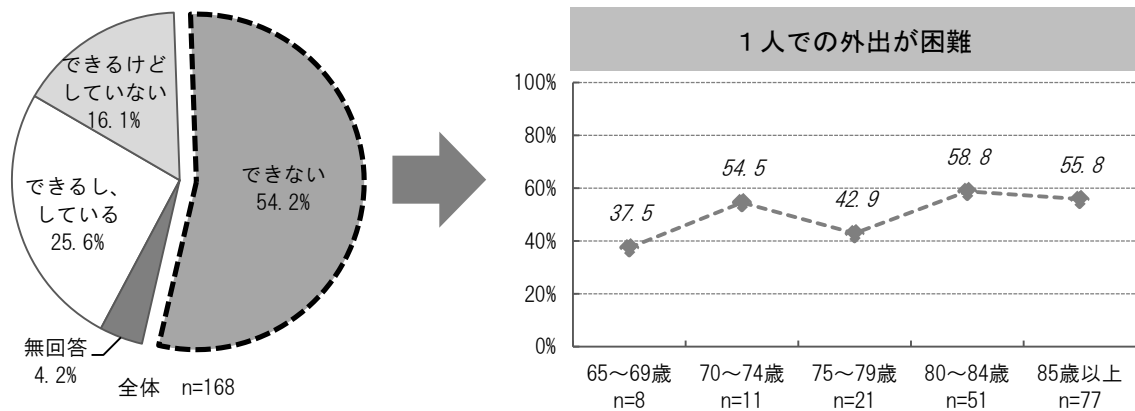
## 4 毎日の生活について

### (1) IADL（手段的自立度）の状況

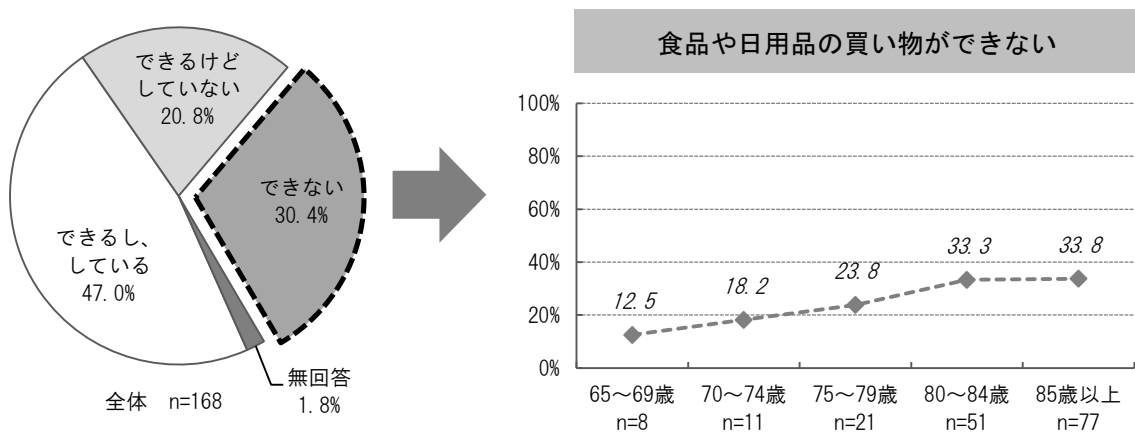
○バスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できない」方は54.2%となり、年齢階級別にみると70～74歳と80歳以降で5割を超えています。

○自分で食品・日用品の買い物をしているかでは、「できない」方は30.4%となり、年齢階級別にみると加齢とともに高くなっています。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか

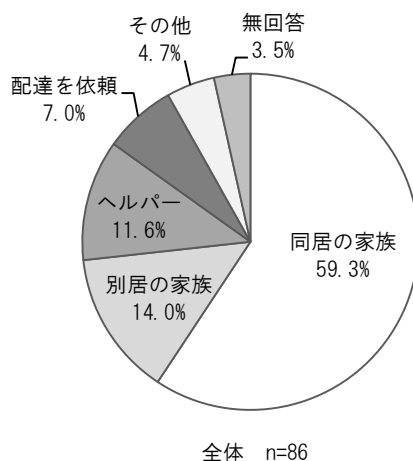


問4-(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

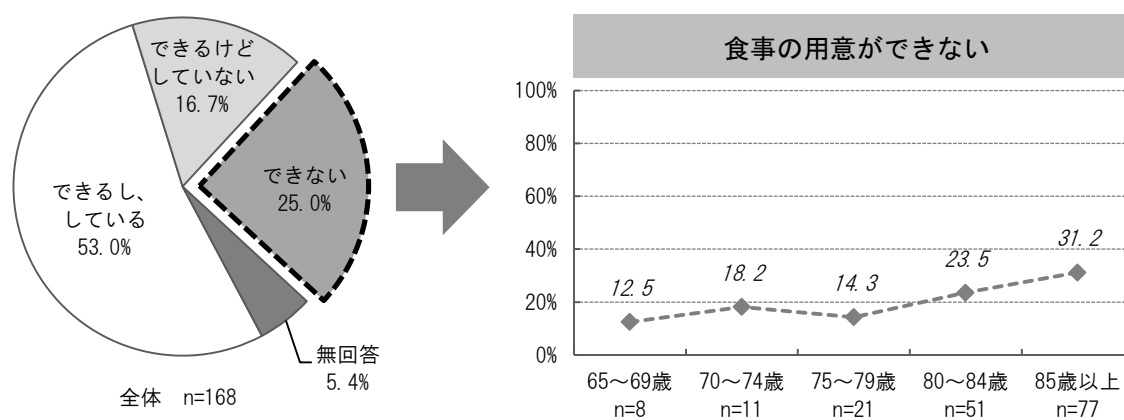


- 食品・日用品の買い物をする人は、「同居の家族」(59.3%) が最も高くなっています。
- 自分で食事の用意ができない方は25.0%となり、年齢階級別にみると80歳以降で加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(3). ① 食品・日用品の買い物をする人  
 【問4-(3)において「2. できるだけしていない」「3. できない」に回答の方】



問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



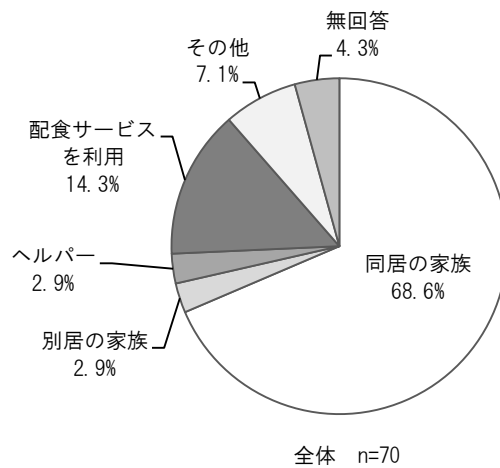


○食事の用意をする人は「同居の家族」(68.6%)が最も高く、次いで「配食サービスを利用」(14.3%)となっています。

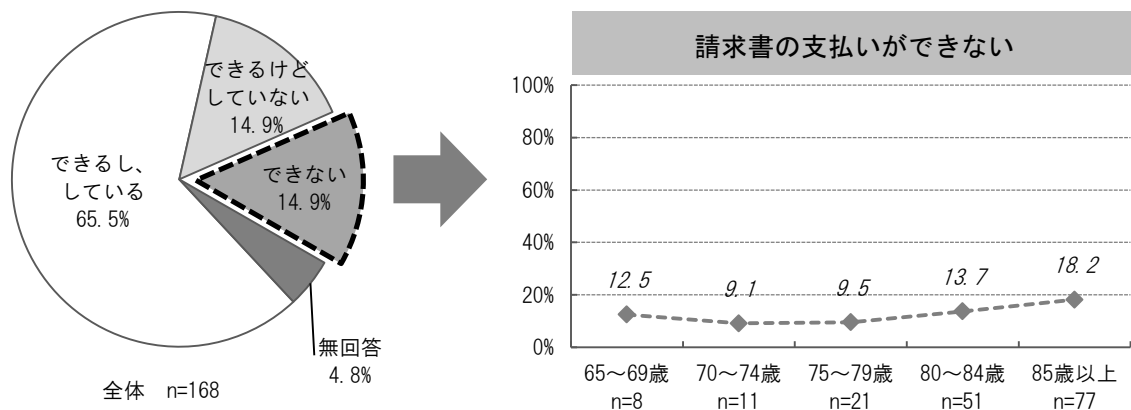
○自分で請求書の支払いができない方は14.9%となり、年齢階級別にみると75歳以降で加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(4). ① 食事の用意をする人

【問4-(4)において「2. できるだけしていない」「3. できない」に回答の方】

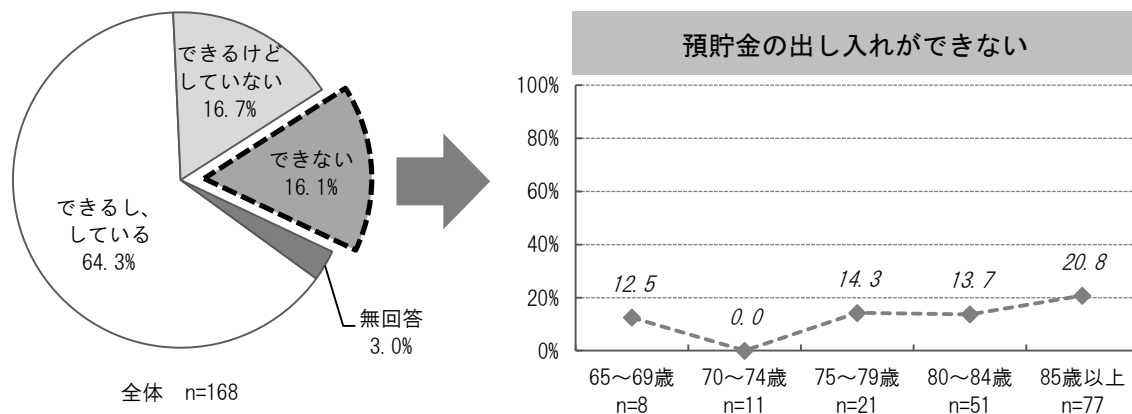


問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか



○自分で預貯金の出し入れができない方は16.1%となり、年齢階級別にみると85歳以上で割合が高くなっています。

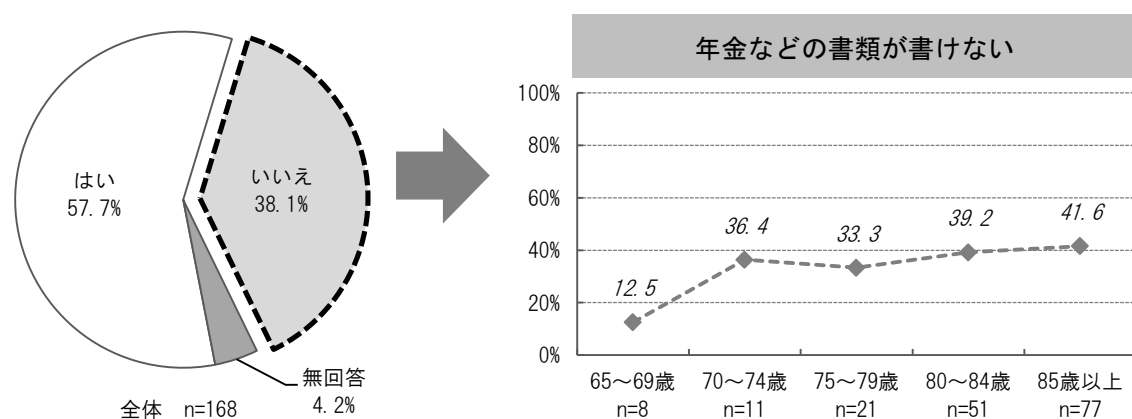
問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



## (2) 社会参加（知的能動性）の状況

○年金などの書類が書けない方は38.1%となり、年齢階級別にみると85歳以上で4割を超えています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか

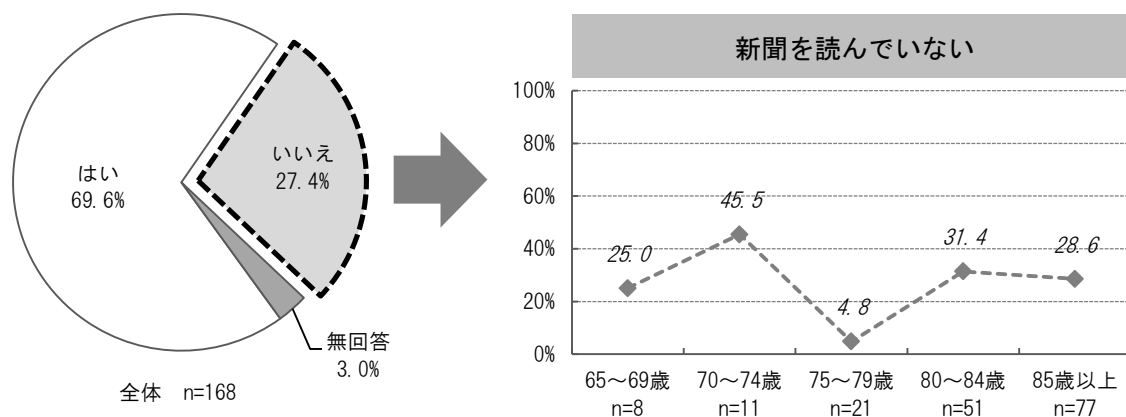


○新聞を読んでいない方は27.4%となり、年齢階級別にみると70～74歳が45.5%と最も高くなっています。

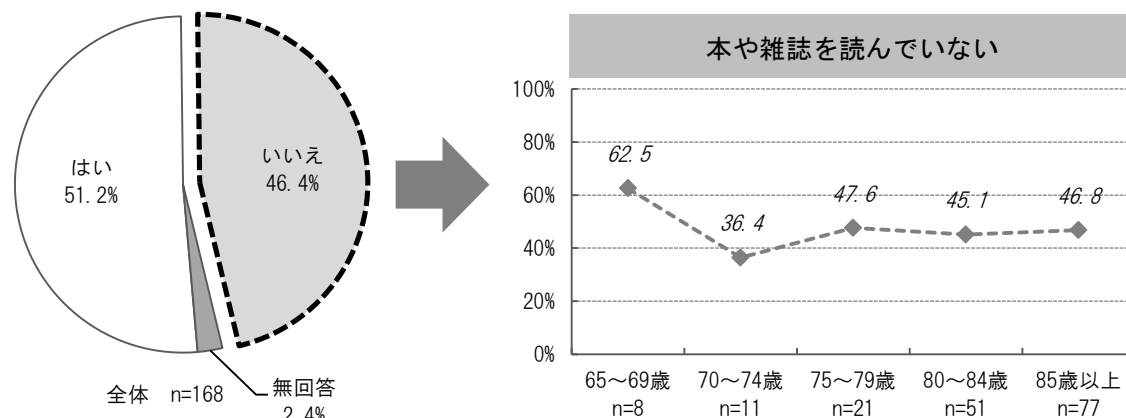
○本や雑誌を読んでいない方は46.4%となり、年齢階級別にみると65～69歳で6割を超えています。

○健康についての記事や番組に関心がない方は14.9%となり、年齢階級別にみると70～74歳で27.3%と高くなり、その後10%前後で推移します。

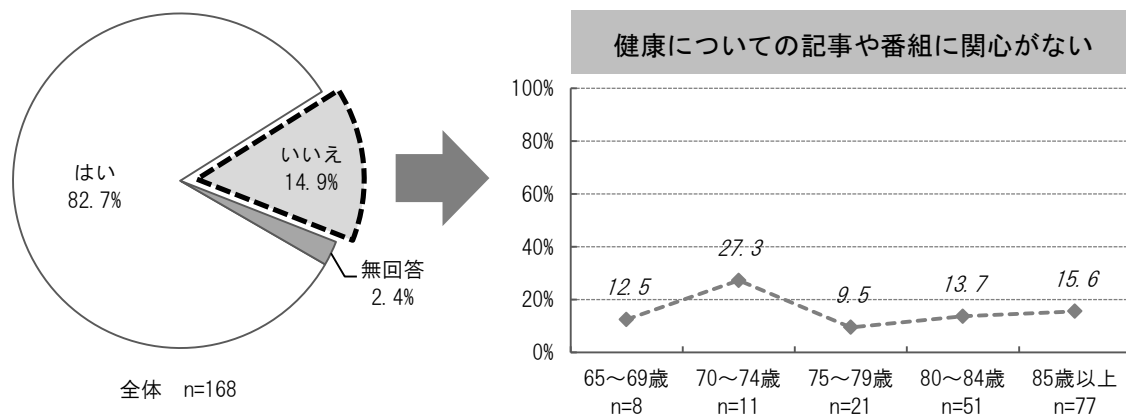
問4-(10) 新聞を読んでいるか



問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



問4-(12) 健康についての記事や番組に関心がある



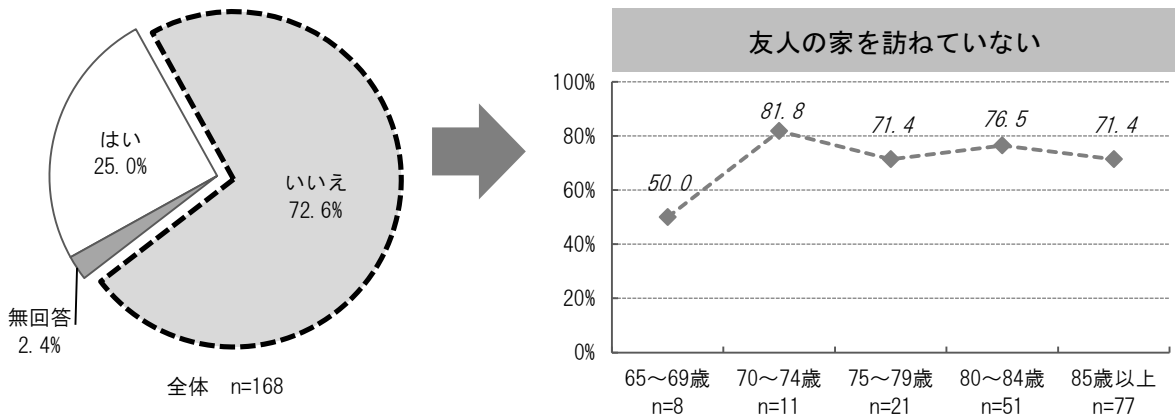
### (3) 社会参加（社会的役割）の状況

○友人の家を訪ねていない方は72.6%となり、年齢階級別にみると65～69歳を除く全ての階級で7割を超えています。

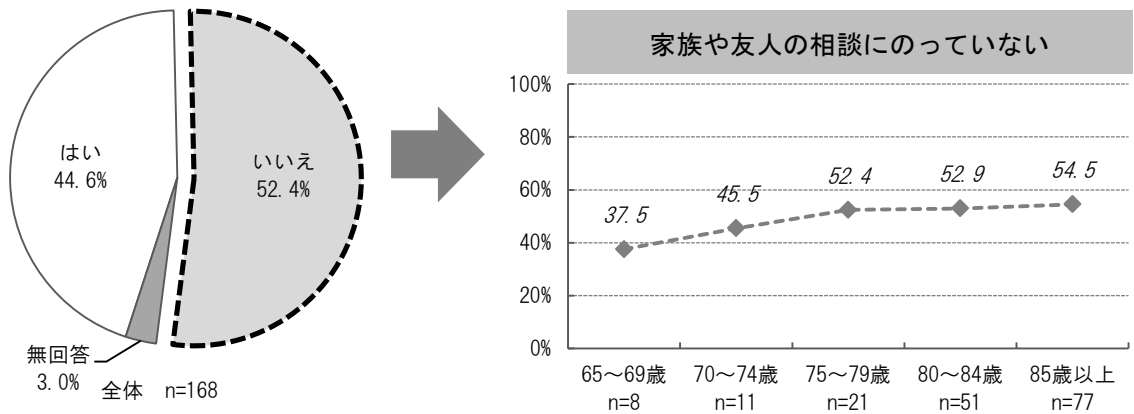
○家族や友人の相談にのっていない方は52.4%となり、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○病人を見舞うことができない方は50.6%となり、年齢階級別にみると65～69歳を除いた階級で5割前後となっています。

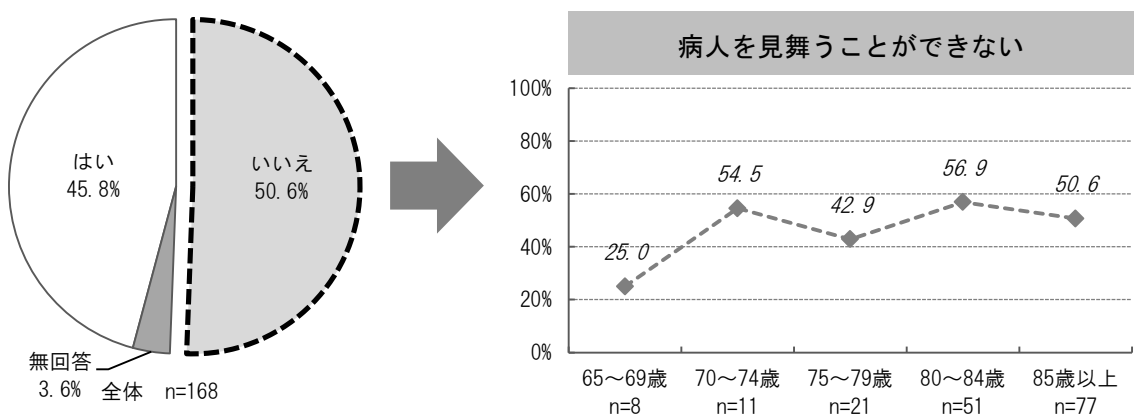
問4-(13) 友人の家を訪ねているか



問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか

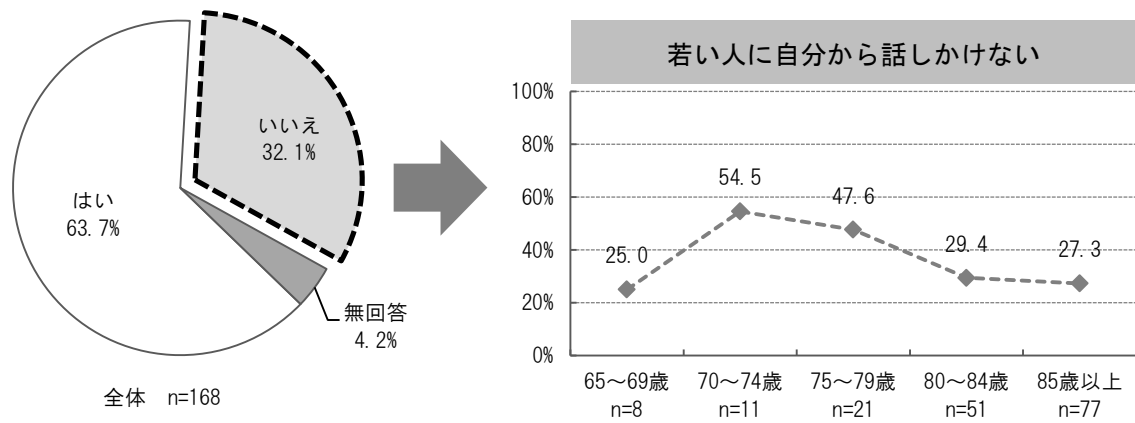


問4-(15) 病人を見舞うことができるか



○若い人に自分から話しかけない方は32.1%となり、年齢階級別にみると70～74歳が54.5%と最も高くなっています。

問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか

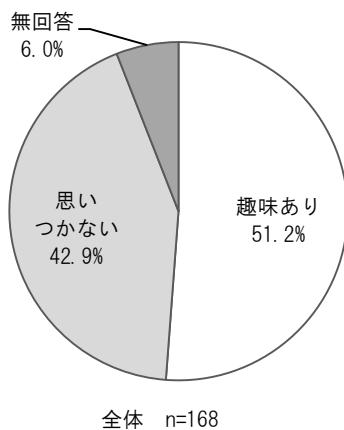


#### (4) こころの健康状態

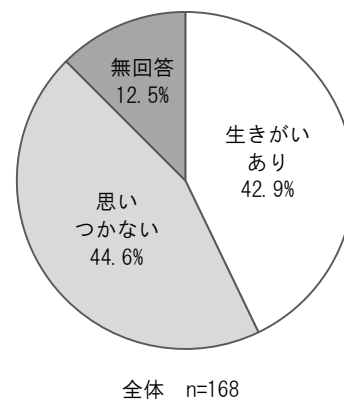
○趣味がある方は51.2%となっています。

○生きがいがある方は42.9%となっています。

問4-(17) 趣味はあるか



問4-(18) 生きがいはあるか



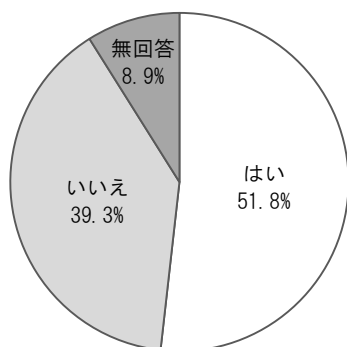
○この1か月間、気分が沈んだりすることがある方は51.8%となっています。

○この1か月間、物事に対して心から楽しめない方は44.6%となっています。

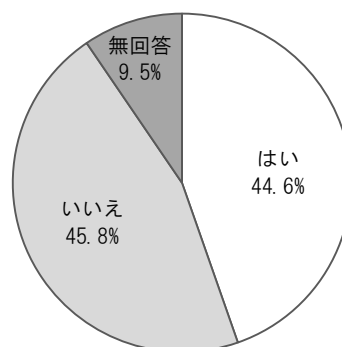
○現在の主観的幸福感を点数でみると、「5点」(28.6%)が最も高く、次いで「7点」(10.7%)、「8点」(10.1%)となっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする

問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない

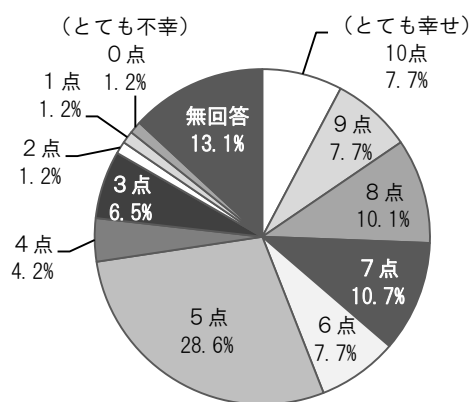


全体 n=168



全体 n=168

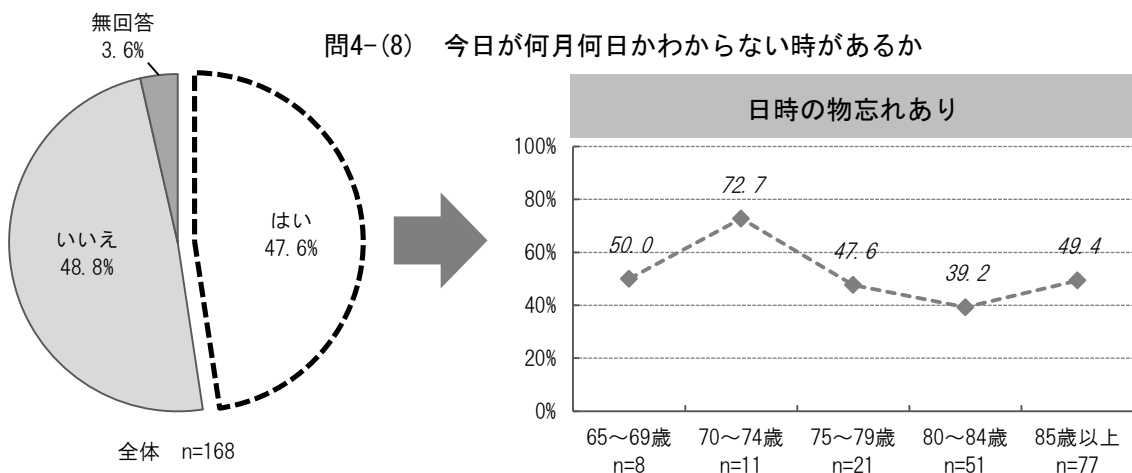
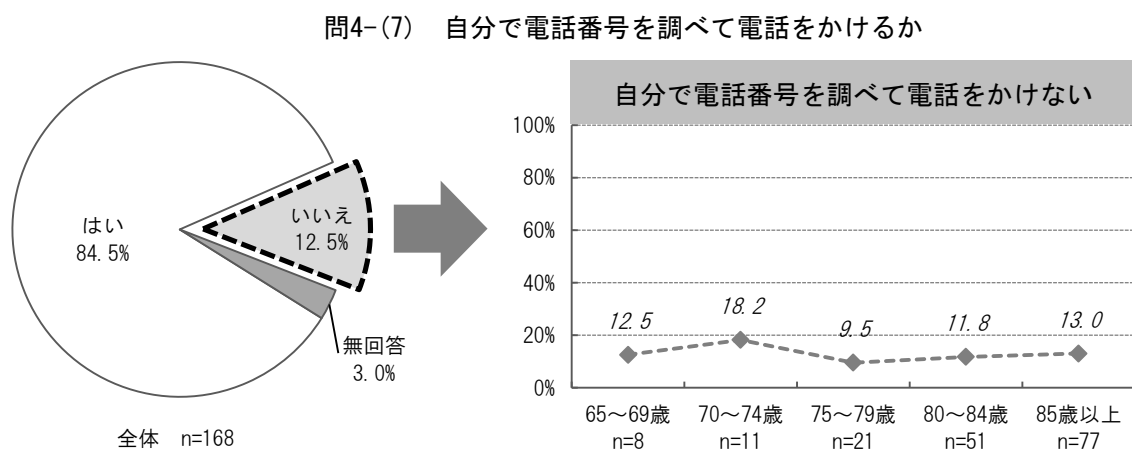
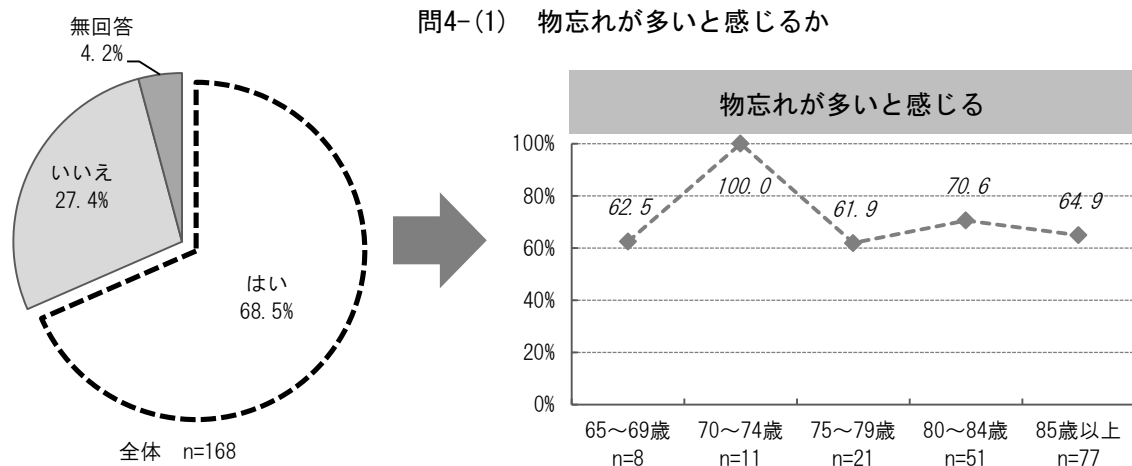
問7-(2) 現在の主観的幸福感



全体 n=168

(5) 物忘れの状況

- 物忘れが多いと感じる方は68.5%で、年齢階級別にみると全ての階級で6割を超えています。
- 自分で電話番号を調べて電話をかけない方は12.5%で、年齢階級別にみると70~74歳が18.2%と最も高くなっています。
- 今日が何月何日かわからない時がある方は47.6%で、年齢階級別にみると70~74歳が72.7%と最も高くなっています。



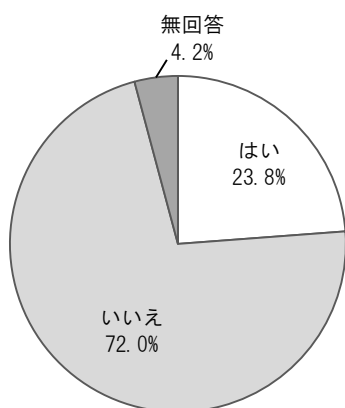
○周囲から物忘れを指摘される方は、23.8%となっています。

○5分前に自分が何をしていたか思い出せない方は、10.7%となっています。

○自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があると回答した方は14.3%となっています。

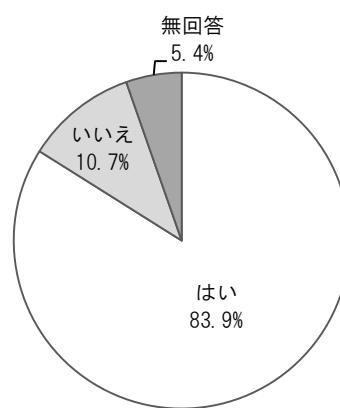
○認知症に関する相談窓口について23.2%の方が知っていると回答していますが、「知らない(いいえ)」は7割に及んでいます。

問4-(19) 周囲から物忘れを指摘される



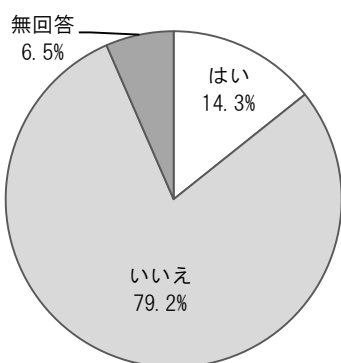
全体 n=168

問4-(20) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか



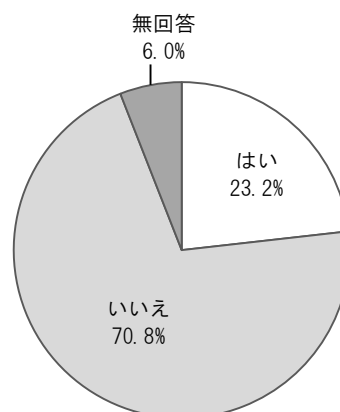
全体 n=168

問4-(21) 認知症の症状がある、または家族が認知症の症状がある



全体 n=168

問4-(22) 認知症に関する相談窓口を知っているか



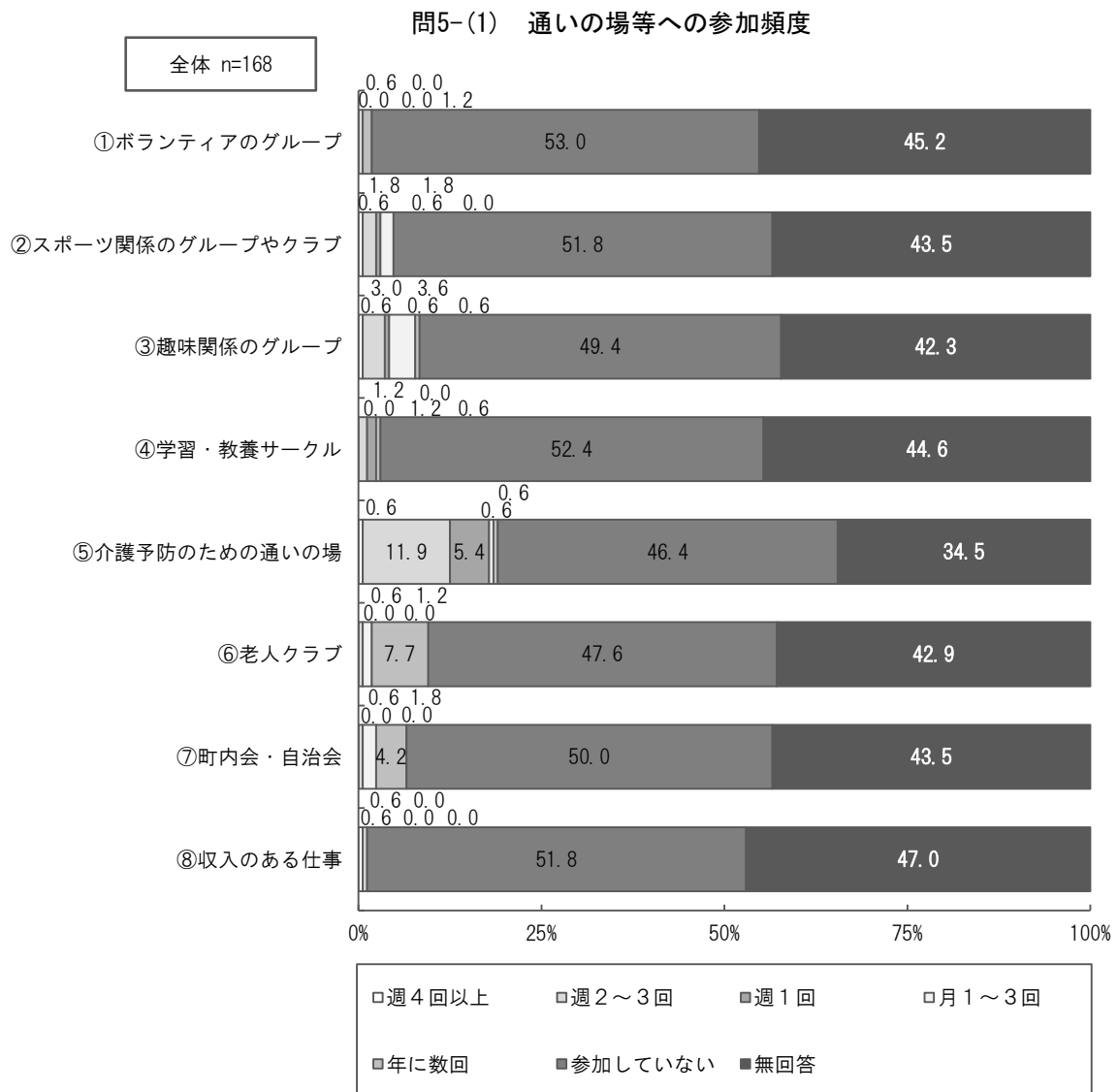
全体 n=168



## 5 地域での活動について

### (1) グループ活動等の状況

○通いの場（グループ活動）等への参加頻度をみると、週に1回以上の就労または通いの場等に参加している方は「⑤介護予防のための通いの場」が17.9%、「③趣味関係のグループ」が4.2%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が3.0%となっています。



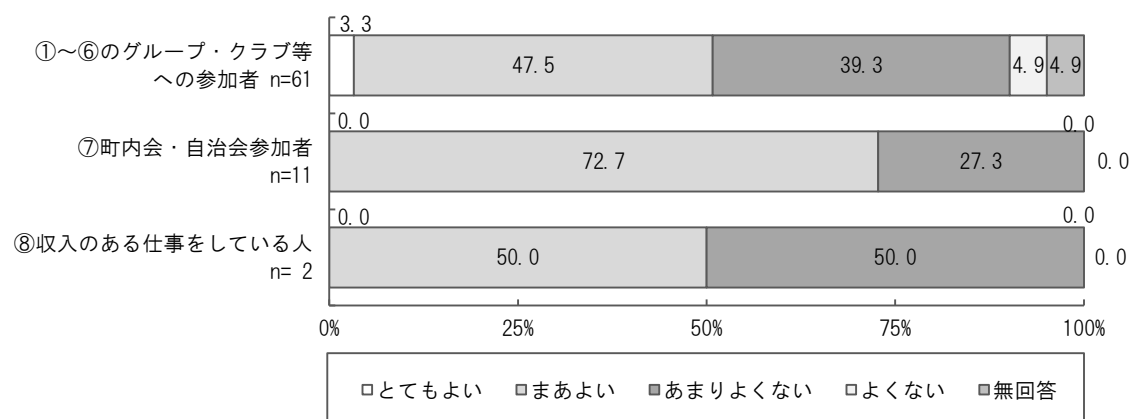
○通いの場等への参加者の主観的健康感をみると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた50.8~72.7%の方が「よい」と回答しています。

○通いの場等への参加者で生きがいのある方は、54.1~54.5%となっています。

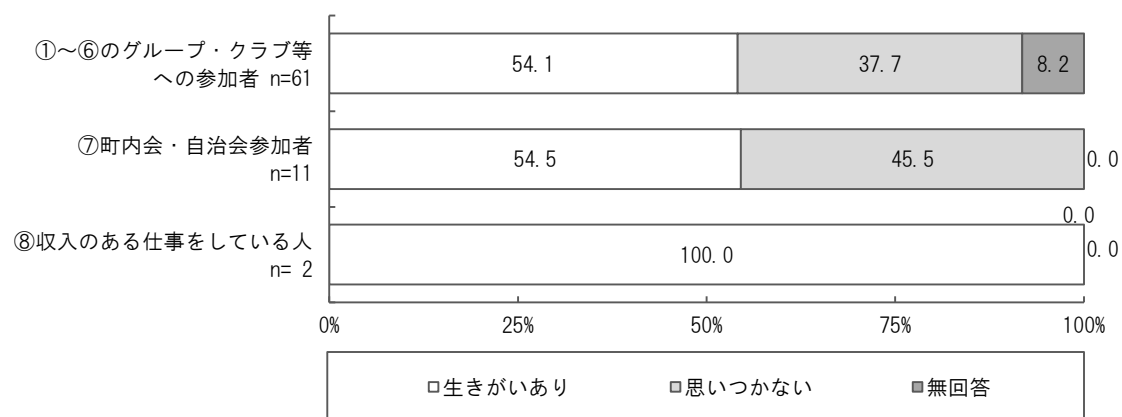
○通いの場等への参加者で趣味のある方は、55.7~63.6%となっています。

(収入のある仕事をしている人は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

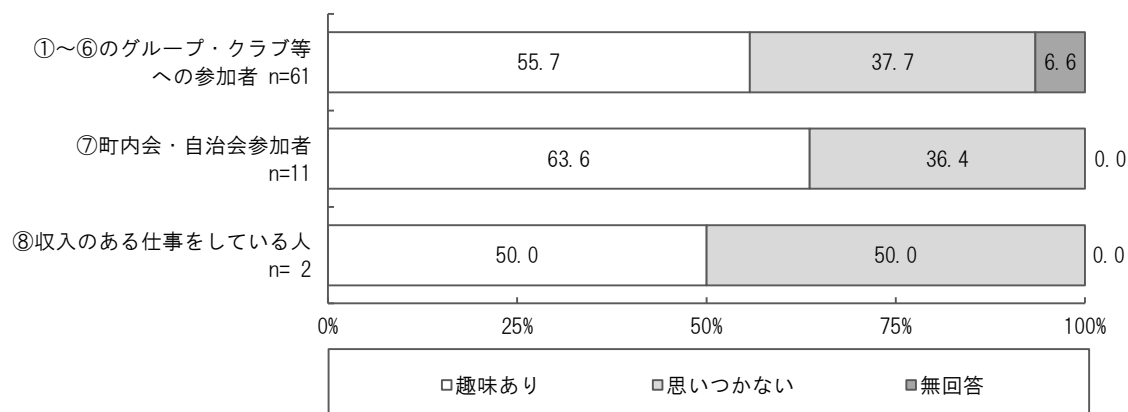
「問5-(1) 通いの場等への参加者」 × 「問7-(1) 主観的健康感」



「問5-(1) 通いの場等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいはあるか」



「問5-(1) 通いの場等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味はあるか」



(2) 地域づくりに対する参加意向

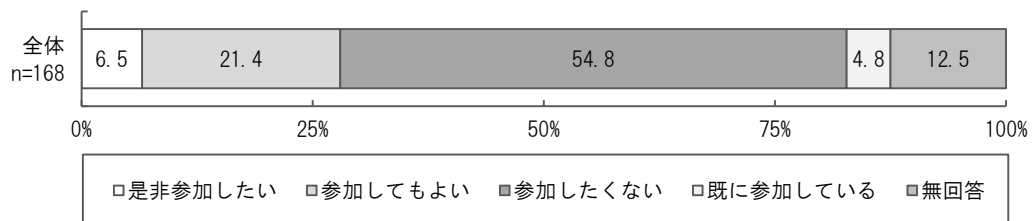
○参加者としてグループ活動等に、「是非参加したい」(6.5%)と「参加してもよい」(21.4%)を合わせた27.9%が参加を希望しています。

○企画・運営としてグループ活動等に、「是非参加したい」(0.6%)と「参加してもよい」(13.1%)を合わせた13.7%が参加を希望している一方、「参加したくない」は67.3%となっています。

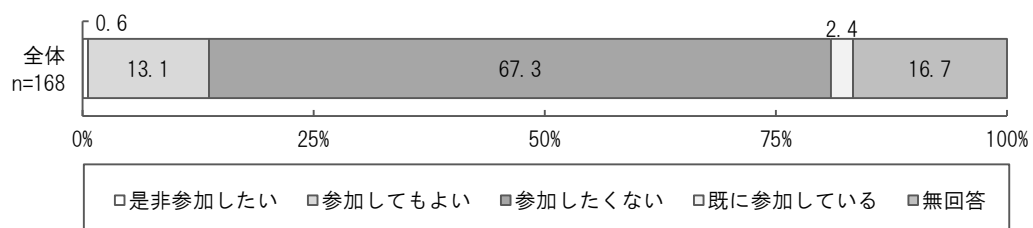
○グループ活動等への参加希望者と既参加者の主観的健康感をみると、参加希望者・既参加者ともに「まあよい」(48.9%・62.5%)の割合が高く、後者が前者を13.6ポイント上回っています。

○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の主観的健康感では、参加希望者は「あまりよくない」(43.5%)の割合が高くなっています。  
(既参加者は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

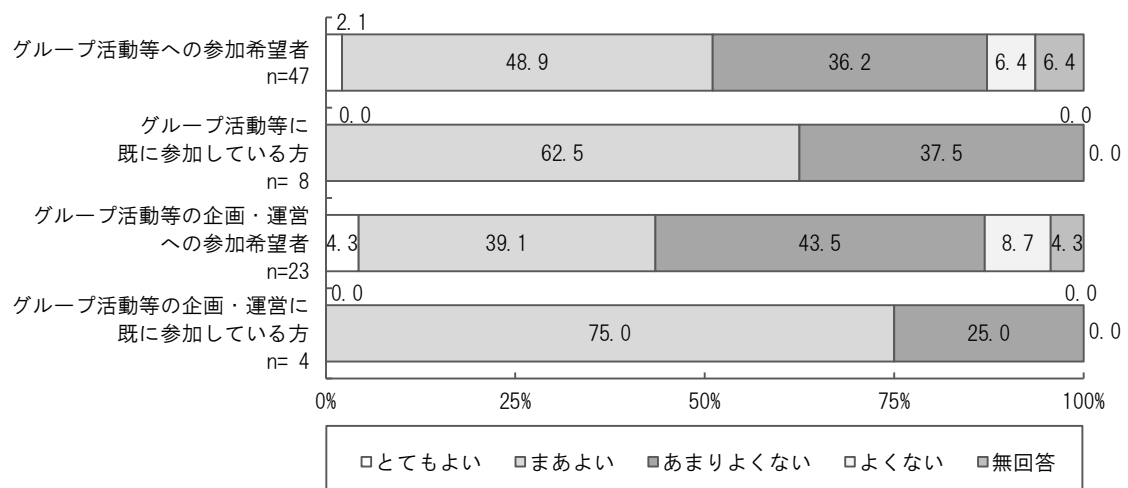
問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問7-(1) 主観的健康感」



○グループ活動等への参加希望者と既参加者の生きがいを見ると、参加希望者・既参加者ともに「生きがいあり」(51.1%・75.0%)の割合が高く、後者が前者を23.9<sup>ポイント</sup>上回っています。

○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の生きがいでは、参加希望者は「生きがいあり」(73.9%)の割合が高くなっています。

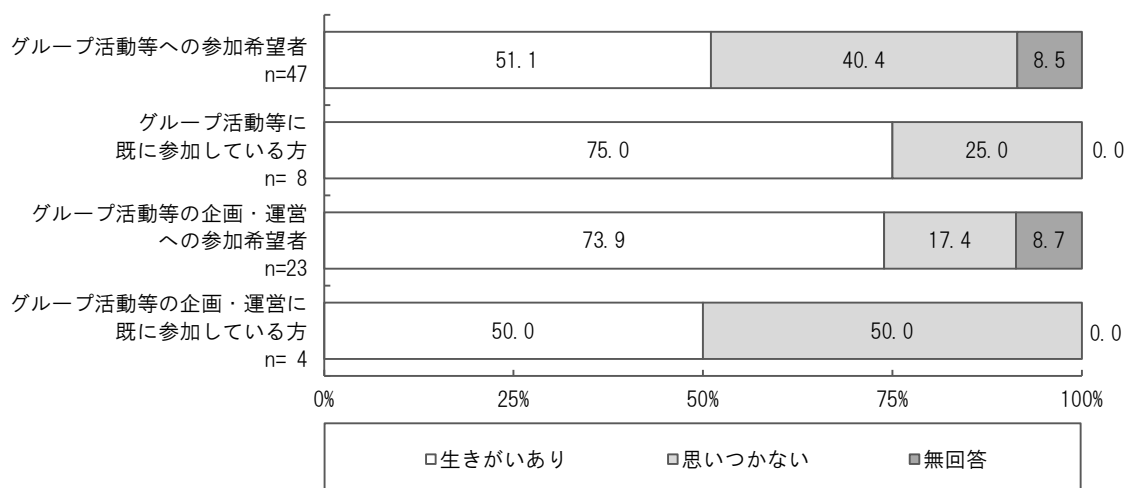
(既参加者は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

○グループ活動等への参加希望者と既参加者の趣味を見ると、参加希望者・既参加者ともに「趣味あり」(63.8%・100.0%)の割合が高く、後者が前者を36.2<sup>ポイント</sup>上回っています。

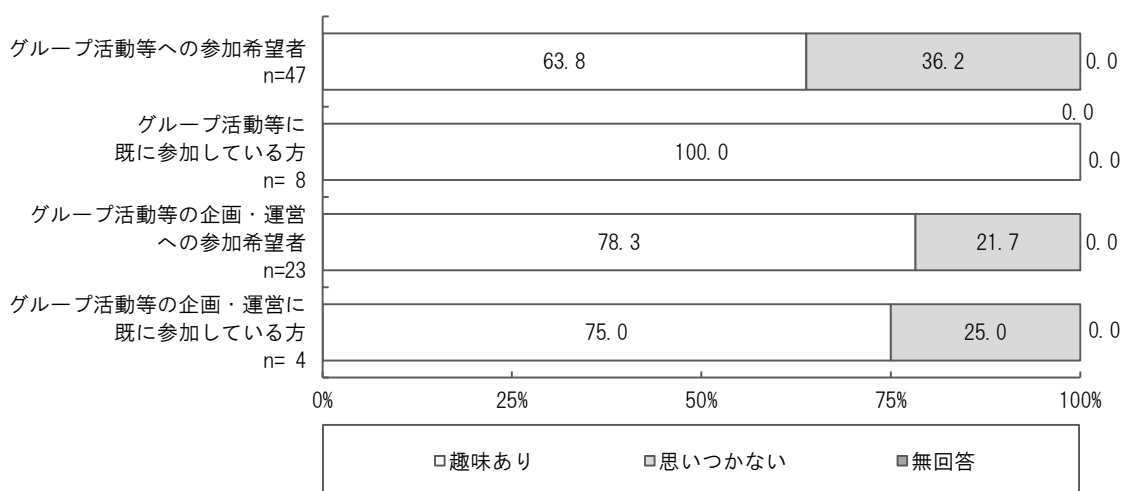
○グループ活動等の企画・運営への参加希望者と既参加者の趣味では、参加希望者は「趣味あり」(78.3%)の割合が高くなっています。

(既参加者は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問4-(18) 生きがいはあるか」



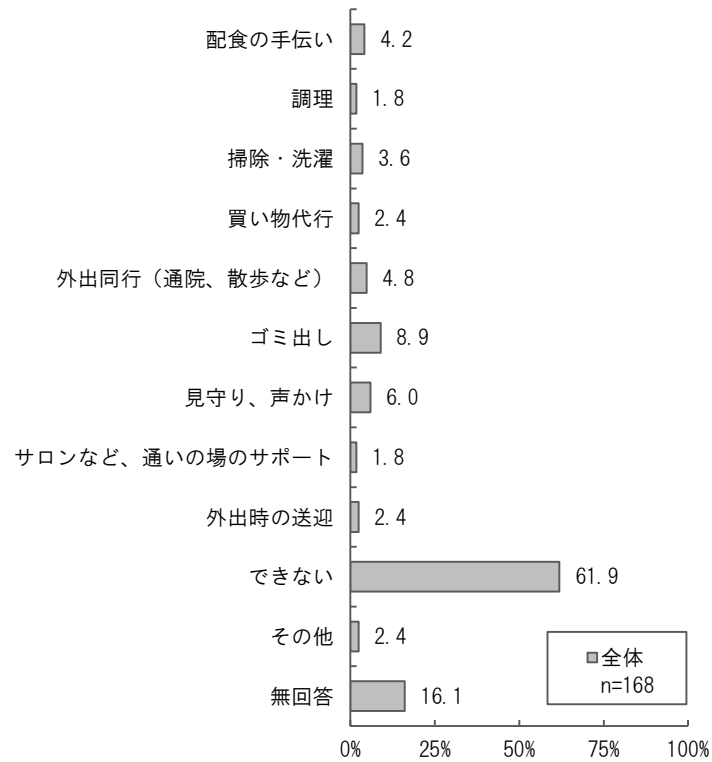
「問5-(2)(3) 希望者・既参加者」×「問4-(17) 趣味はあるか」



(3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援

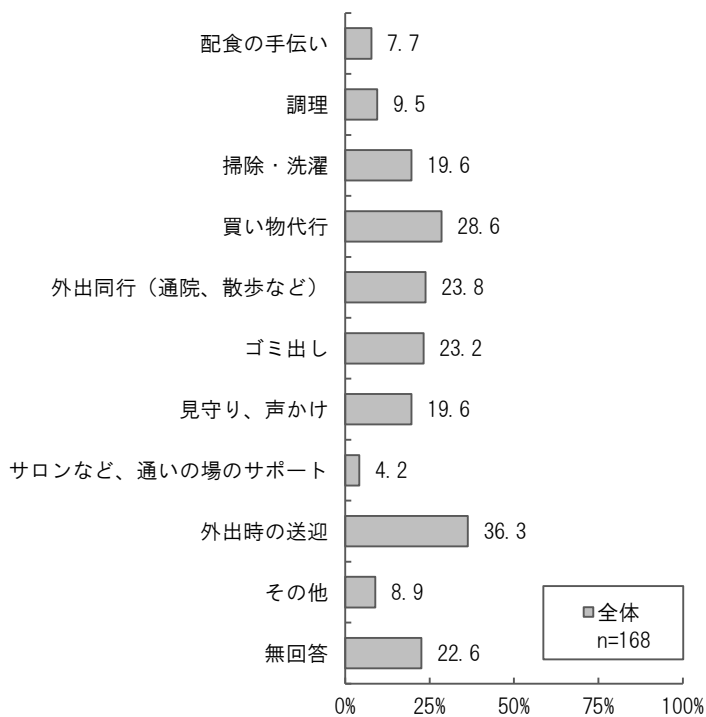
○地域でできる支援をみると、「ゴミ出し」(8.9%)、「見守り・声かけ」(6.0%)、「外出同行(通院、散歩など)」(4.8%)、「配食の手伝い」(4.2%)など、何れも1割未満となっています。一方、「できない」は61.9%となり、最も高くなっています。

問5-(4) 地域でできる支援



○地域で暮らし続けるために必要なサービスや支援では、「外出時の送迎」(36.3%)、「買い物代行」(28.6%)、「外出同行(通院、散歩など)」(23.8%)、「ゴミ出し」(23.2%)、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」(各19.6%)で割合が高くなっています。

問5-(5) 地域で暮らし続けるために必要なサービスや支援

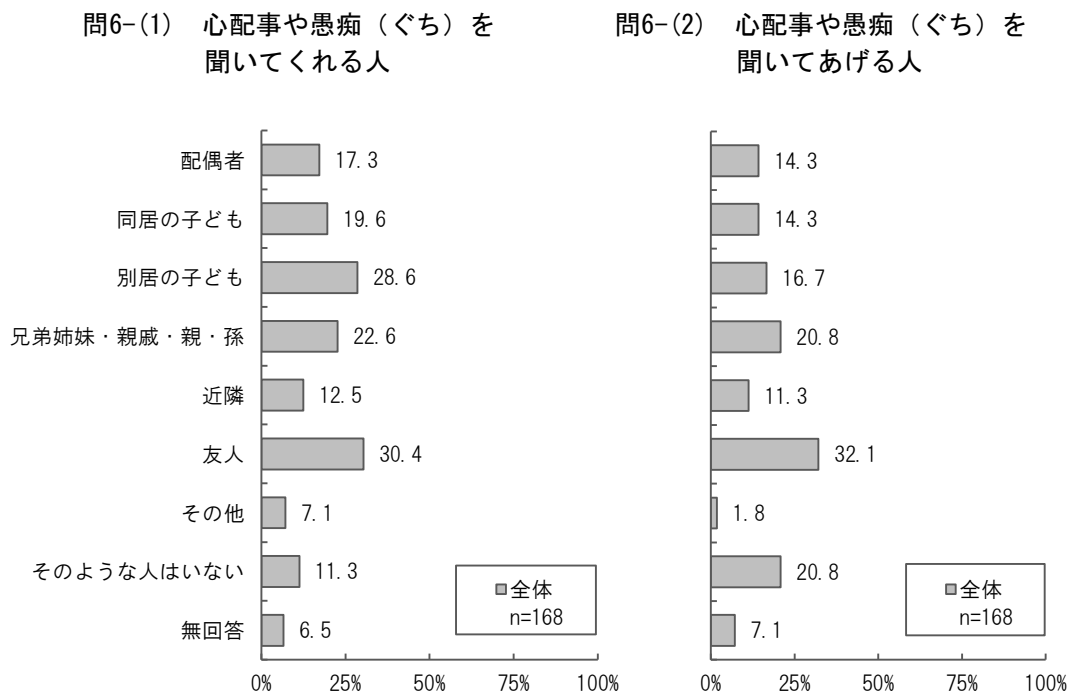


## 6 たすけあいについて

### (1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

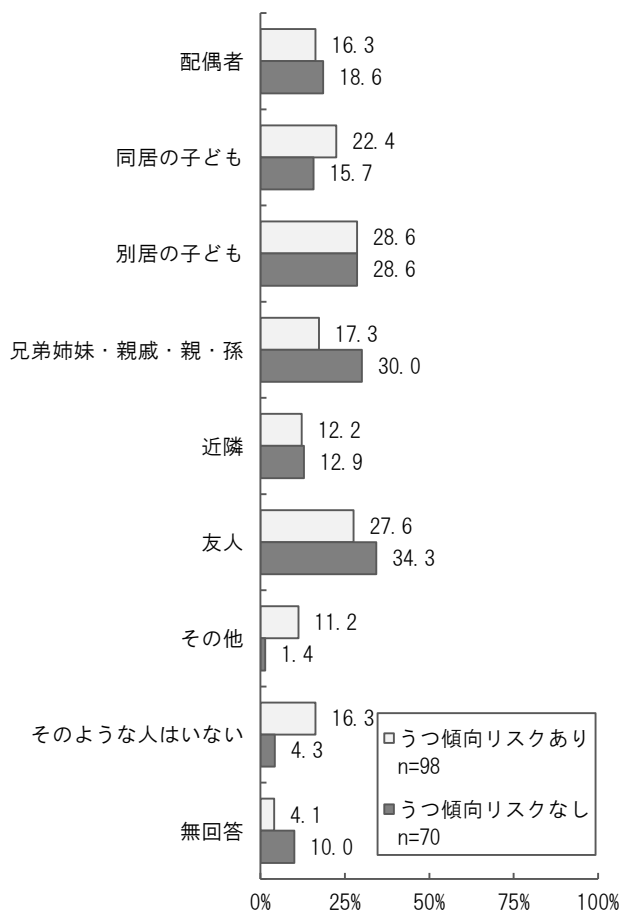
○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「友人」（30.4％）が最も高く、次いで「別居の子ども」（28.6％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（22.6％）となっています。一方、「そのような人はいない」は11.3％となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「友人」（32.1％）が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（20.8％）、「別居の子ども」（16.7％）となっています。一方、「そのような人はいない」は20.8％となっています。



○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクの有無別にみると、リスクありは「別居の子ども」（28.6%）が最も高く、次いで「友人」（27.6%）、「同居の子ども」（22.4%）、リスクなしでは「友人」（34.3%）が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（30.0%）となっています。一方、「そのような人はいない」は前者が16.3%、後者が4.3%と前者が12.0ポイント上回っています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスクの有無」



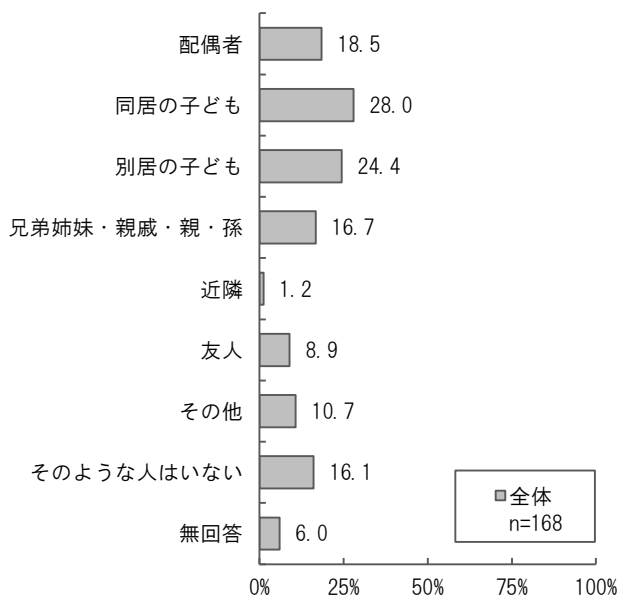


○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「同居の子ども」(28.0%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(24.4%)、「配偶者」(18.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(16.7%)となっています。

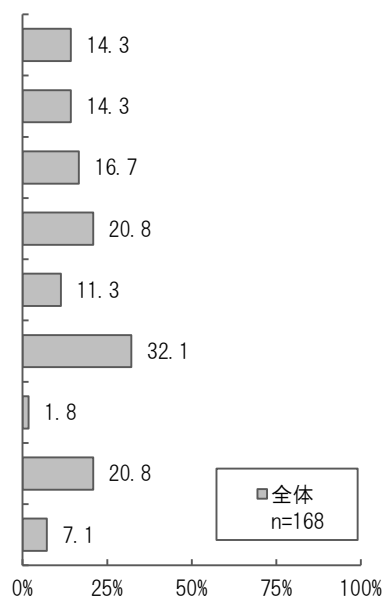
○看病や世話をしてあげる人は、「友人」(32.1%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.8%)、「別居の子ども」(16.7%)となっていますが、「そのような人はいない」は20.8%となっています。

○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」(42.9%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(32.1%)、「医師・歯科医師・看護師」(23.2%)となっていますが、「そのような人はいない」は20.8%となっています。

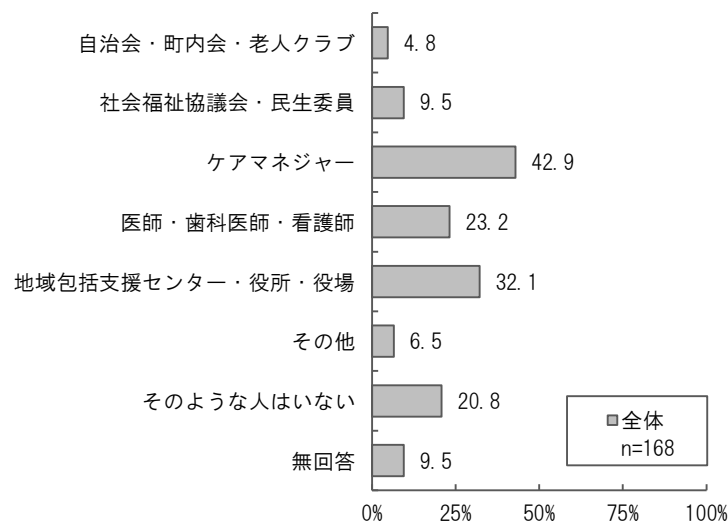
問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



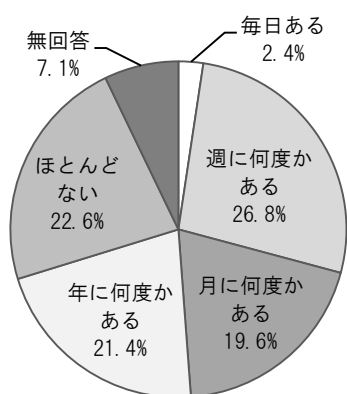
## (2) 友人・知人との交流状況

○友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(26.8%)が最も高く、次いで「年に何度かある」(21.4%)となる一方で、「ほとんどない」は22.6%となっています。

○1か月間に会った友人・知人の人数をみると、「1~2人」(30.4%)が最も高く、次いで「3~5人」(22.6%)となる一方で、「0人(いない)」は21.4%となっています。

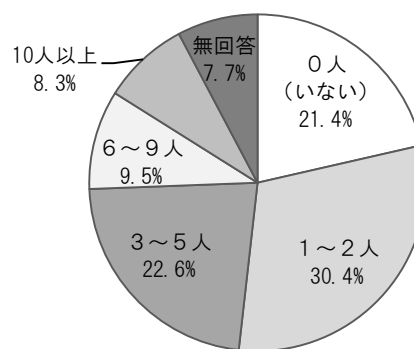
○よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(42.9%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(19.0%)、「仕事での同僚・元同僚」(12.5%)、「学生時代の友人」(5.4%)となっています。

問6-(6) 友人・知人と会う頻度



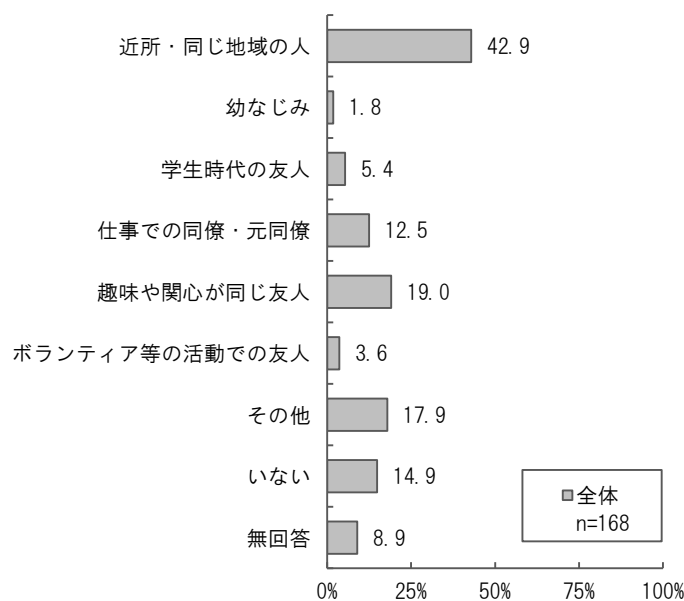
全体 n=168

問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか (最近1か月間)



全体 n=168

問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か



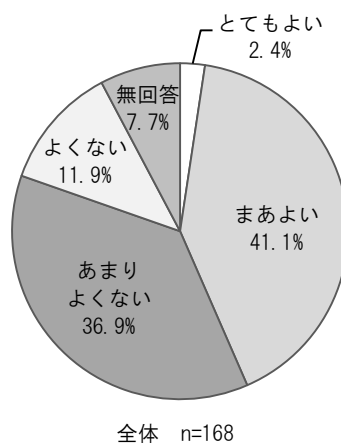
全体 n=168

## 7 健康について

### (1) 健康状態

○現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(41.1%)が最も高く、「とてもよい」(2.4%)を合わせると43.5%が健康と感じています。

問7-(1) 現在の主観的健康感

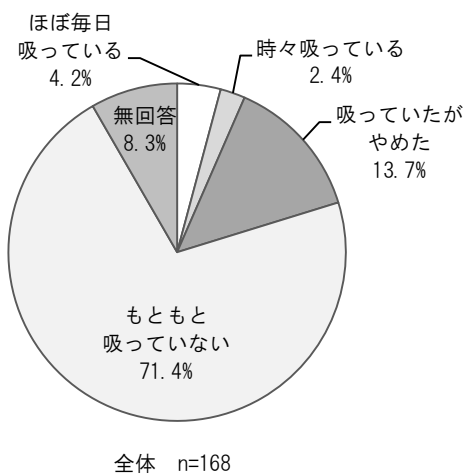


### (2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

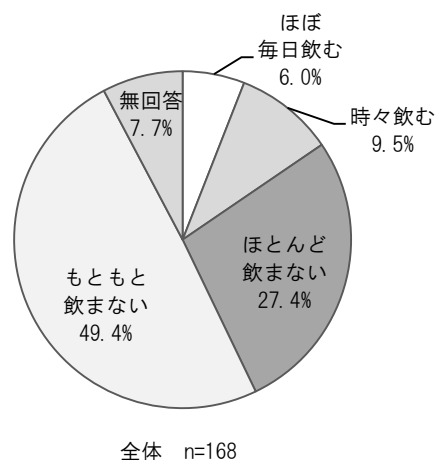
○喫煙の状況をみると、「ほぼ毎日吸っている」(4.2%)と「時々吸っている」(2.4%)を合わせた6.6%が喫煙者となっています。

○飲酒の状況では、「ほぼ毎日飲む」(6.0%)と「時々飲む」(9.5%)を合わせた15.5%が飲酒者となっています。

問7-(5) 喫煙の状況



問7-(7) 飲酒の状況

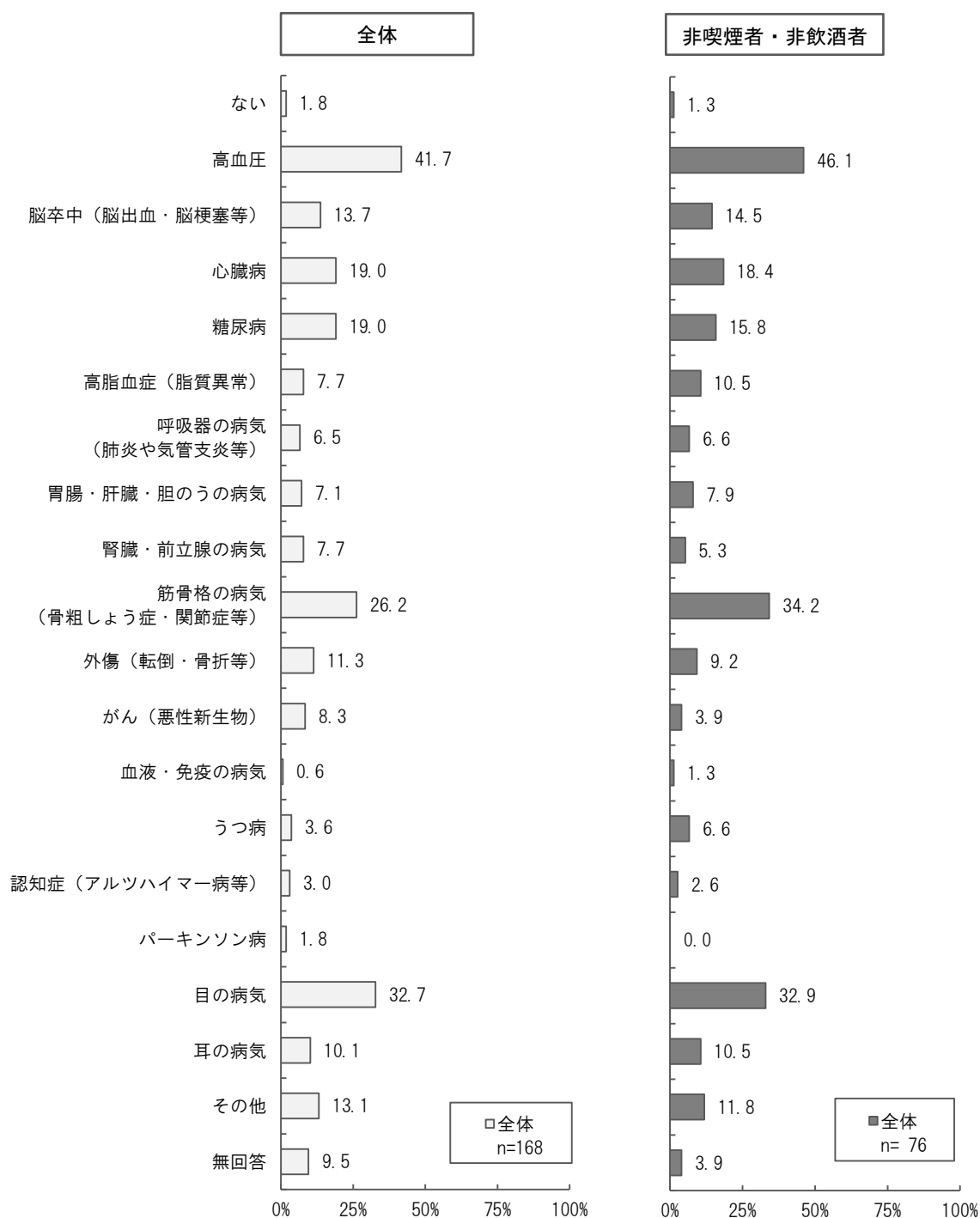


○現在治療中、または後遺症のある病気をみると、全体では「高血圧」(41.7%) が最も高く、次いで「目の病気」(32.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(26.2%)、「心臓病」「糖尿病」(各19.0%)となっています。

○非喫煙者・非飲酒者の現在治療中、または後遺症のある病気をみると、「高血圧」(46.1%) が最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(34.2%)、「目の病気」(32.9%)、「心臓病」(18.4%)、「糖尿病」(15.8%)となっています。

○また、「ない」と回答した方は、全体では1.8%、非喫煙者・非飲酒者では1.3%となっています。

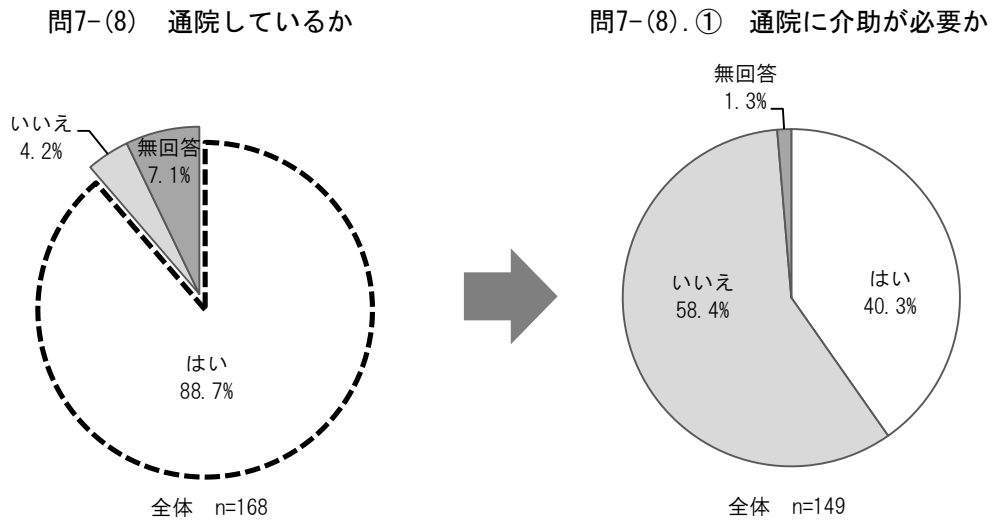
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気



### (3) 通院の状況

○通院している方は88.7%となっています。

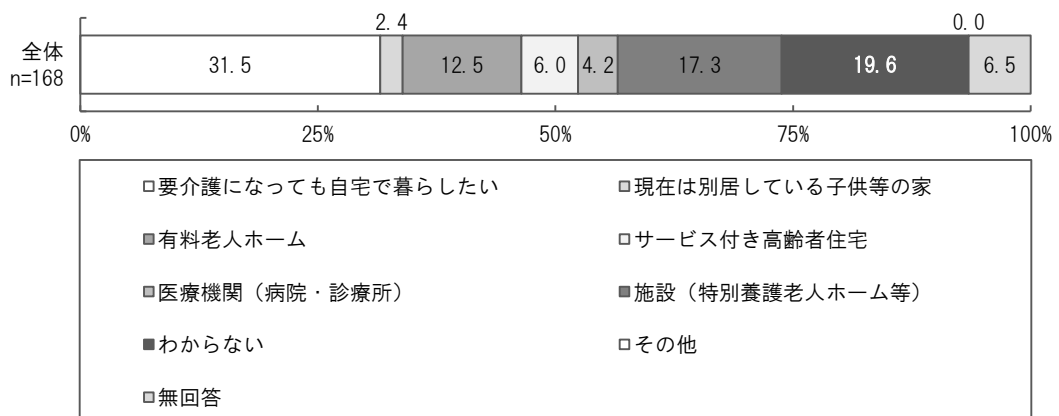
○通院している方のうち、通院に介助が必要な方は40.3%となっています。



## 8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について

○介護が必要になるなど、生活状況が変わった際に暮らしたい場所をみると、「要介護になっても自宅で暮らしたい」(31.5%)が最も高く、次いで「施設(特別養護老人ホーム等)」(17.3%)、「有料老人ホーム」(12.5%)となっています。

問8-(1) 介護など、生活状況の変化による暮らしたい場所



## 第4章

### 日常生活圏域別地域分析



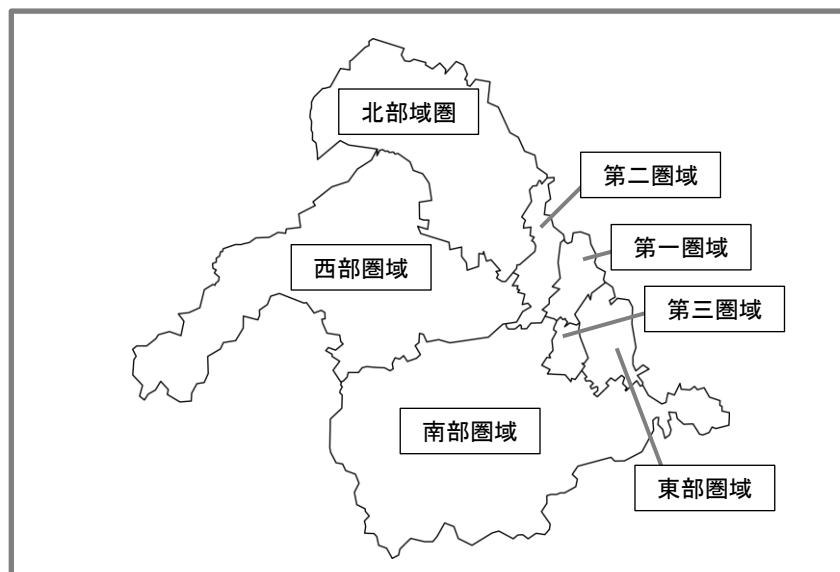
## 第4章 日常生活圏域別地域分析

第4章は調査結果から7つの日常生活圏域別に市全域と比較しながら、高齢者の健康自立度や生活実態、地域の活動やたすけあいの状況など、各圏域の地域特性を分析しました。

日常生活圏域名	高齢者人口 (人)	一般高齢者 (人)	認定者 (人)	認定率 (%)
市全域	54,076	43,987	10,089	18.7
第一圏域	8,014	6,547	1,467	18.3
第二圏域	6,518	5,286	1,232	18.9
第三圏域	10,293	8,328	1,965	19.1
東部圏域	6,995	5,792	1,203	17.2
西部圏域	4,283	3,388	895	20.9
南部圏域	12,993	10,691	2,302	17.7
北部圏域	4,980	3,955	1,025	20.6

日常生活圏域名	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	重度認定者	
			要介護3～5 (人)	認定率 (%)
市全域	2,479	7,610	3,597	6.7
第一圏域	360	1,107	504	6.3
第二圏域	355	877	410	6.3
第三圏域	539	1,426	728	7.1
東部圏域	235	968	454	6.5
西部圏域	194	701	359	8.4
南部圏域	555	1,747	800	6.2
北部圏域	241	784	342	6.9

※上記の数値は令和2年2月3日現在



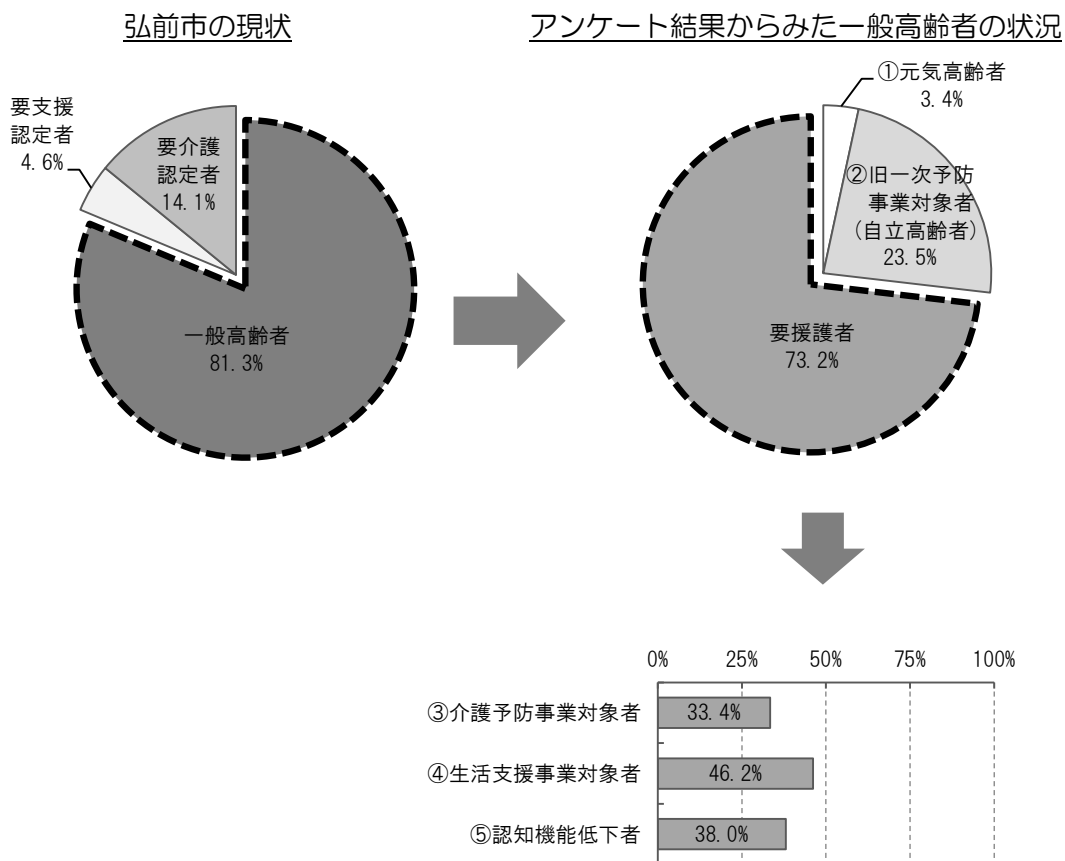


## 1 “5つの高齢者像”からみた地域分析

本市における令和2年2月現在の認定者数は10,089人（認定率18.7%）となり、認定者を除いた一般高齢者数は43,987人と高齢者人口の約8割を占めています。

また、調査結果から高齢者像別に出現率をみると、要援護者は73.2%、旧一次予防事業対象者は23.5%、元気高齢者は3.4%となっています。

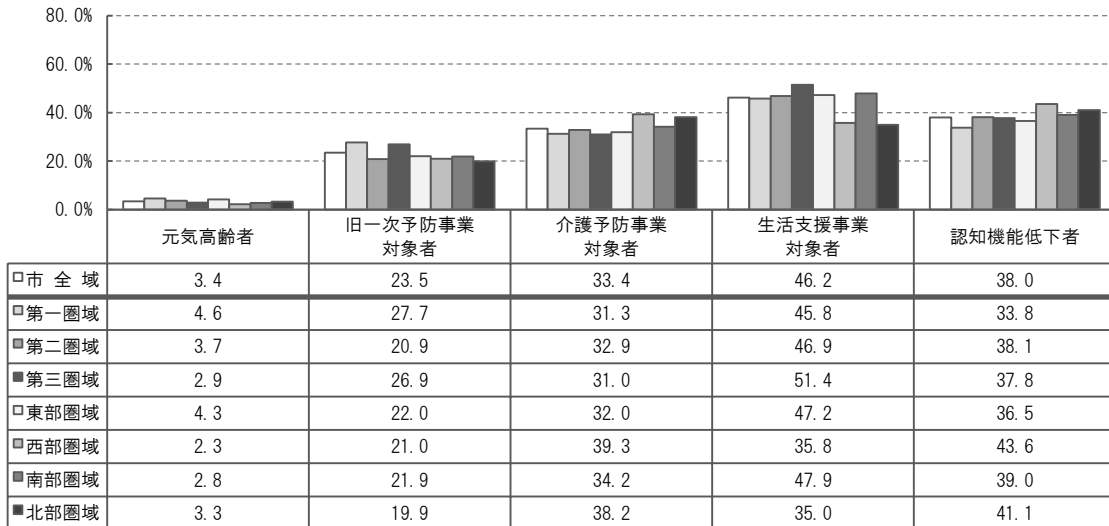
図 4.1 高齢者像別出現率



※「旧一次予防事業対象者」…一般高齢者から元気高齢者や要援護者（介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能低下者）を除いた高齢者です。

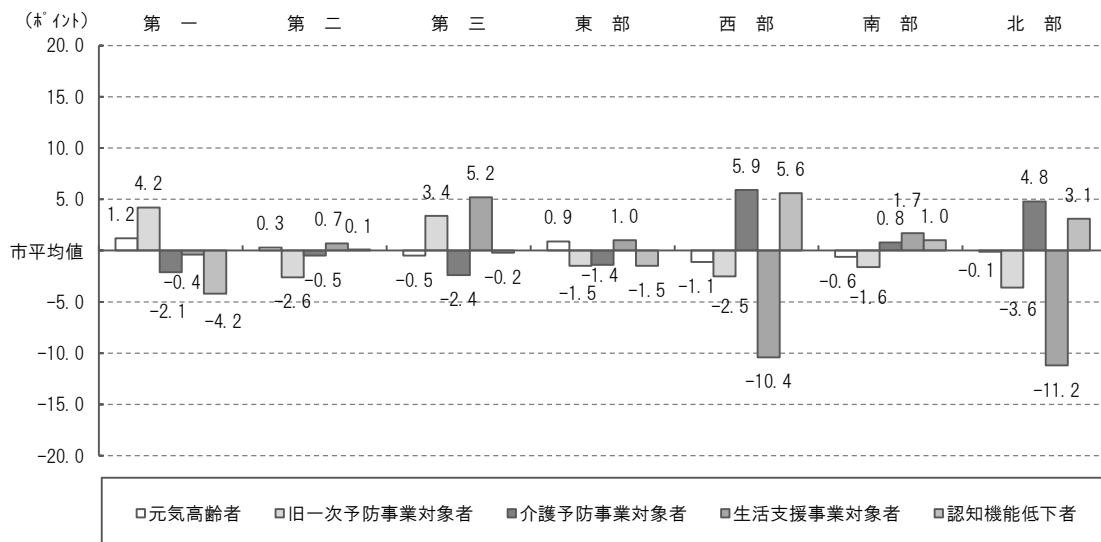
- 一般高齢者において5つの高齢者像別出現率の地域差をみると、元気高齢者は市平均値に比べて「第一」「東部」「第二」で高くなっています。
- 旧一次予防事業対象者は、「北部」「第二」「西部」「南部」「東部」で市平均値よりも低くなり、その差異は3.6～1.5ポイントとなっています。
- 要援護者をみると、介護予防事業対象者・認知機能低下者は「西部」(39.3%・43.6%)、生活支援事業対象者は「第三」(51.4%)が最も高くなっています。

図 4.2 5つの高齢者像別出現率



※「旧一次予防事業対象者」…ここでは、一般高齢者全体から元気高齢者や要援護者(介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能低下者)を除いた高齢者です。

図 4.3 5つの高齢者像別出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値(0.0)とします。

## 2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差

### (1) 介護予防事業対象者の状況

- 介護予防事業対象者の出現率の地域差をみると、一般高齢者は「西部」「北部」「南部」で市平均値を上回り高くなっています。
- 要支援者では「北部」「西部」「南部」で市平均値を上回る状況です。
- 圏域別にみると、一般高齢者は「西部」で5.9ポイント、「北部」で4.8ポイント高く、要支援者は「北部」で15.5ポイント、「西部」で8.4ポイント高くなっています。

図 4.4 介護予防事業対象者出現率

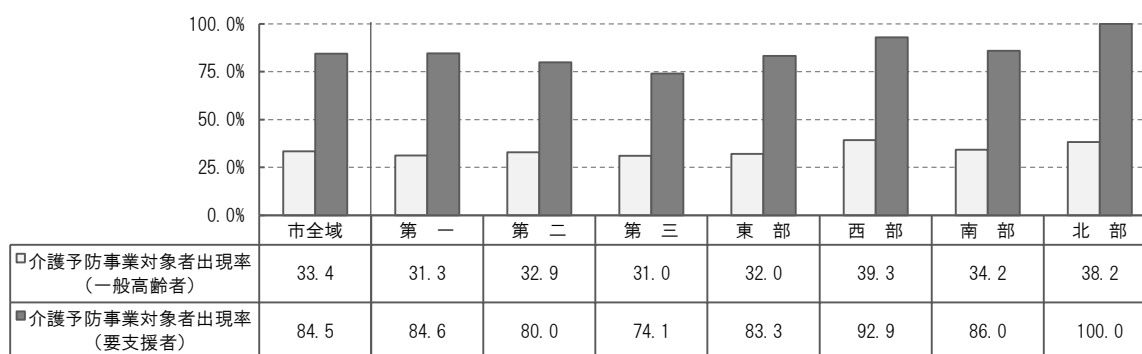
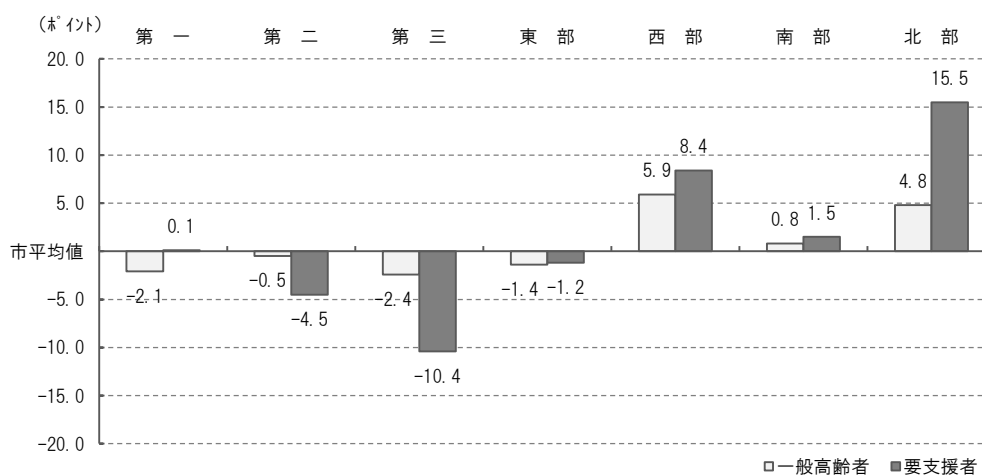


図 4.5 介護予防事業対象者出現率の地域差

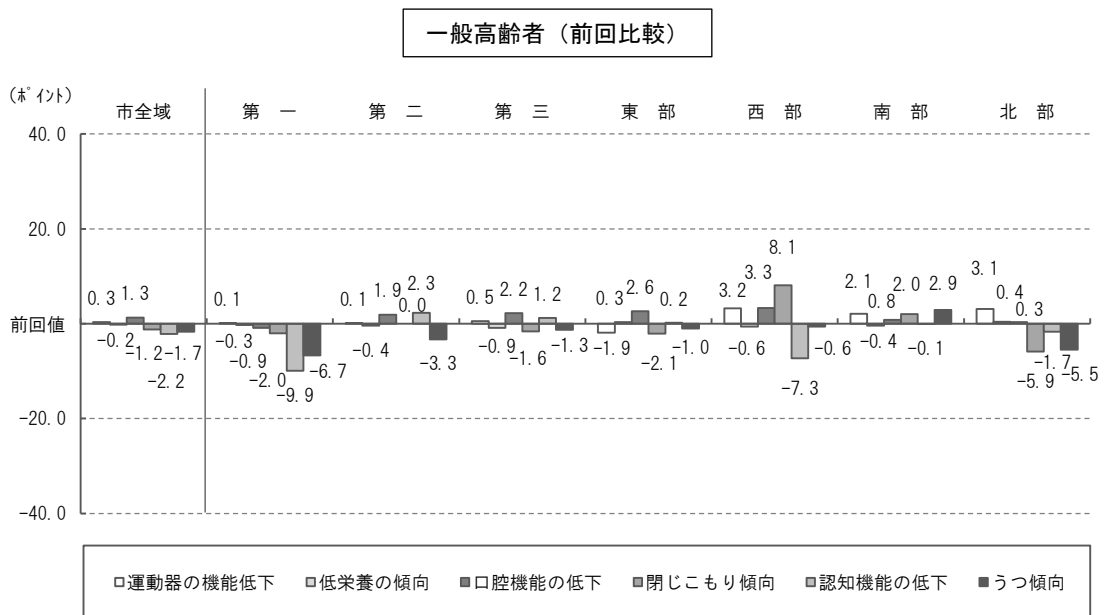
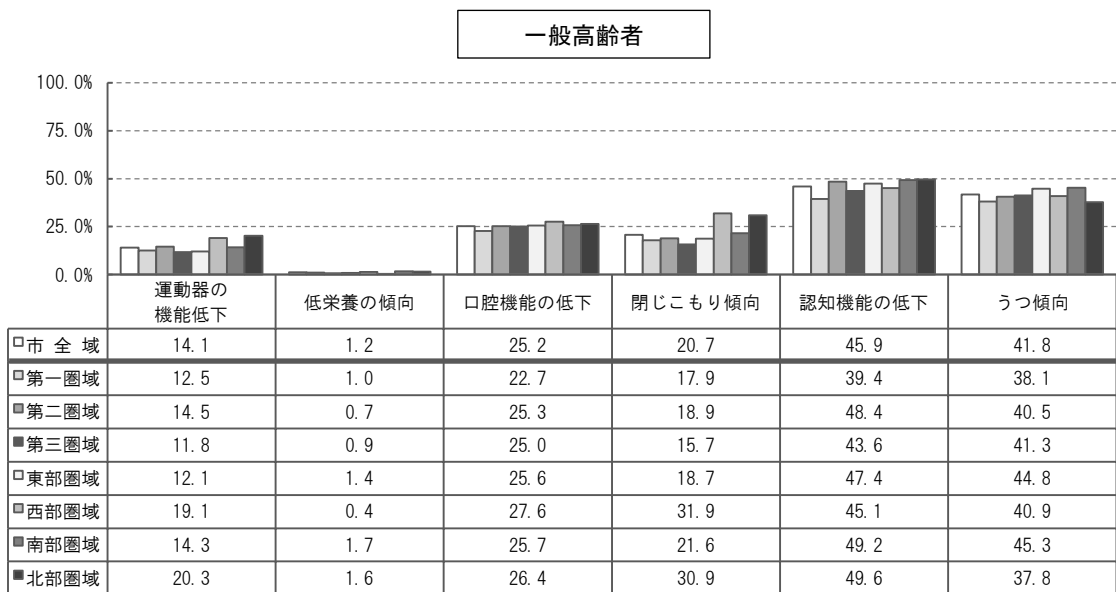


(2) リスクに該当する高齢者の状況

○一般高齢者において各リスクに該当する高齢者の出現率をみると、市全域では認知機能の低下（45.9%）が最も高く、次いでうつ傾向（41.8%）、口腔機能の低下（25.2%）、閉じこもり傾向（20.7%）、運動器の機能低下（14.1%）、低栄養の傾向（1.2%）となっています。

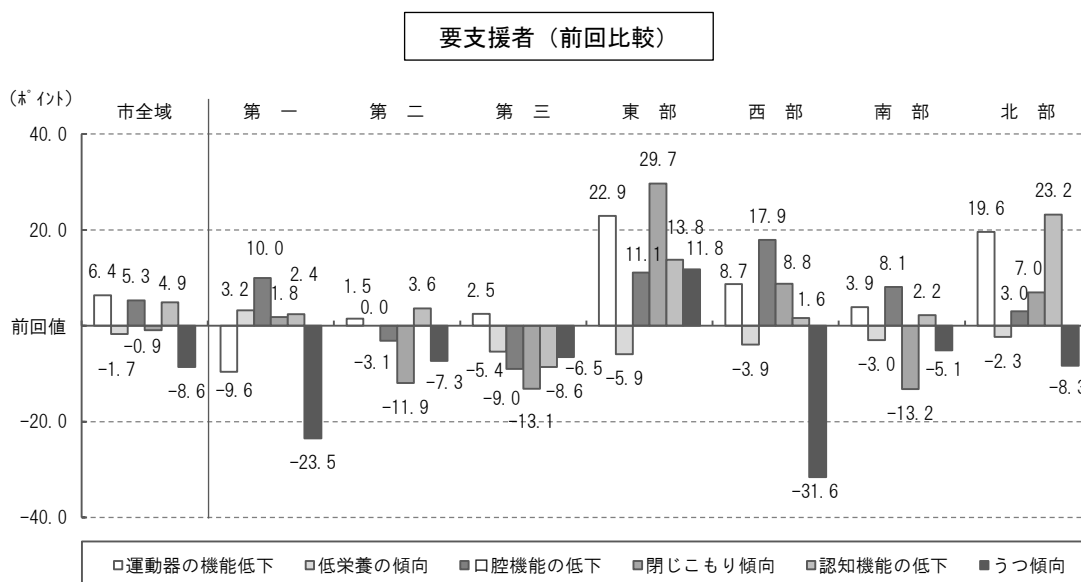
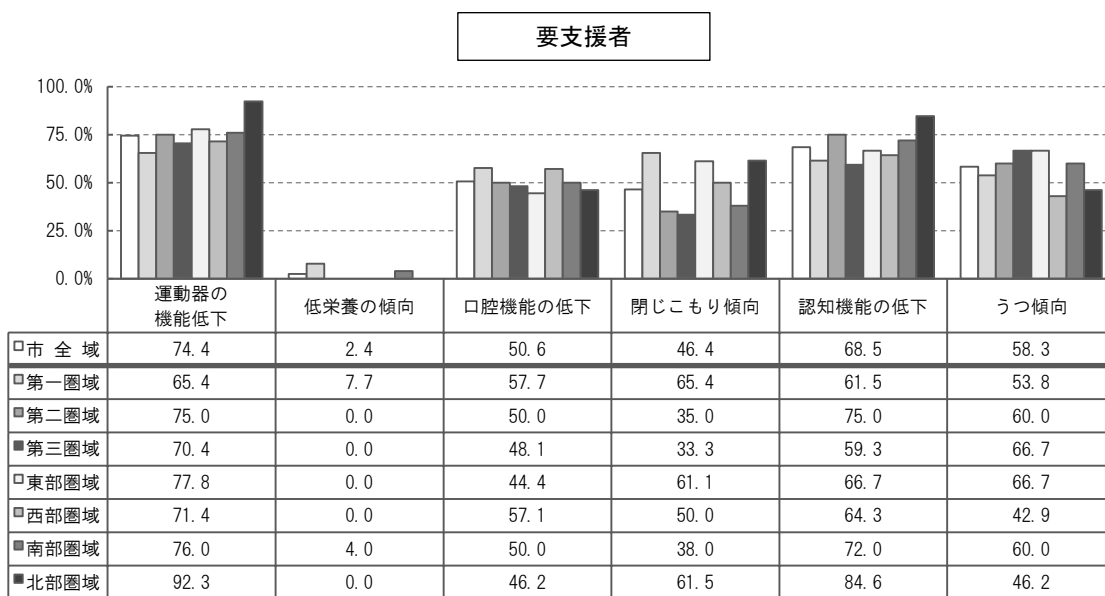
○前回調査と比較すると、閉じこもり傾向で「西部」が8.1ポイント高く、口腔機能の低下では「第一」を除く全ての圏域で高くなっています。

図 4.6 リスクに該当する高齢者の出現率



○要支援者において各リスクに該当する高齢者の出現率をみると、市全域では運動器の機能低下（74.4%）が最も高く、次いで認知機能の低下（68.5%）、うつ傾向（58.3%）、口腔機能の低下（50.6%）、閉じこもり傾向（46.4%）、低栄養の傾向（2.4%）となっています。

○前回調査と比較すると、「東部」は低栄養の傾向を除く全てのリスクで大きく（11.1～29.7ポイント）上昇しています。

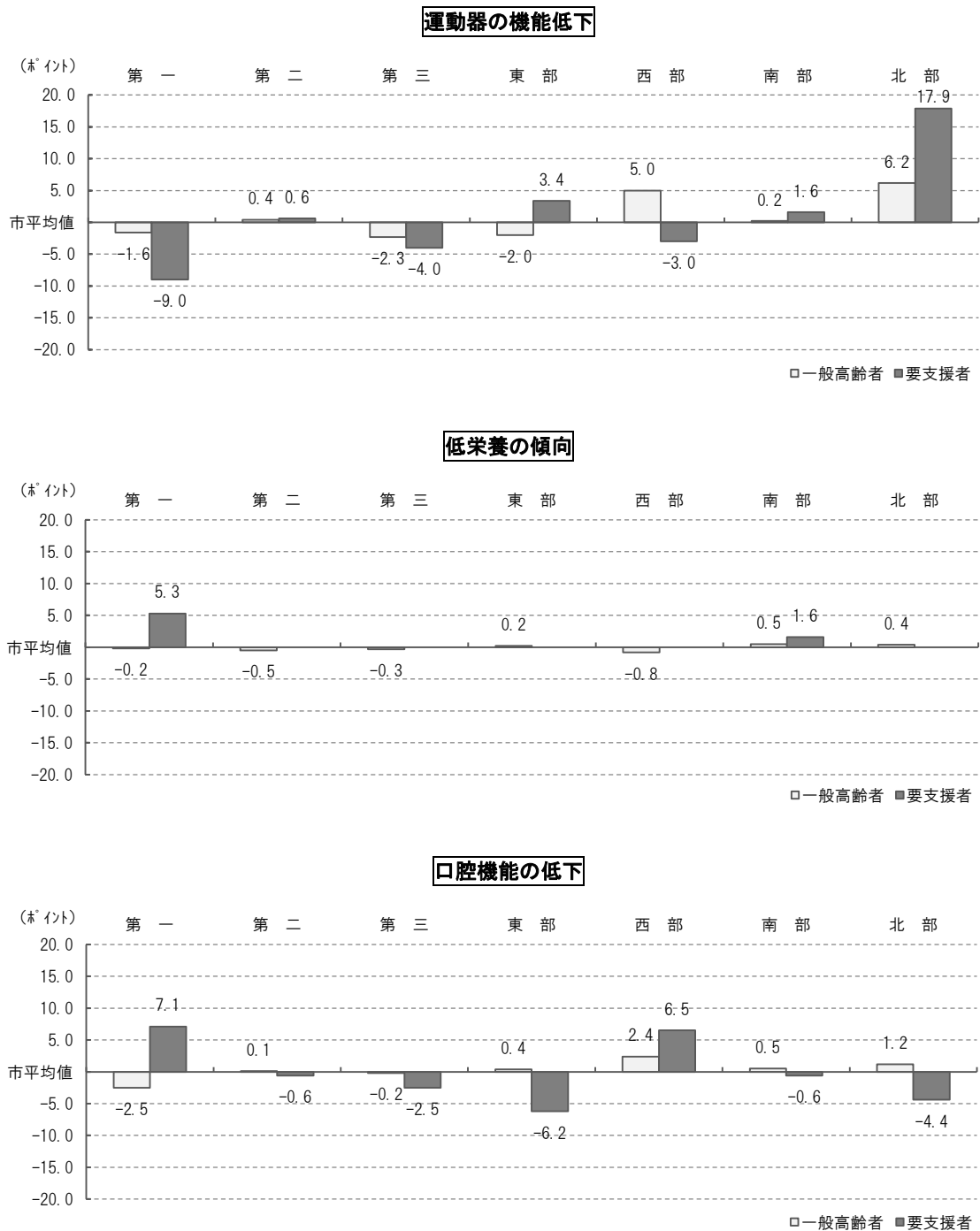


○リスクごとに出現率の地域差をみると、運動器の機能低下リスクは、「北部」で一般高齢者・要支援者ともに高くなっています。

○低栄養の傾向リスクは、「第一」の要支援者で高くなっています。

○口腔機能の低下リスクは、「第一」の要支援者、「西部」は一般高齢者・要支援者ともに高くなっています。

図 4.7 リスク者出現率の地域差

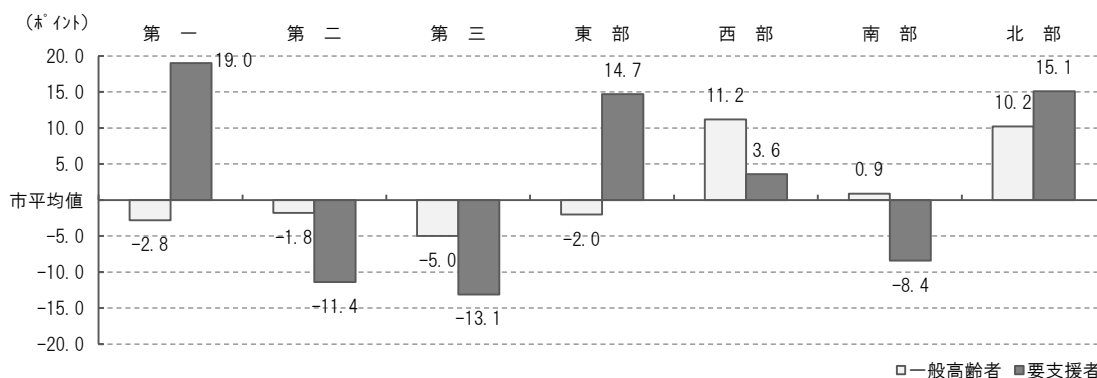


○閉じこもり傾向リスクは、「第一」「東部」の要支援者、「北部」「西部」は一般高齢者・要支援者ともに高くなっています。

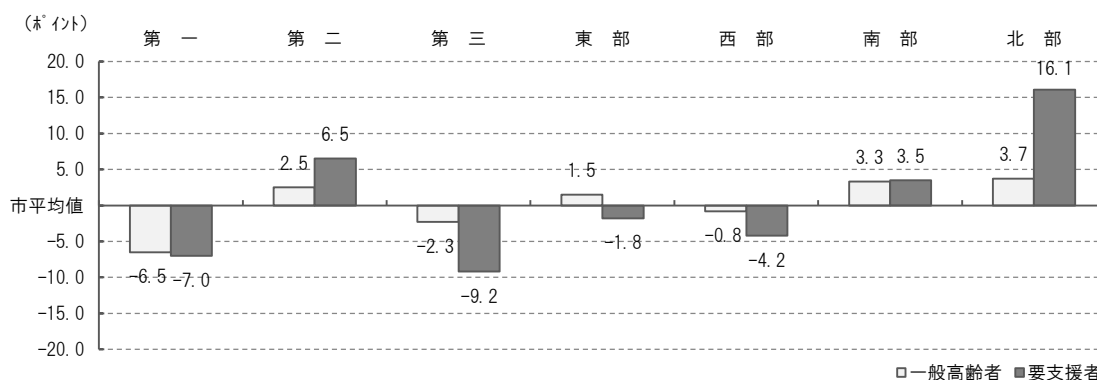
○認知機能の低下リスクは、「北部」「第二」「南部」で一般高齢者・要支援者ともに高くなっています。

○うつ傾向リスクでは、「第三」の要支援者、「東部」「南部」は一般高齢者・要支援者ともに高くなっています。

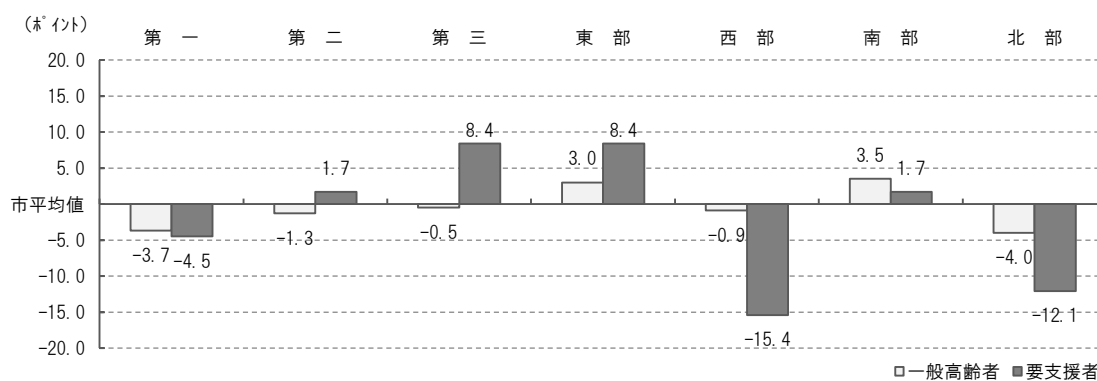
**閉じこもり傾向**



**認知機能の低下**



**うつ傾向**



(3) 生活支援事業対象者の状況

- 生活支援事業対象者の出現率の地域差をみると、一般高齢者は「第三」「南部」「東部」「第二」で市平均値を上回っています。
- 要支援者では「東部」「第二」で市平均値を上回る状況です。
- 圏域別にみると、一般高齢者は「第三」で5.2ポイント高く、要支援者は「東部」で14.8ポイント、「第二」で11.5ポイント高くなっています。

図 4.8 生活支援事業対象者出現率

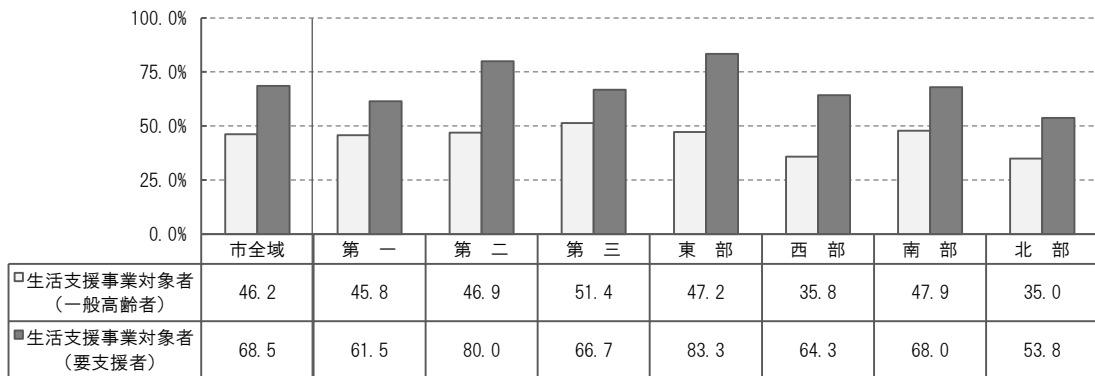
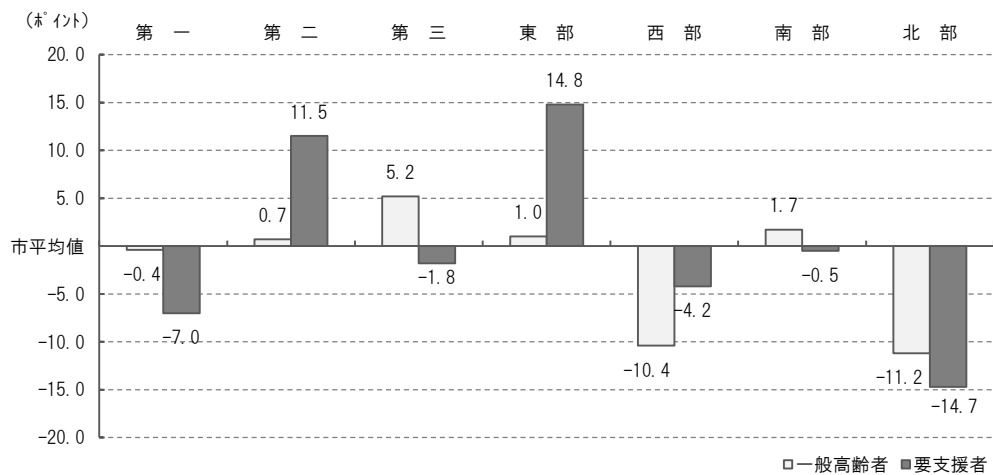


図 4.9 生活支援事業対象者出現率の地域差





#### (4) 生活支援を担う元気高齢者の状況

○一般高齢者において元気高齢者の出現率の地域差をみると、「第一」「東部」「第二」で市平均値を上回り高くなっています。

○元気高齢者の出現率の地域差をみると、「第一」で1.2ポイント、「東部」で0.9ポイント、「第二」で0.3ポイント市平均値より高く、最も低い「西部」で1.1ポイント市平均値より低くなっています。

図 4.10 元気高齢者出現率

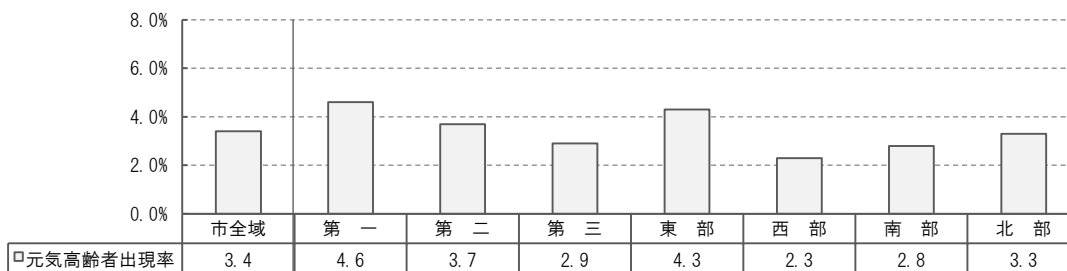
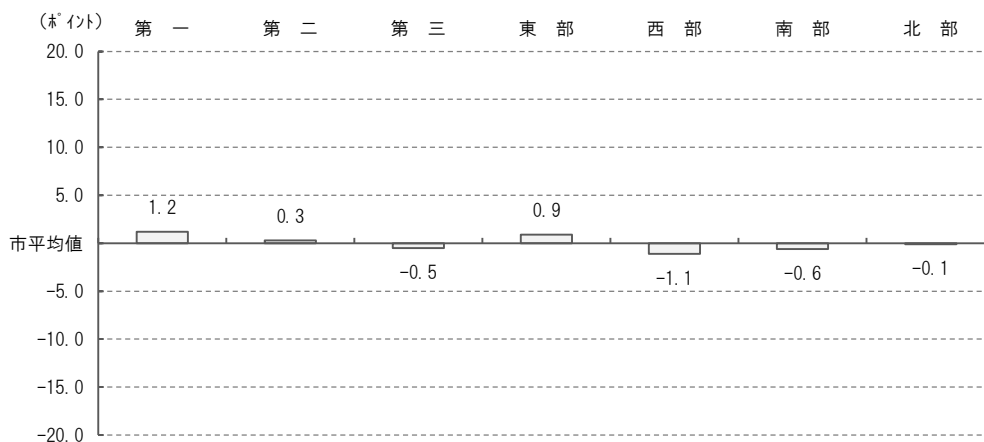


図 4.11 元気高齢者出現率の地域差



### 3 認知症高齢者に関する出現率と地域差

#### (1) 認知機能低下者の状況

- 認知機能低下者の出現率の地域差をみると、一般高齢者は「西部」「北部」「南部」「第二」で市平均値を上回っています。
- 要支援者では「第一」「第二」「南部」「東部」で市平均値を上回る状況です。
- 圏域別にみると、一般高齢者は「西部」で5.6ポイント高く、要支援者は「第一」で7.7ポイント、「第二」で7.3ポイント高くなっています。

図 4.12 認知機能低下者の出現率

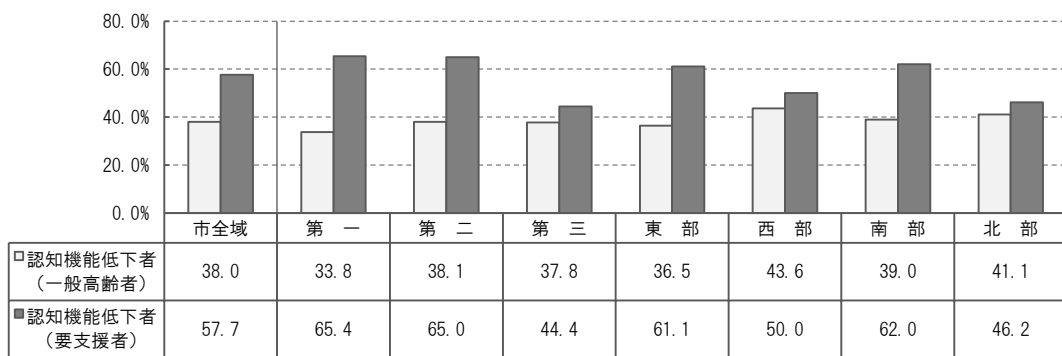
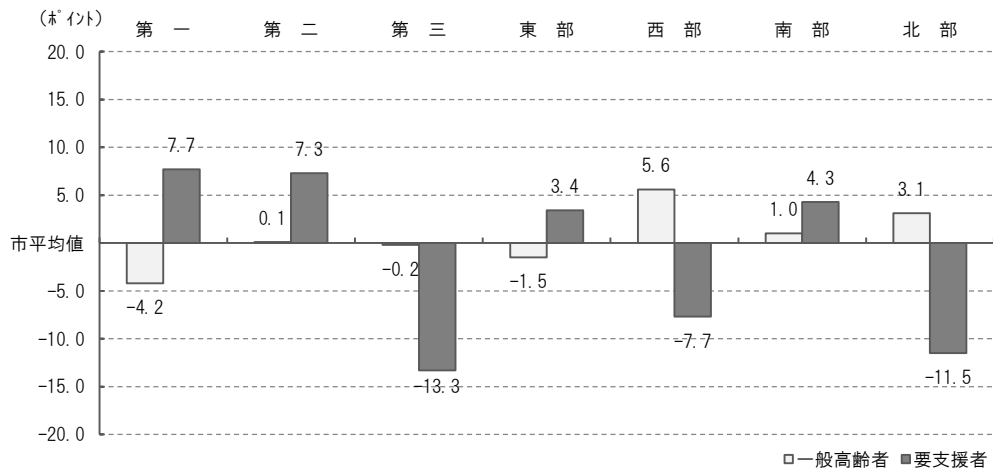


図 4.13 認知機能低下者出現率の地域差



## 4 地域資源等の把握

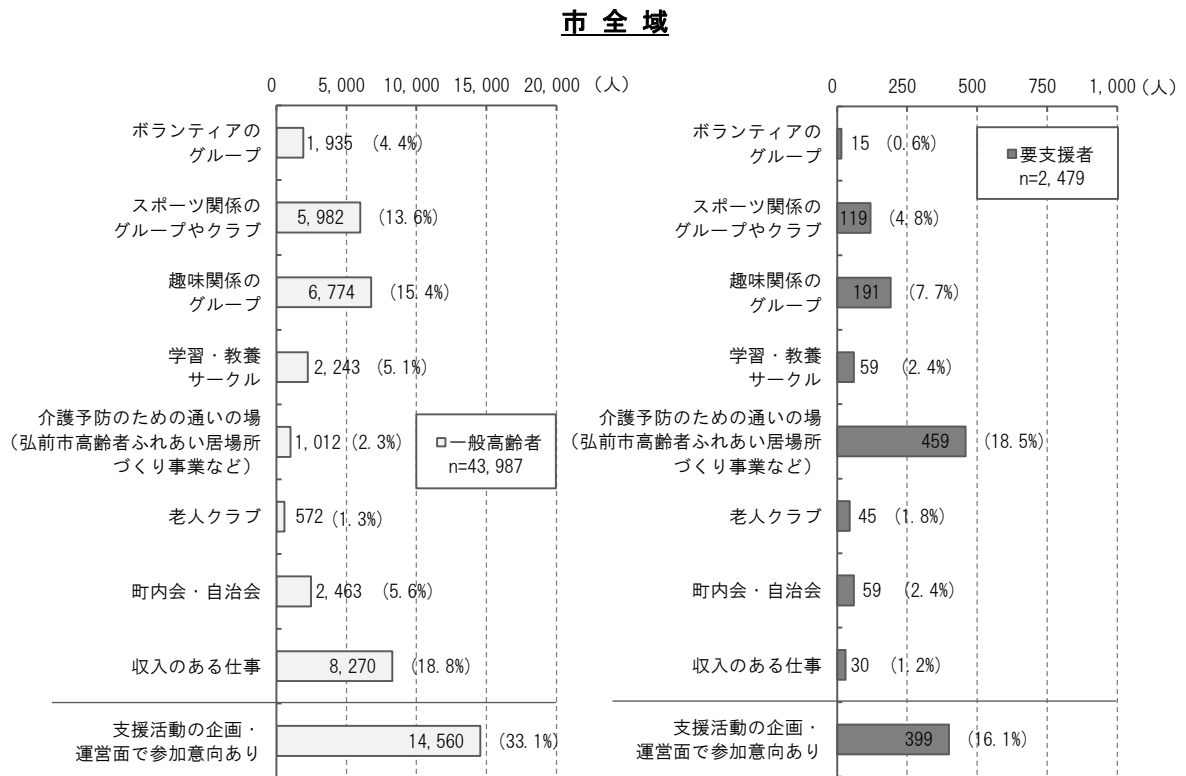
### (1) 地域活動への参加状況

○一般高齢者の地域活動への参加状況をみると、市全域は「収入のある仕事」「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」(18.8～13.6%)で割合が高く、「北部」を除く圏域で順位の前後はあるものの「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「収入のある仕事」が上位に入っています。

○一方、要支援者は「介護予防のための通いの場」(29.6～7.1%)が高くなっています。

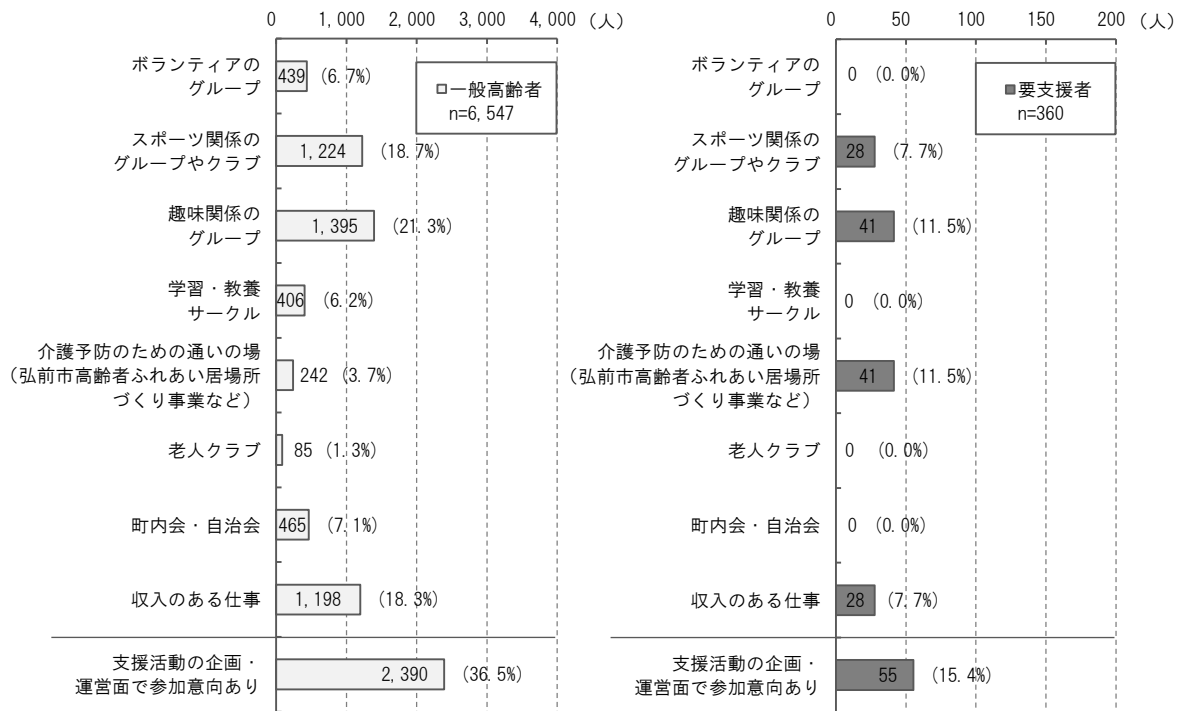
○支援活動の企画・運営面での参加希望を圏域別にみると、一般高齢者は「第一」「南部」「東部」(36.5%・34.7%・34.1%)が市全域(33.1%)より高く、要支援者は「第二」「東部」(25.0%・22.2%)が市全域(16.1%)より高くなっています。

図 4.14 高齢者の活動状況と企画運営支援意向 (推計)

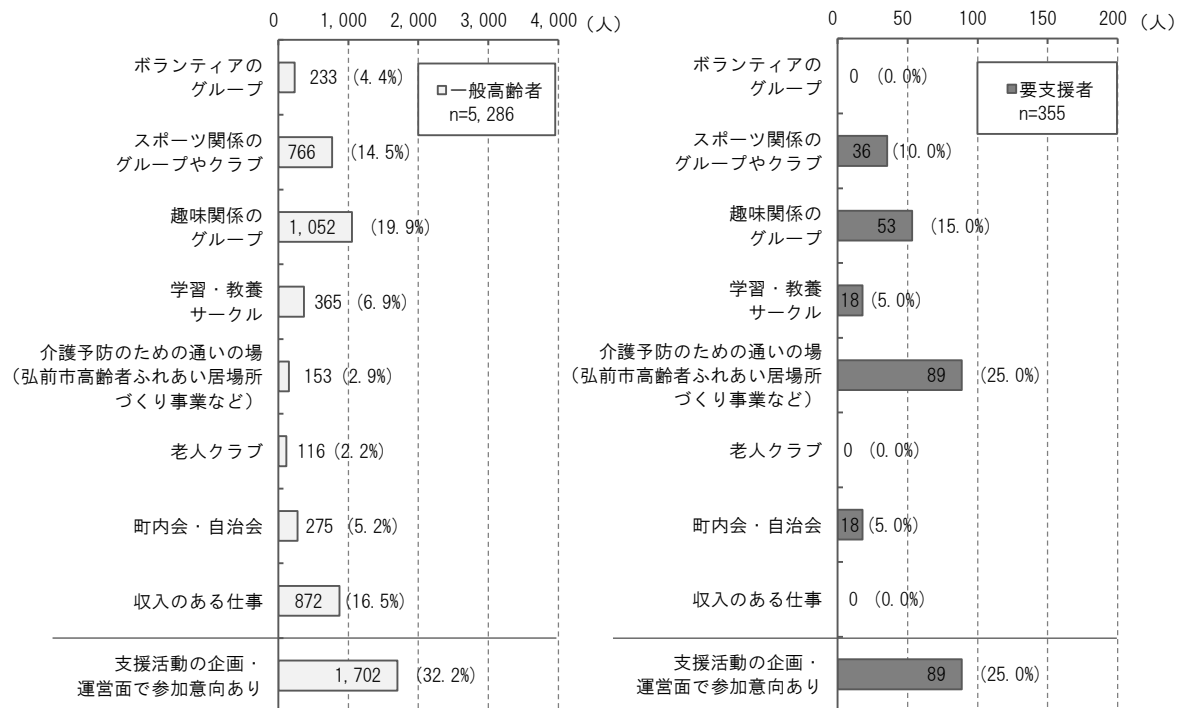


※問5(1)①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5(3)支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

第一圏域

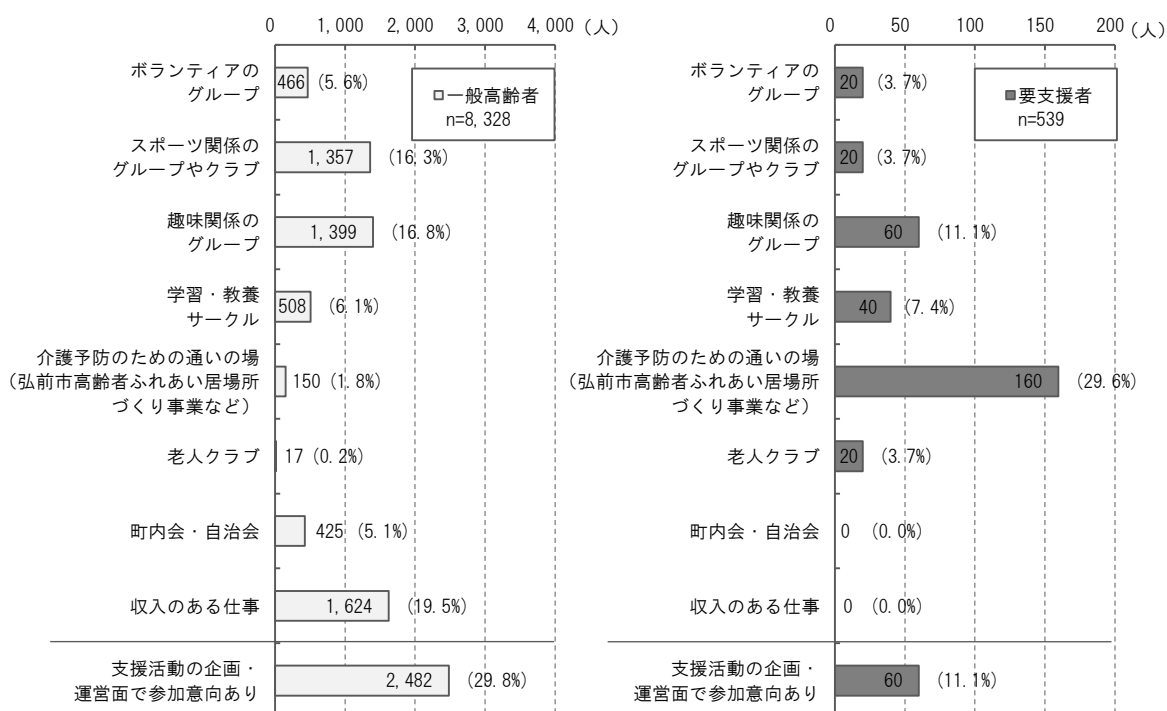


第二圏域

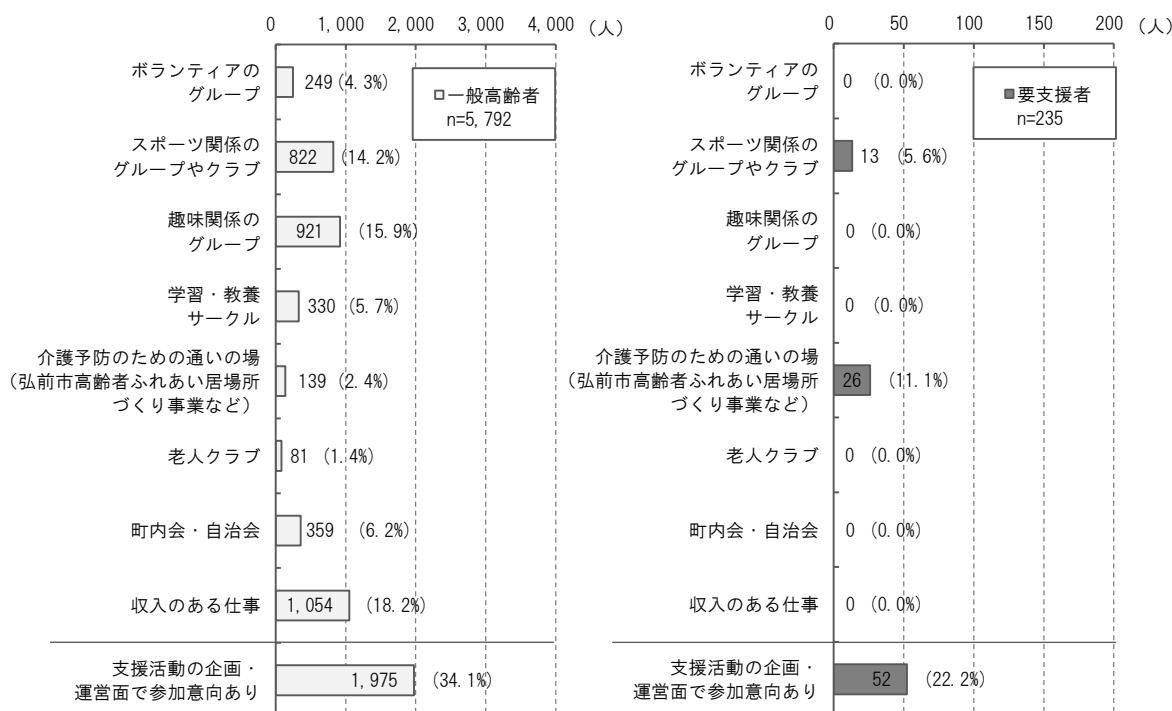


※問5 (1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5 (3) 支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

第三圏域

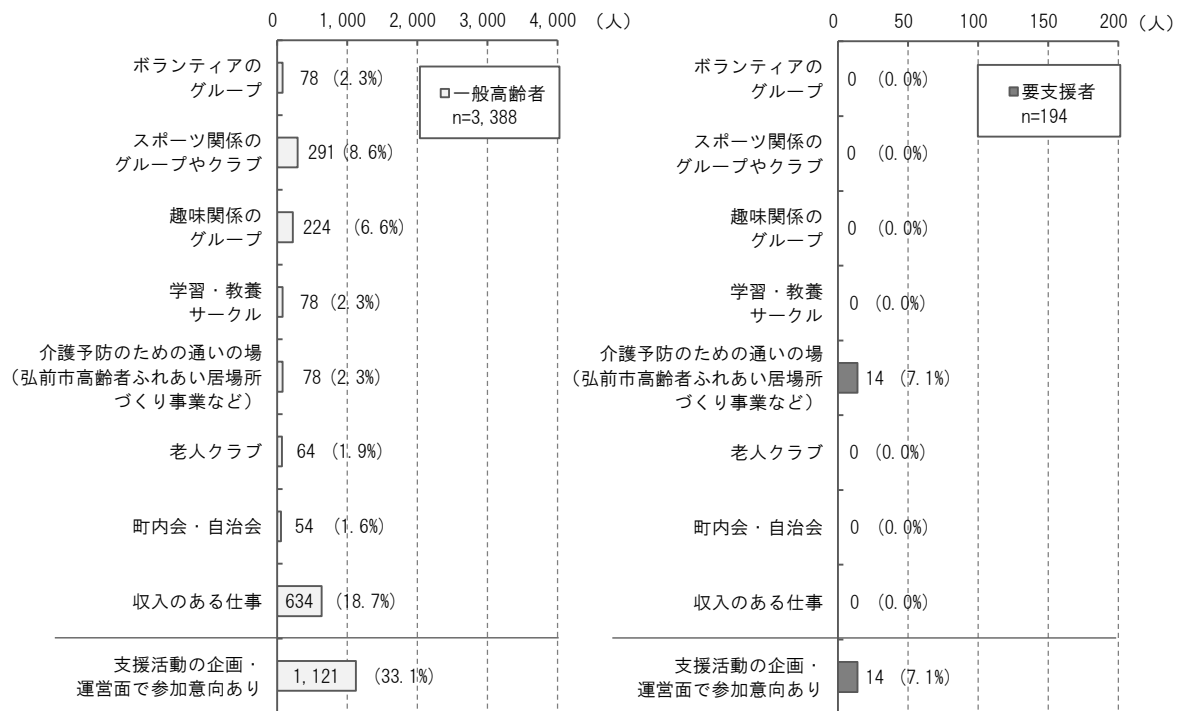


東部圏域

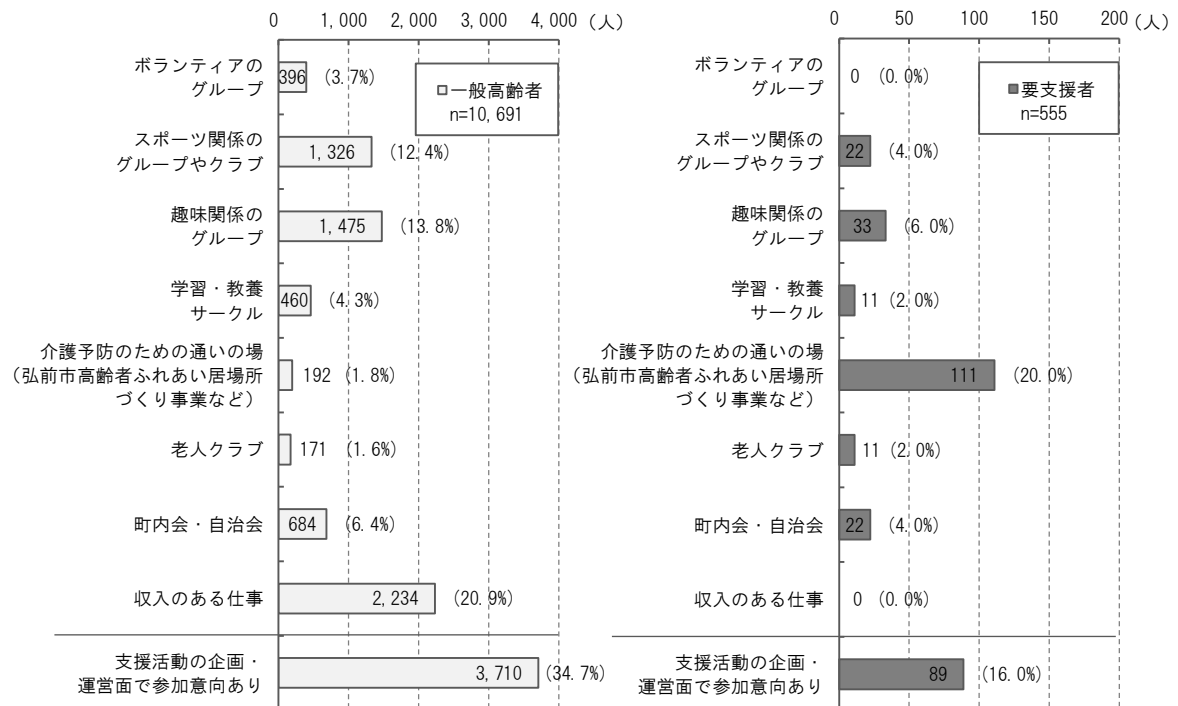


※問5 (1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5 (3) 支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

西部圏域

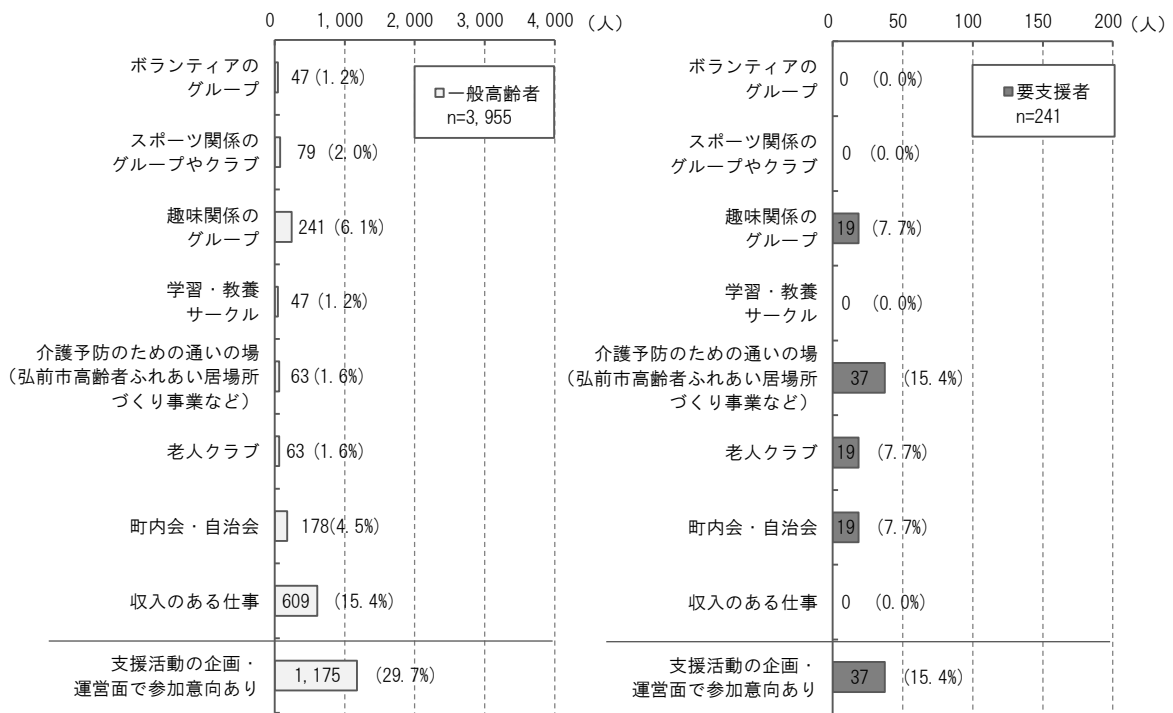


南部圏域



※問5(1)①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5(3)支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

北部圏域

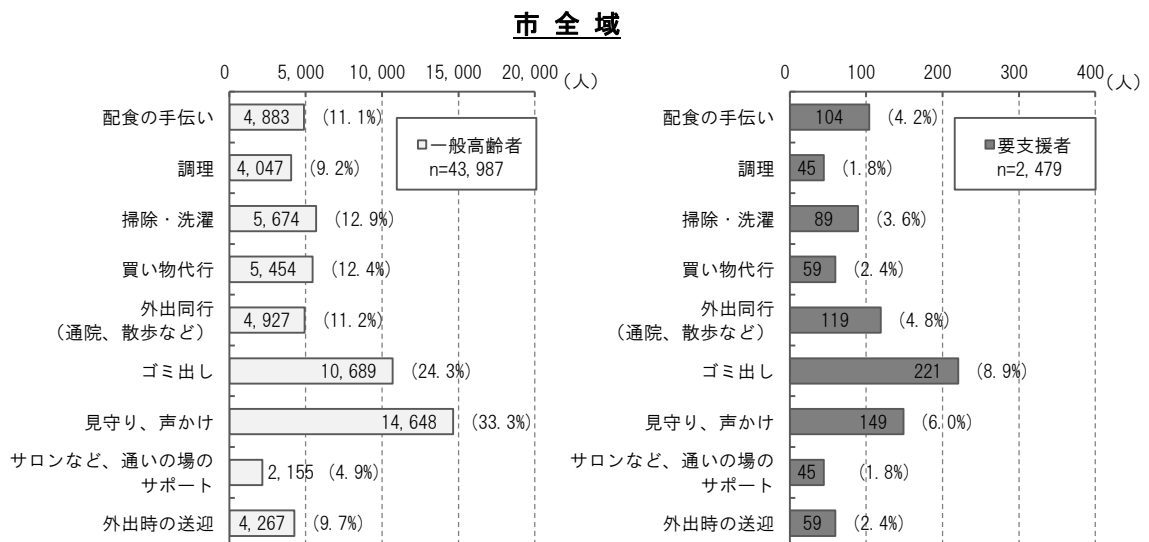


※問5(1)①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5(3)支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの(サービス)

〇地域でできると回答した支援をみると、市全域の一般高齢者は「見守り、声かけ」(33.3%)、「ゴミ出し」(24.3%)、「掃除・洗濯」(12.9%)、「買い物代行」(12.4%)、要支援者でも「ゴミ出し」(8.9%)、「見守り、声かけ」(6.0%)で支援意向が高くなっています。

図 4.15 高齢者の地域支援意向(推計)

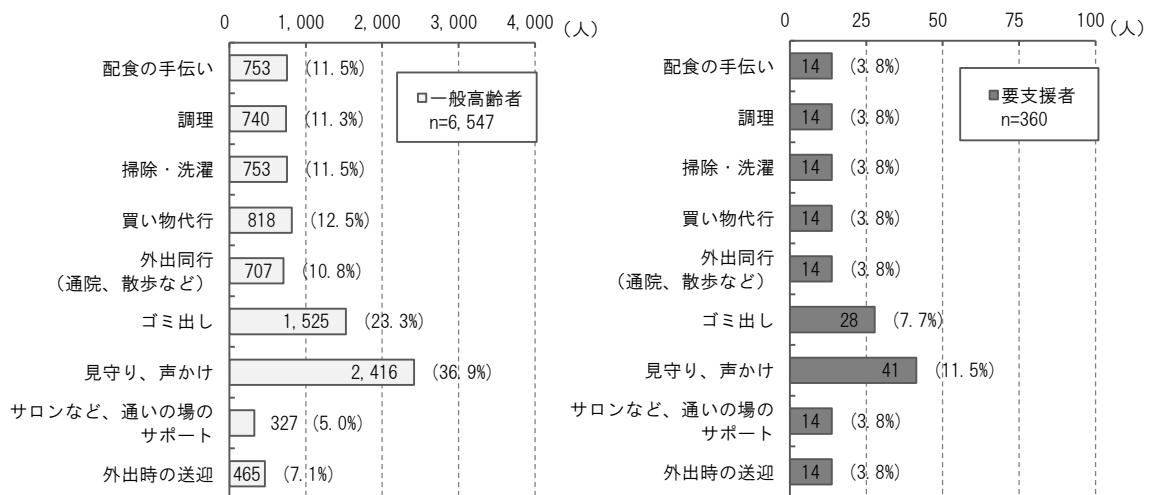


○地域でできると回答した支援を圏域別にみると、一般高齢者は全ての圏域で「見守り、声かけ」(36.9~26.8%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(28.4~19.5%)となっています。

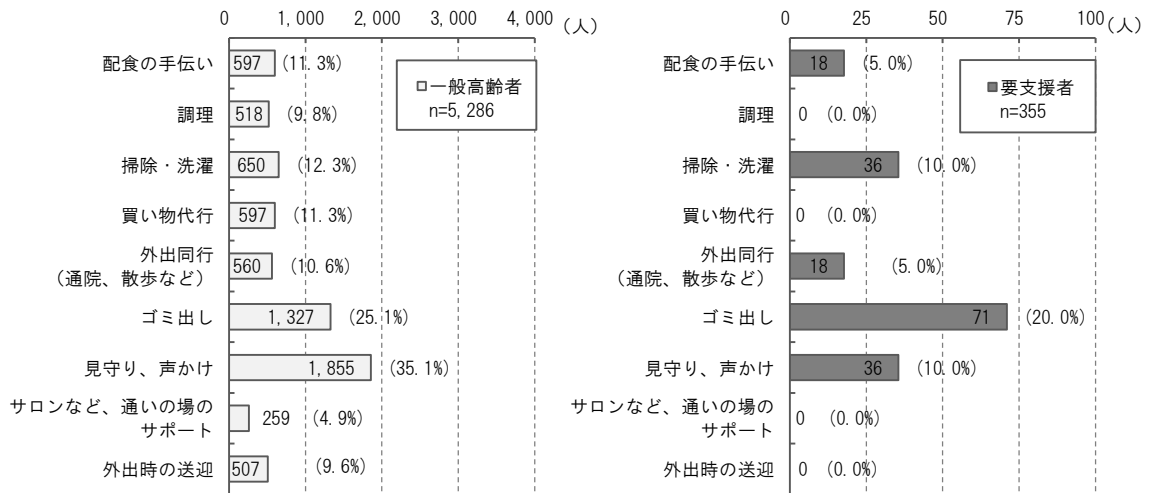
○要支援者では「第二」「東部」「第三」は「ゴミ出し」、「第一」は「見守り、声かけ」、「北部」は「外出同行(通院、散歩など)」、「南部」は「配食の手伝い」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」が最も高くなっています。

(「西部」は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

**第一圏域**

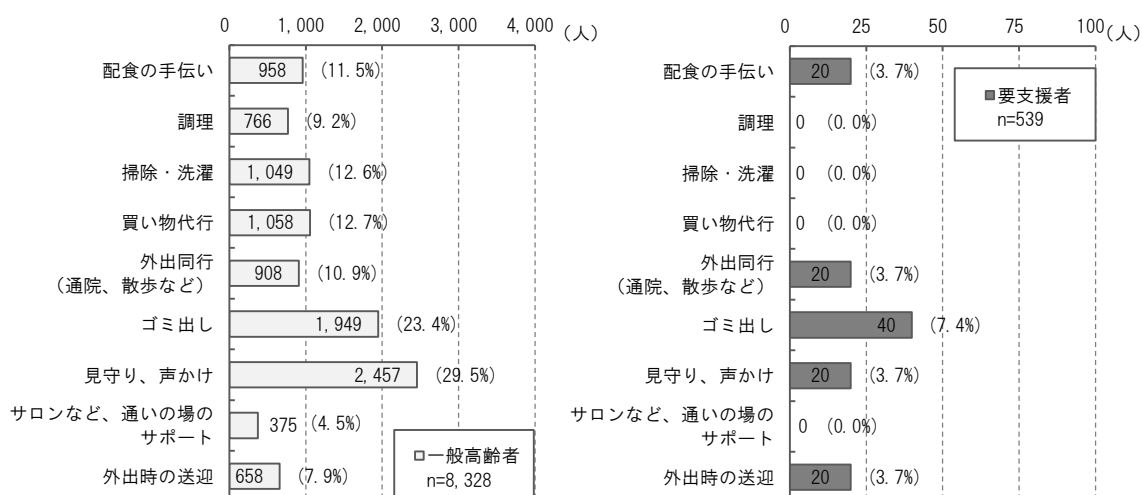


**第二圏域**

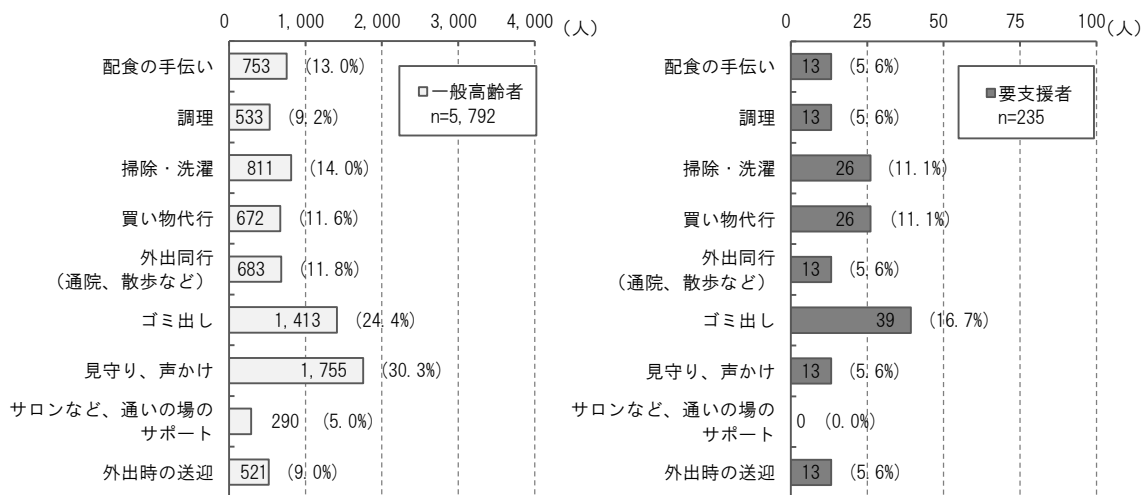




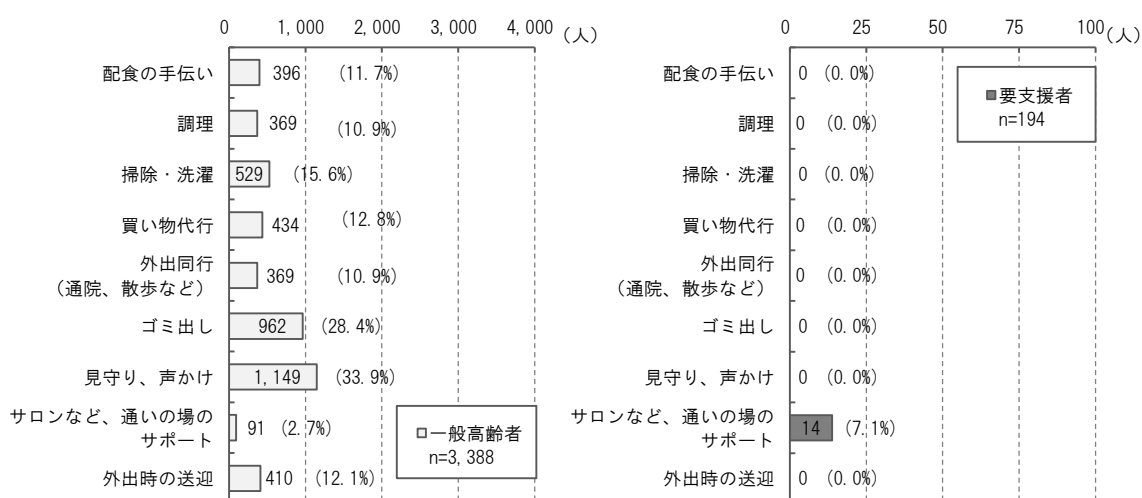
第三圏域



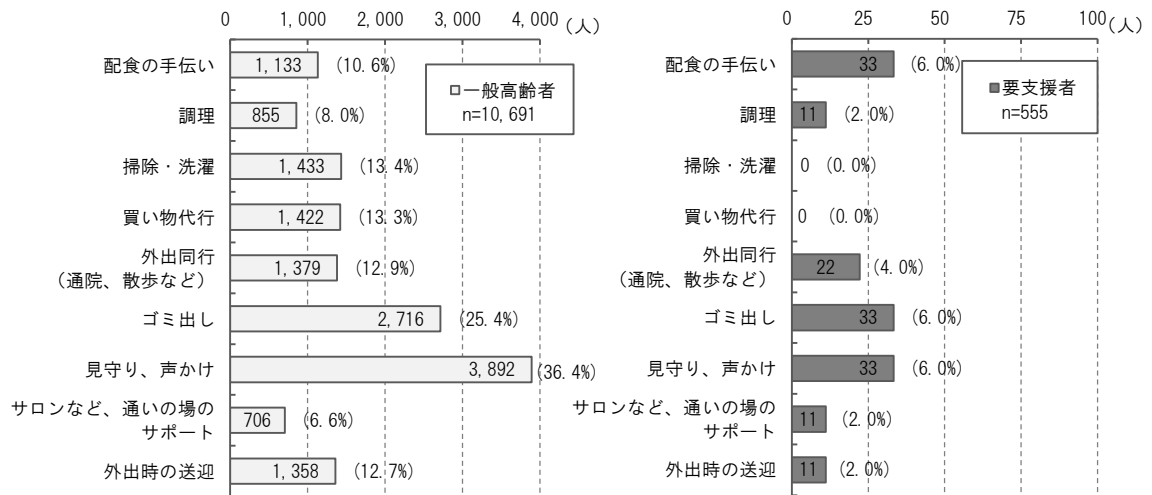
東部圏域



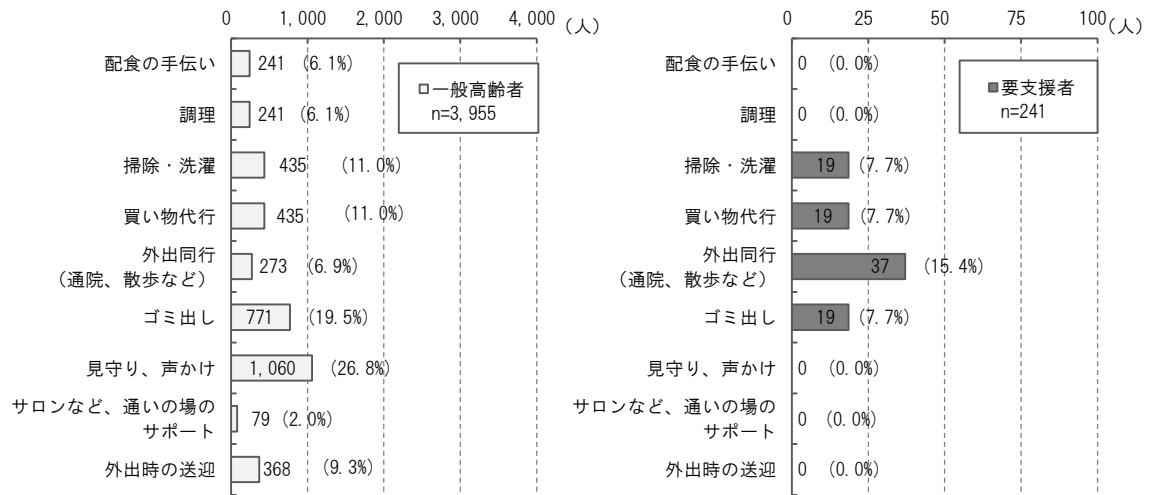
西部圏域



南部圏域



北部圏域



### (3) 社会参加と生きがい

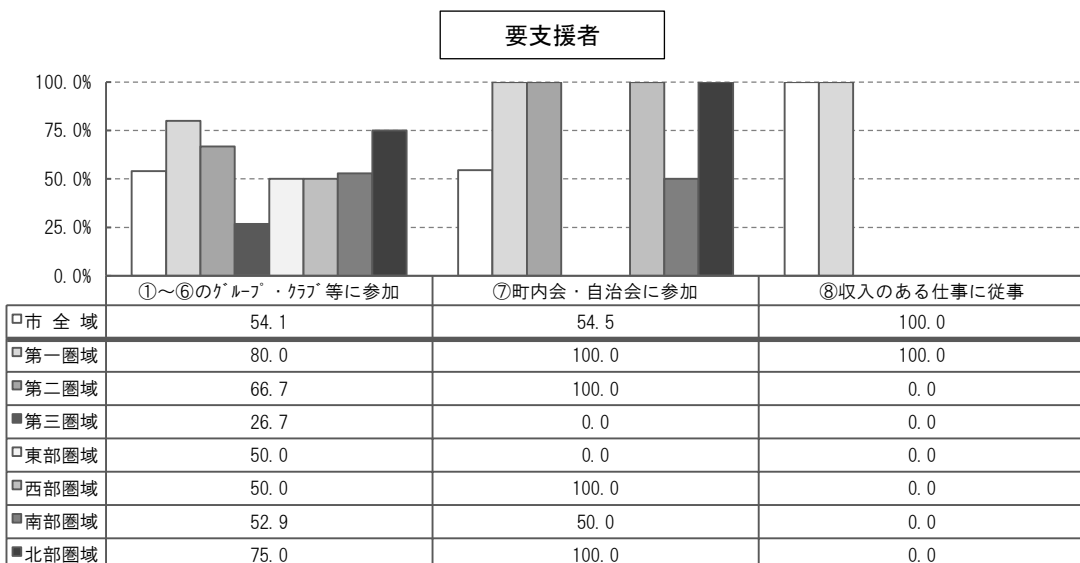
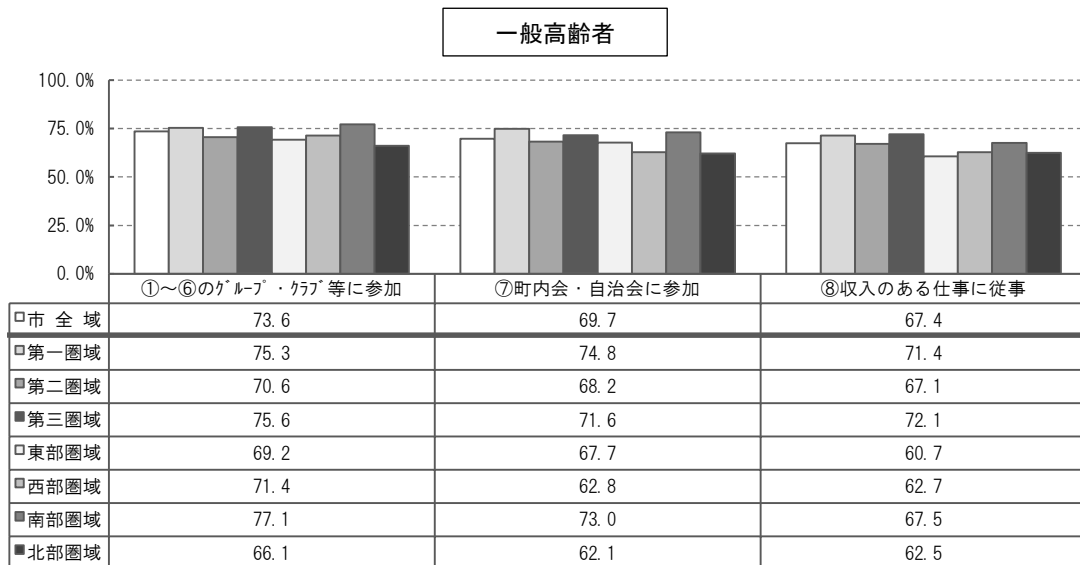
○参加している地域活動の種類別に生きがい感をみると、一般高齢者の市全域は「①～⑥のグループ・クラブ等」、「⑦町内会・自治会」、「⑧収入のある仕事」の順に73.6～67.4%が生きがいを感じていると回答しています。

○一方、要支援者では「①～⑥のグループ・クラブ等」(54.1%)で生きがいを感じていると回答し、一般高齢者と比較して割合は低くなっています。

○圏域別にみると、一般高齢者は「①～⑥のグループ・クラブ等」は「南部」(77.1%)、「⑦町内会・自治会」は「第一」(74.8%)、「⑧収入のある仕事」は「第三」(72.1%)、要支援者では「①～⑥のグループ・クラブ等」の「北部」(75.0%)で最も高くなっています。

(要支援者の「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

図 4.16 地域活動参加者が生きがいを感じている割合



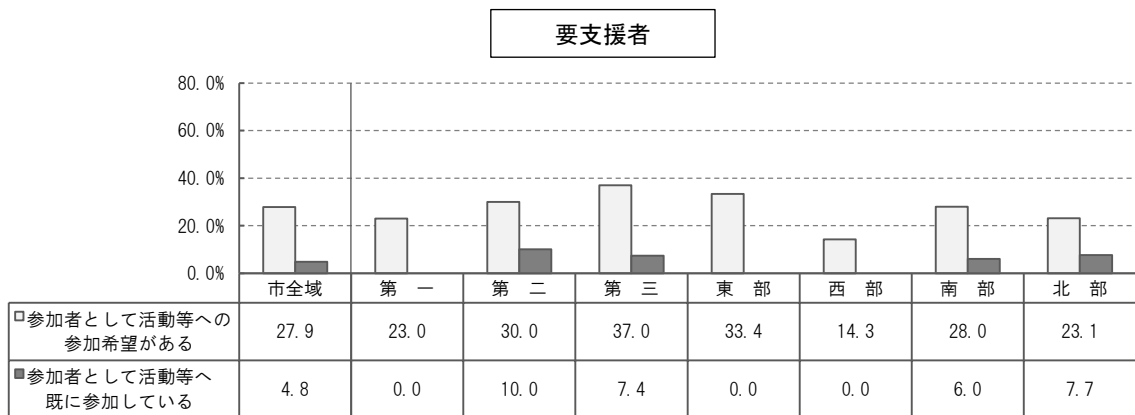
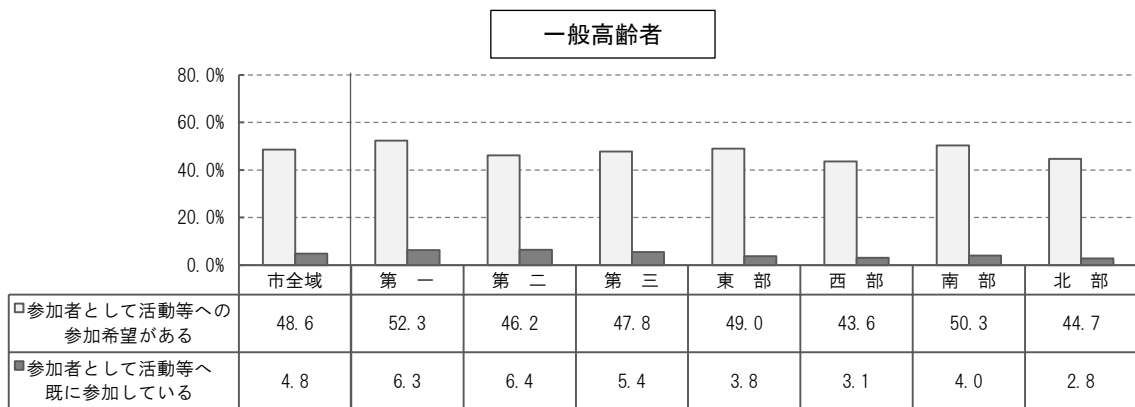
○参加者として地域活動に対する参加意向をみると、一般高齢者の「参加者として活動等への参加希望がある」は、「第一」「南部」「東部」(52.3~49.0%)で市全域(48.6%)より高くなっています。

○要支援者の「参加者として活動等への参加希望がある」は、「第三」「東部」「第二」「南部」(37.0~28.0%)で市全域(27.9%)より高くなっています。

○また、「既に参加している」をみると、一般高齢者は「第二」「第一」「第三」(6.4~5.4%)が市全域(4.8%)より高くなっています。

(要支援者は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

図 4.17 地域活動に参加者としての参加意向



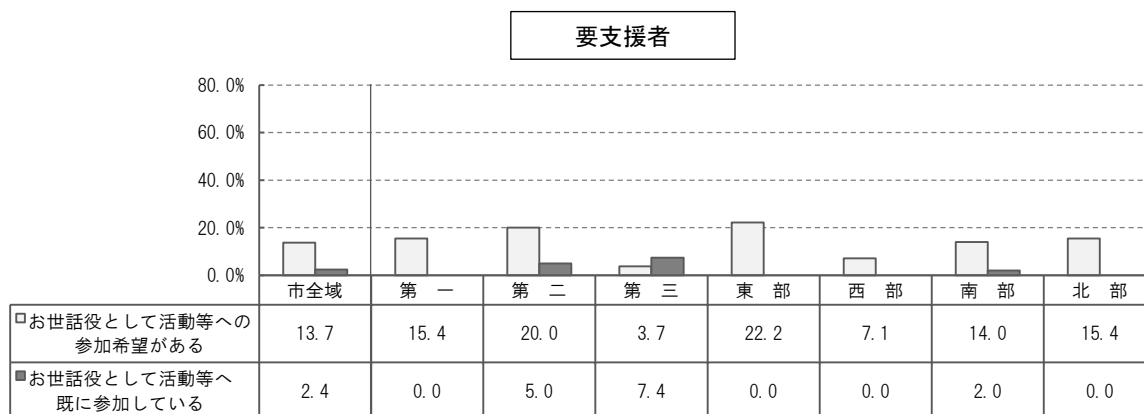
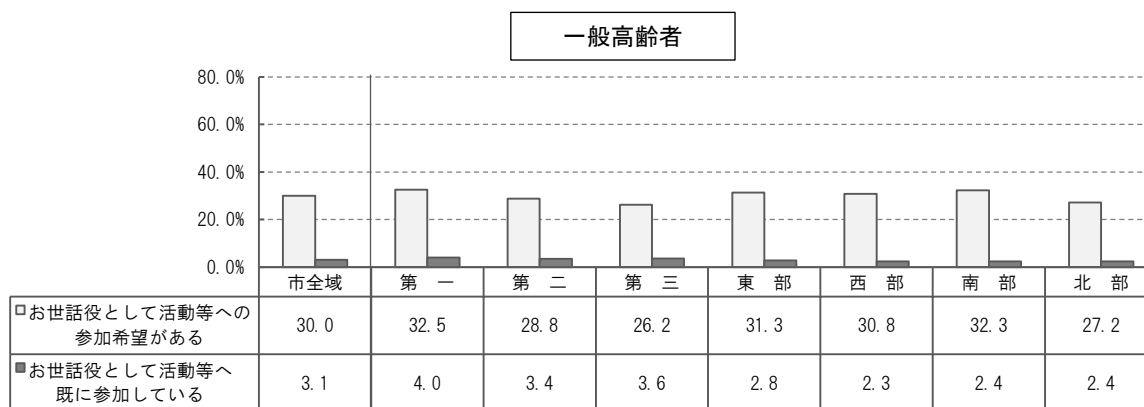
○地域活動にお世話役としての参加意向をみると、一般高齢者の「お世話役として活動等への参加希望がある」は「第一」「南部」「東部」「西部」(32.5~30.8%)で市全域(30.0%)より高くなっています。

○要支援者の「お世話役として活動等への参加希望がある」は「東部」「第二」「第一」「北部」「南部」(22.2~14.0%)で市全域(13.7%)より高くなっています。

○また、「既に参加している」をみると、一般高齢者は「第一」「第三」「第二」(4.0~3.4%)で市全域(3.1%)より高くなっています。

(要支援者は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

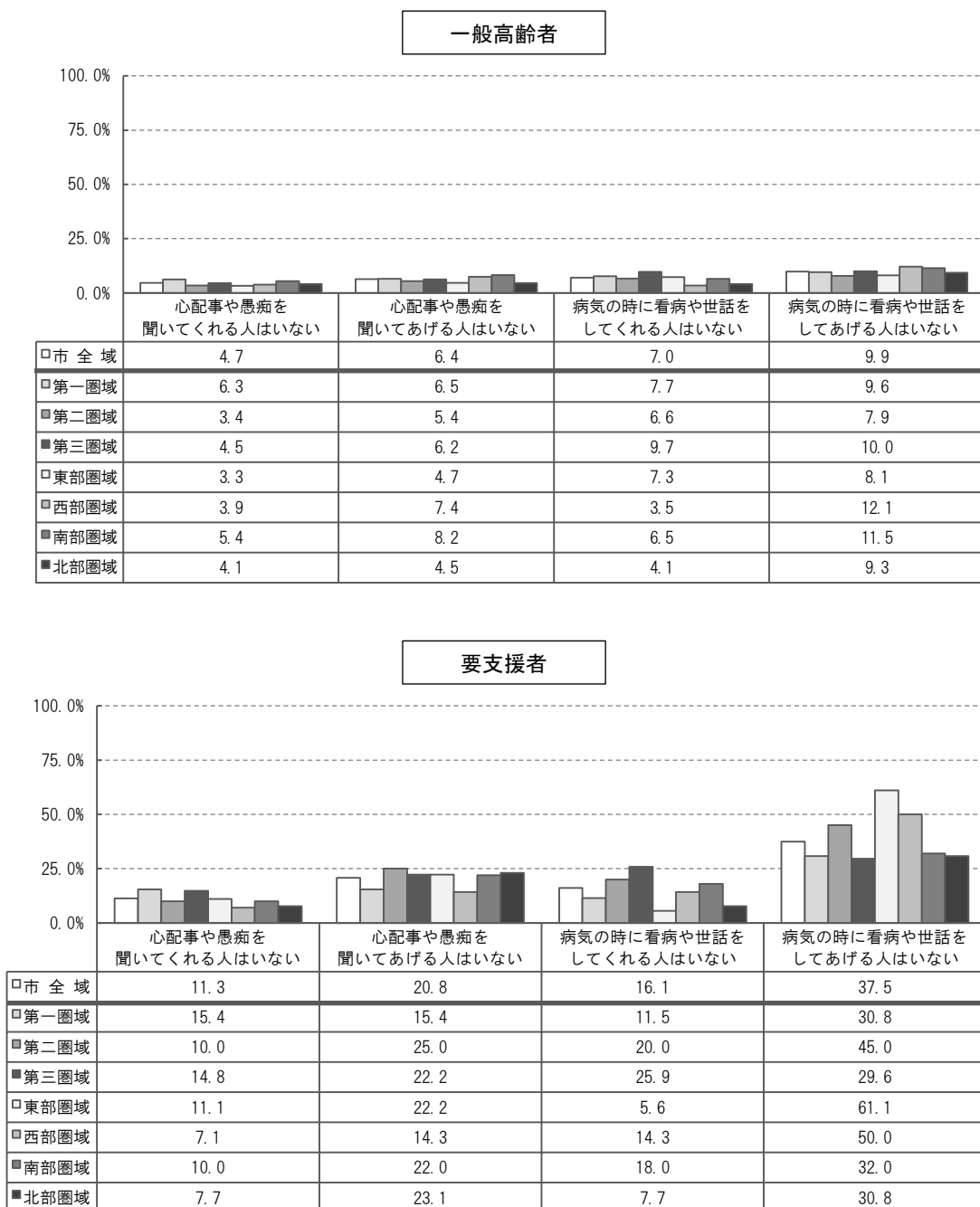
図 4.18 地域活動にお世話役としての参加意向



○たすけあいの状況をみると、一般高齢者の市全域では「病気の時に看病や世話をしてくれる人／あげる人がいない」(7.0%・9.9%)、「心配事や愚痴を聞いてくれる人／あげる人がいない」(4.7%・6.4%)となっています。一方で、要支援者は全ての項目で一般高齢者を上回る状況です。

○圏域別にみると、一般高齢者・要支援者ともに「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」は「第一」(6.3%・15.4%)、「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」は「第三」(9.7%・25.9%)で最も高くなっています。

図 4.19 たすけあいの状況



※問6(1)～(4)で、「いない」と回答した割合です。

#### (4) 高齢者の公共交通機関の利用状況

○外出する際の公共交通機関の利用率は、市全域の一般高齢者で24.9%、要支援者で13.7%となっています。

○圏域別にみると、一般高齢者は「第三」「東部」「第一」「第二」(34.5~25.6%)で市全域(24.9%)より高くなっています。

○要支援者では、「第三」「東部」「第二」「南部」(22.2~14.0%)で市全域(13.7%)より高くなっています。

図 4.20 高齢者の公共交通利用率

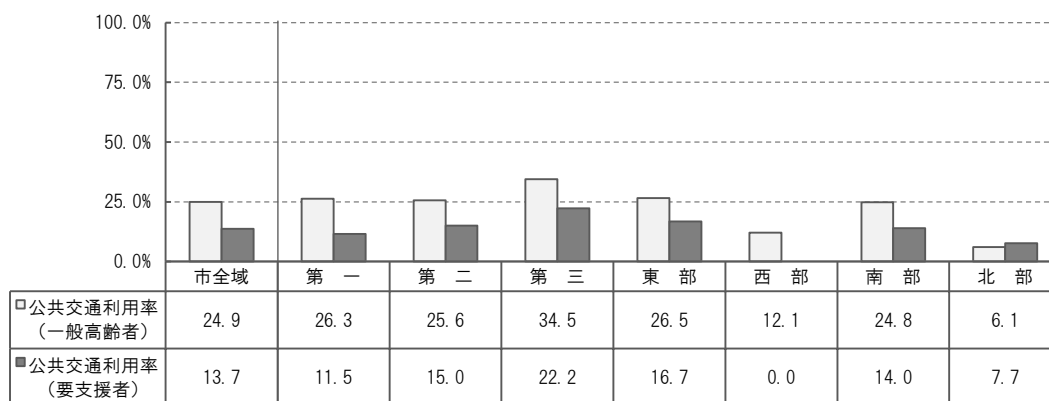
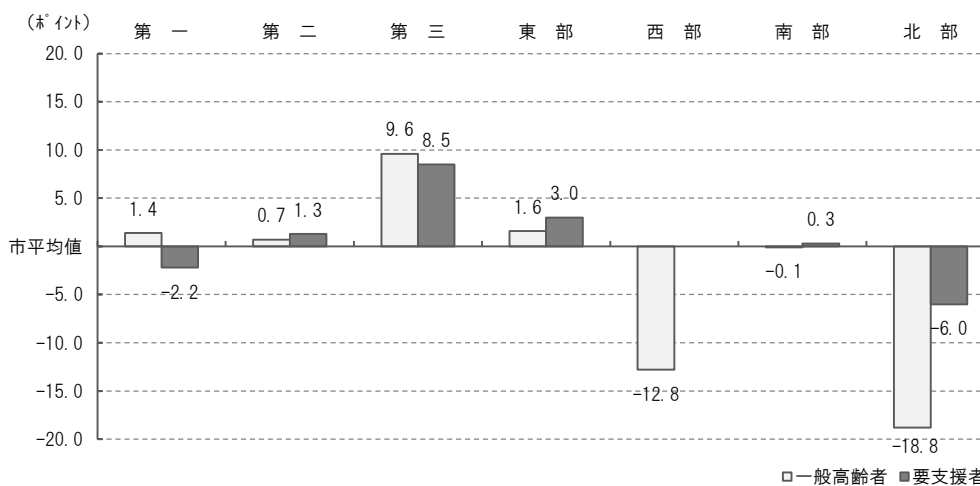
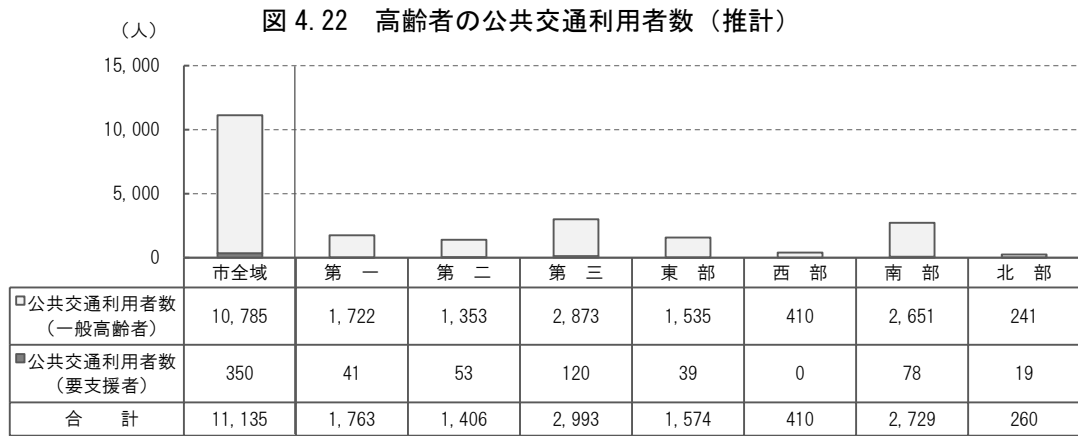


図 4.21 高齢者の公共交通利用率の地域差



○公共交通利用者数の推計人数をみると、市全域は一般高齢者で10,785人、要支援者で350人になると予測されます。





## 5 健康について

### (1) 高齢者の健康感や幸福感

#### ① 一般高齢者の主観的健康感

○一般高齢者の主観的健康感をみると、市全域では「まあよい」(67.0%)が最も高く、次いで「あまりよくない」(18.0%)、「とてもよい」(9.9%)となり、圏域別でも同様の状況となっています。

○また、主観的健康感で「あまりよくない」と「よくない」の合計を圏域別にみると、「北部」「南部」「第二」(2.7~1.4<sup>ポイント</sup>)は市平均値より高く、「第一」「西部」「第三」「東部」(2.3~1.5<sup>ポイント</sup>)は低くなっています。

図 4.23 主観的健康感

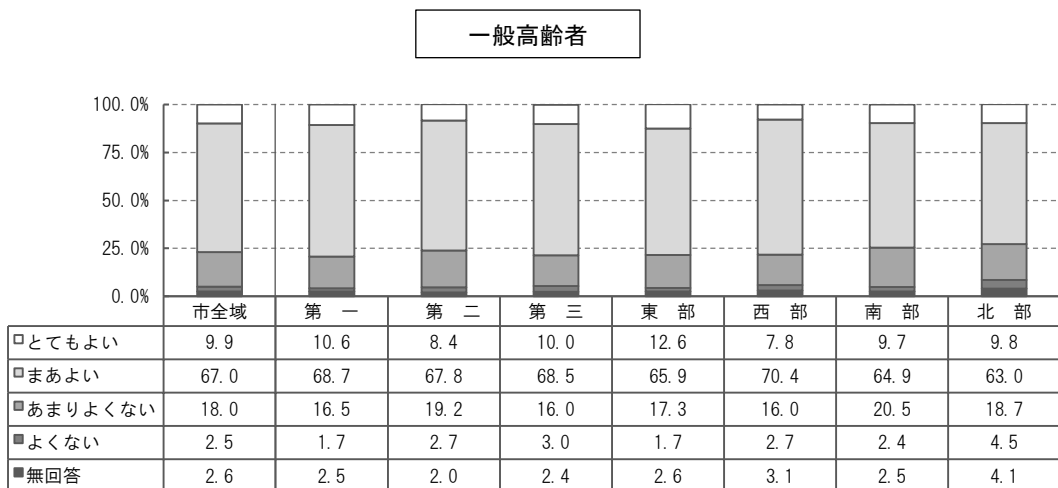
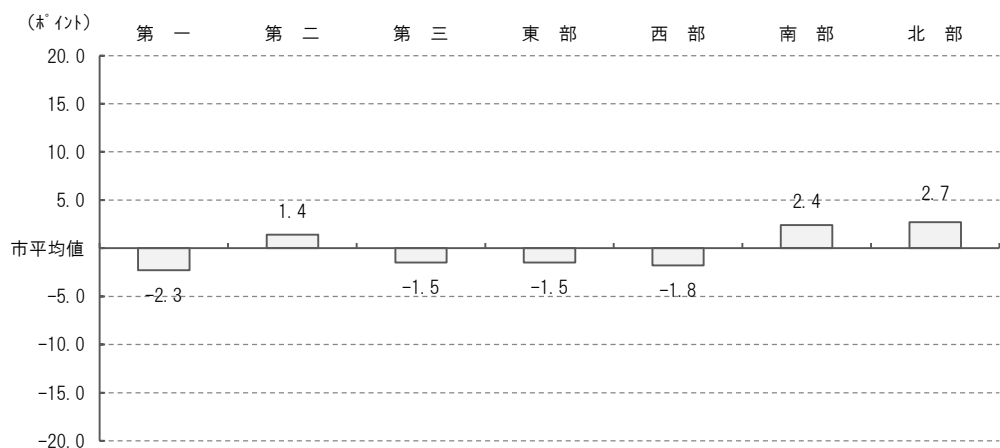


図 4.24 主観的健康感（「あまりよくない」+「よくない」）の地域差



## ② 主観的幸福感

○主観的幸福感の平均点数をみると、市全域の一般高齢者は6.8点、要支援者は6.1点となっています。

○圏域別でみると、一般高齢者は「西部」で0.3ポイント、「北部」で0.2ポイント市全域より低くなっています。

○一方、要支援者では「東部」で0.7ポイント、「南部」で0.6ポイント市全域より低くなっています。

図 4.25 主観的幸福感（平均点数）

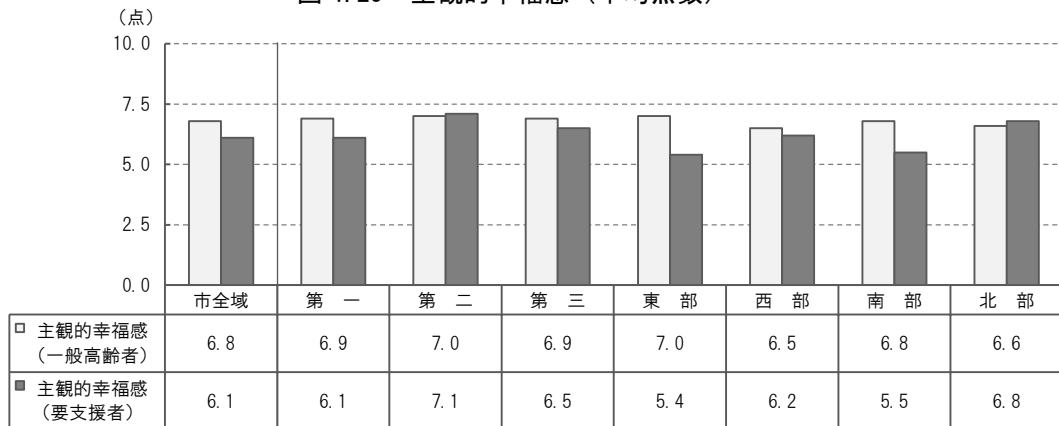
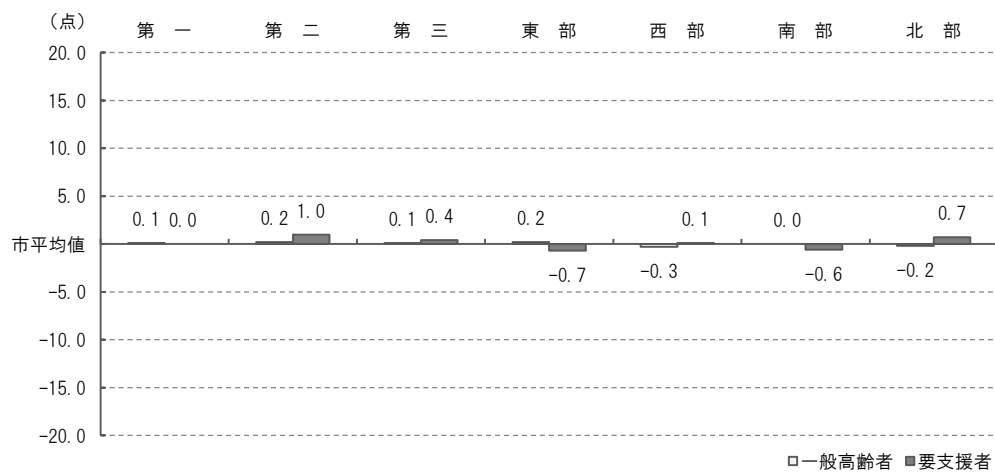


図 4.26 主観的幸福感の地域差



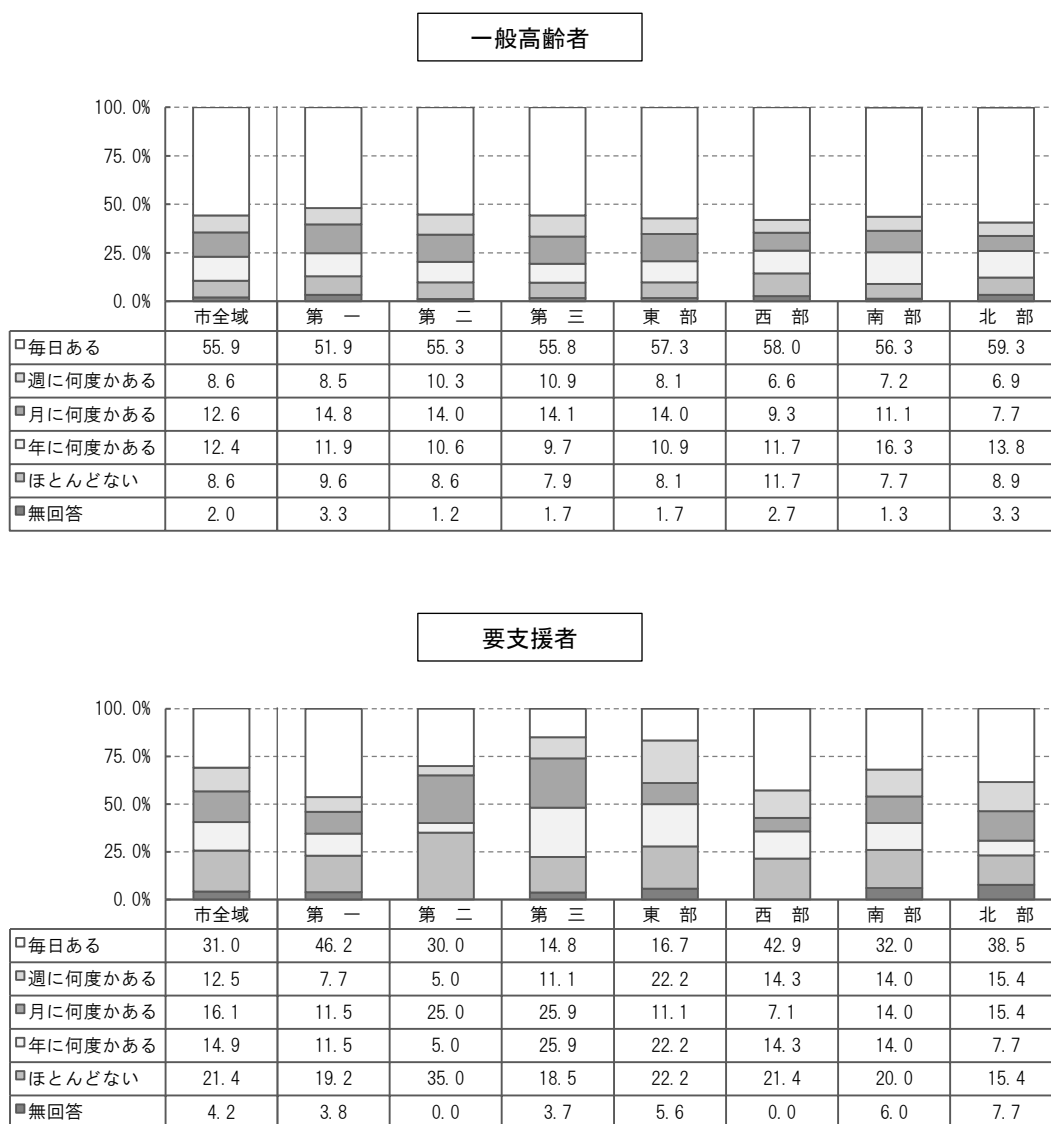
## (2) 誰かとともに食事をする頻度

○誰かとともに食事をする頻度をみると、一般高齢者の市全域は「毎日ある」(55.9%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(12.6%)、「年に何度かある」(12.4%)となっています。

○圏域別にみると、いずれの圏域も「毎日ある」(59.3~51.9%)が最も高く、「北部」「西部」「東部」「南部」は市平均値を上回っています。

○要支援者の市全域では「毎日ある」(31.0%)が最も高く、次いで「ほとんどない」(21.4%)、「月に何度かある」(16.1%)となっています。

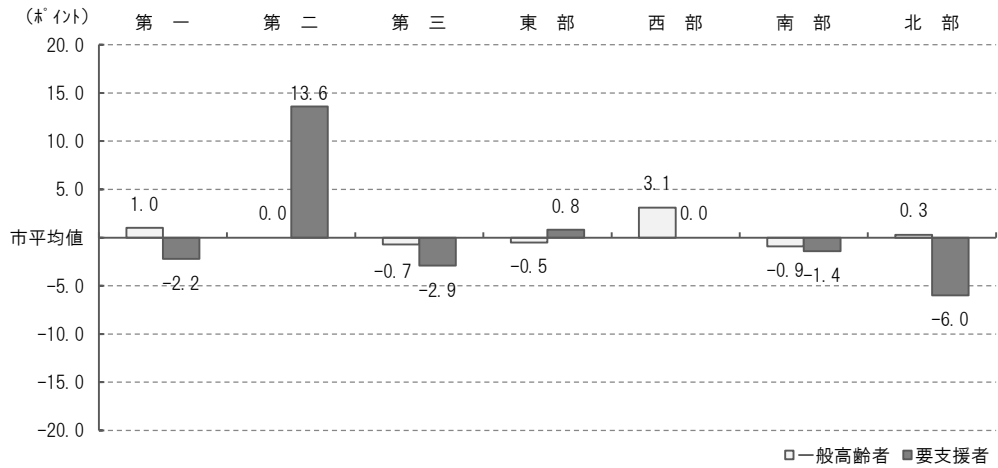
図 4.27 誰かとともに食事をする頻度



○「ほとんどない」と回答した方の地域差をみると、一般高齢者は「西部」「第一」「北部」で市平均値を上回っています。

○一方、要支援者では「第二」で市平均値を大きく上回っています。

図 4.28 誰かとともに食事をしない回答者の地域差



# 資料編



## 資料編

## 1 電算処理の判定条件等

集計等の電算処理にあたっては、以下の判定条件に基づいて行いました。

■高齢者像の判定条件（該当設問に無回答があれば、「判定できず」とする）

項 目	判定条件
<p>元気高齢者</p> <p>※要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者のうち、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、軽度認知機能障害対象者に該当していない、健康で元気に暮らしている65～74歳（前期高齢者）の方を称しています。</p>	<p>●要支援・要介護認定者以外 and</p> <p>●介護予防事業対象者以外 and</p> <p>●生活支援事業対象者以外 and</p> <p>●軽度認知機能障害該当者以外and</p> <p>●74歳以下 and</p> <p>●問7-（1）で「1. とてもよい」に回答</p>
<p>旧一次予防事業対象者</p> <p>※要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者のうち、元気高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、軽度認知機能障害該当者に該当していない方を称しています。</p>	<p>●要支援・要介護認定者以外 and</p> <p>●元気高齢者以外 and</p> <p>●介護予防事業対象者以外 and</p> <p>●生活支援事業対象者以外 and</p> <p>●軽度認知機能障害該当者以外</p>
<p>介護予防事業対象者</p> <p>※旧二次予防事業対象者。 要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者のうち、要支援又は要介護状態になるおそれがあると判定された方を称しています。</p>	<p>●「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」「虚弱」リスク判定のいずれかの該当者</p>
<p>生活支援事業対象者</p> <p>※下記①②に該当する高齢者を称します。 ①要支援認定者のうち基本チェックリストの7つの基準のいずれかに該当した方 ②65歳以上高齢者のうち基本チェックリストの7つの基準のいずれかに該当した方</p>	<p>①要支援認定者 and</p> <p>●問1-（1）で「1. 1人暮らし」or「2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」or問1-①で「1. よくある」に回答</p> <p>or</p> <p>②介護予防事業対象者 and</p> <p>●問1-（1）で「1. 1人暮らし」or「2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」に回答 or問1-①で「1. よくある」に回答</p>
<p>認知機能低下者（基本チェックリスト該当）</p> <p>※要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者のうち、基本チェックリストで認知機能の低下と判定された認知症の予防効果が見込める方を称しています。</p>	<p>●問4-（7）で「2. いいえ」or問4-（8）で「1. はい」or問4-（19）「1. はい」に回答</p>

## ■リスクの判定条件

項 目		判定条件
虚弱	該当	・ 10点以上
	非該当	・ 0点以上9点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
運動器の機能低下	該当	・ 3点以上
	非該当	・ 0点以上2点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
口腔機能の低下	該当	・ 2点以上
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
低栄養の傾向	該当	・ 2点
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
閉じこもり傾向	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
認知機能の低下	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
うつ傾向	該当	・ 1点以上
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合



## ■虚弱の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」: 1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 または 「2. 1度ある」: 1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」: 1点
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」: 1点
問2-(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または「2. 減っている」: 1点
問3-(1)	身長( ) cm 体重( ) kg	BMI<18.5: 1点
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」: 1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	
問3-(8)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」: 1点
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」: 1点
問4-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「3. できない」: 1点
問4-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「3. できない」: 1点
問4-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	
問4-(7)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(8)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」: 1点
問4-(13)	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(14)	家族や友人の相談にのっていますか	

※10点以上: 該当 0点以上9点以下: 非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

※問4-(2)、問4-(3)、問4-(6)の判定について、国判定では「2. できるけどしていない」or「3. できない」が1点となりますが、高齢者の実情により沿った判定とするため、判定条件を上記のとおりとしています。

## ■運動器の機能低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」：1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 または 「2. 1度ある」：1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」：1点

※3点以上：該当 0点以上2点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

## ■口腔機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」：1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	

※2点以上：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

## ■低栄養の傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(1)	身長( )cm 体重( )kg	BMI<18.5：1点
問3-(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」：1点

※2点：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

## ■閉じこもり傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

## ■認知機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

### ■うつ傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問7-(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」：1点
問7-(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

※1点以上：該当 0点：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

### ■IADL（手段的自立度）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどしていない」：1点
問4-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-(4)	自分で食事の用意をしていますか	
問4-(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※5点：問題なし 4点：やや低い 0～3点：低い

※判定条件の設問に無回答が2項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

### ■社会参加（知的能動性）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」：1点
問4-(10)	新聞を読んでいますか	
問4-(11)	本や雑誌を読んでいますか	
問4-(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

※4点：問題なし 3点：やや低い 0～2点：低い

※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

### ■社会参加（社会的役割）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(13)	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」：1点
問4-(14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問4-(15)	病人を見舞うことができますか	
問4-(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

※4点：問題なし 3点：やや低い 0～2点：低い

※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

### ■老研指標総合評価

※IADL（手段的自立度）、社会参加（知的能動性）、社会参加（社会的役割）の合計点

11点以上：問題なし 9～10点：やや低い 8点以下：低い

## 2 アンケート調査票

### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

《第8期》  
**介護予防・  
日常生活圏域  
ニーズ調査**

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。弘前市では高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定し、「介護予防を通して元気いきいきとしたまちづくりを指して」を目標に、いつまでも住み慣れた地域において元気に暮らすことができる「まちづくり」を進めています。その計画の見直しを令和2年度に予定しており、このたび地域の課題や高齢者の皆様の要望（ニーズ）等を把握するためのアンケートを実施することとなりました。この調査は、弘前市にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から無作為に抽出した5,500名の方を対象としています。なお、ご記入いただいた内容は、皆様の健康情報という大切な個人情報であるという認識にたち、弘前市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に使用することはありませぬ。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を願います。

令和元年12月  
弘前市長 櫻田 宏

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

※ **調査票を記入されたのはあなたですか。**○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみれば続柄 \_\_\_\_\_）
3. その他

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、  
**12月27日（金）までに** 郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>  
弘前市 介護福祉課 電話：0172-40-7099 FAX：0172-38-3101

ご記入にあたってのお願い

1. この調査対象者は、令和元年11月19日現在65歳以上の要支援認定（要支援1・要支援2の方）または要介護認定（要介護1～5）を受けていない65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人」についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。（例、   kg）
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。  
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態  
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

※あて名のご本人（以下、「あなた」という）のお住まいの圏域は、どこですか（○は1つ）

1. 第一圏域（第一中学校）
2. 第二圏域（第二中学校）
3. 第三圏域（第三、南中学校（松原小を含む））
4. 東部圏域（第五、東中学校）
5. 西部圏域（津軽、常盤野、東田屋中学校）
6. 南部圏域（第四、石川、相馬、南中学校（松原小を除く））
7. 北部圏域（新和、北辰、船沢、裾野中学校）
8. 分からない

↓ お住まいの地区が分からない方は、住所をご記入ください  
住所 \_\_\_\_\_

**問1 あなたのご家族や生活状況について**

(1) 家族構成をお教えください（○は1つ）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（ \_\_\_\_\_ ）

【(1) において「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

① 日中、1人になることがありますか（○は1つ）

1. よくある
2. たまにある
3. ない

1

【(5) において「1. はい」(部屋が2階以上にある)の方のみ】  
 ① お住まいにエレベーターは設置されていますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

## 問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

(3) 15分並続けて歩いていますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 骨髄損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他 ( )
15. 不明

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (○はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ( )

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つ)

1. 持家 (一戸建て)
2. 持家 (集合住宅)
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
6. 借家
7. その他 ( )

(5) 主に生活する部屋は2階以上にありますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)  
 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

【(3)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」  
 「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

① 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

【ここからは全員の方がお答えください】

② 噛み合わせは良いですか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(4) どなたかと食事をもにりする機会がありますか (○は1つ)  
 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(5) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(6) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(7) 歯磨き (人によってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を抑えている)の方のみ】

① 外出を抑えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)  
 1. 病気  
 2. 障害 (脳卒中の後遺症など)  
 3. 足腰などの痛み  
 4. トイレの心配 (失禁など)  
 5. 耳の障害 (聞こえの問題など)  
 6. 目の障害  
 7. 外での楽しみがない  
 8. 経済的に出られない  
 9. 交通手段がない  
 10. その他 ( )

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)  
 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク  
 4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車  
 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす  
 10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー  
 13. その他 ( )

(10) 買物や散歩に出かける頻度を教えてください  
 ① 買物で外出する頻度はどのくらいですか (○は1つ)  
 1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日 5. 週1日未満

② 散歩で外出する頻度はどのくらいですか (○は1つ)  
 1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日 5. 週1日未満

(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきていますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

(12) 杖やシルバーカーを使っていますか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ

**問3 食べることについて**

(1) 身長・体重 (数字を記入)  
 身長    cm 体重    kg

(7) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(8) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(14) 家族や友人の相談のついでにしていますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができず (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(17) 趣味はありますか (○は1つ)

1. 趣味あり → ( )  
2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか (○は1つ)

1. 生きがいあり → ( )  
2. 思いつかない

7

(9) 1日の食事の回数は何回ですか (○は1つ)

1. 朝昼晩の3食  
2. 朝晩の2食  
3. 朝昼の2食  
4. 昼晩の2食  
5. 1食  
6. その他

#### 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい  
2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

1. できるし、している  
2. できるだけしていない  
3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している  
2. できるだけしていない  
3. できない

【(3)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食品・日用品の買物をする人は主になたですか (○は1つ)

1. 同居の家族  
2. 別居の家族  
3. ヘルパー  
4. 配達を依頼  
5. その他

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している  
2. できるだけしていない  
3. できない

【(4)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食事の用意をする人は主になたですか (○は1つ)

1. 同居の家族  
2. 別居の家族  
3. ヘルパー  
4. 配達サービスを利用  
5. その他

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している  
2. できるだけしていない  
3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している  
2. できるだけしていない  
3. できない

6

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(4) あなたは地域でどんな支援ができてと思いますか（○はいくつでも）

1. 配食の手伝い 2. 調理 3. 掃除・洗濯  
 4. 買い物代行 5. 外出同行（通院、散歩など）  
 6. ゴミ出し 7. 見守り、声かけ  
 8. サロンなど、通いの場のサポート 9. 外出時の送迎  
 10. できない 11. その他（ ）

(5) あなたの地域で暮らし続けていくために、必要なサービスや支援はなんだと思いますか（○はいくつでも）

1. 配食の手伝い 2. 調理 3. 掃除・洗濯  
 4. 買い物代行 5. 外出同行（通院、散歩など）  
 6. ゴミ出し 7. 見守り、声かけ  
 8. サロンなど、通いの場のサポート 9. 外出時の送迎  
 10. その他（ ）

**問6 たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(19) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると云われますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(20) 5分前に自分が何をしていたか思い出せますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(21) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(22) 認知症に関する相談窓口を知っていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

**問5 地域での活動について**

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ○は1つ）

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場（弘前市高齢者ふれあい居場所づくり事業など）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している



問7 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)  
 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- (2) あなたは、現在のどの程度幸せですか (○は1つ)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)  
 とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ
- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ
- (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)  
 1. はい 2. いいえ
- (5) タバコは吸っていますか (○は1つ)  
 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている  
 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
- (6) 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか (○はいくつでも)  
 1. ない 2. 高血圧  
 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病  
 5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)  
 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・腰痛症等)  
 11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物)  
 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病  
 15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病  
 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ( )

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員  
 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師  
 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 ( )  
 7. そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)  
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします

1. 0人 (いない) 2. 1~2人 3. 3~5人  
 4. 6~9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ  
 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚  
 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人  
 7. その他 ( ) 8. いらない

(7) お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む
2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(8) 現在、病院・診療所、クリニック) に通院していますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

【(8) で「1. はい」(通院している)の方のみ】

① 通院に介助が必要ですか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

## 問8 その他

(1) あなたは介護が必要になるなど、生活状況が変わった際どこで暮らしたいと思いますか (○は1つ)

1. 要介護になっても自宅で暮らしたい
2. 現在は別居している子供等の家
3. 有料老人ホーム
4. サービス付き高齢者住宅\*
5. 医療機関 (病院・診療所)
6. 施設 (特別養護老人ホーム等)
7. わからない
8. その他 ( )

〔\*サービス付き高齢者住宅とは、主に民間事業者が運営するバリアフリー対応の賃貸住宅で、「中高住」「サ付き」とも呼ばれます。要介護高齢者が多く入居する有料老人ホームと異なり、主に介護認定を受けていない方や要介護認定が軽度の方を受け入れています。日中は生活相談員が常駐し、入居者の安全確認やさまざまな生活支援サービスを受けることができます。〕

ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、今一度お確かめください。

**12月27日 (金) までに郵便ポストに投函してください。**

## 弘前市

### 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果報告書

発行日 令和2（2020）年3月

発行元 弘前市 介護福祉課 介護事業係

住所 〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1

連絡先 TEL：0172-40-7099（直通）

FAX：0172-38-3101

URL：<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/>